

凌 泳

表紙題字 藤井正太郎 先生

野田会長メッセージ	3	【活動報告】	33
平成20年度凌泳会活動報告 (長谷川幹事長)	4	Photo Report(得丸 哲志)	33
		平成20年凌泳会総会 (以下、各催事ごとに多数)	
【特集1】前幹部座談会	6	関東支部総会	36
(北野 達也/井上 陽介 /榎尾 晋/飛田 陽祐)		石田教授・還暦祝い	37
平成21年度 役員・運営委員	16	月見の宴	38
当番世代チーム分けと初代幹事案	17	関東支部忘年会	40
現役部員寄稿 I	18	関西地区忘年会	41
主将 吉田 楽	18	初泳ぎ	43
競泳主任 段野 光宏	19	【リレーエッセー 第3回】	45
主務 田畑 直紀	20	平成卒代表① 信田泰弘(平17)	46
水球主任 大脇幸之助	21	昭和卒代表① 川原田貢(昭61)	47
追悼	22	女性代表① 西川弥穂(平18)	48
故・吉野栄・元凌泳会長を偲ぶ	22	女性代表② 星合正子(昭53)	49
(原稿募集)	23	みずむし会 沖浦征治(11N)	50
故・山口宗樹先輩を偲んで	24	昭和卒代表② 林莊八郎(昭38)	51
【特集2】	25	(インターネットを活用しよう)	54
水泳部歌/愛唱歌特集		【寄稿】	55
寄稿:石井 義章	25	『第2回 凌泳会・水友会 ゴルフ対抗戦』 佐敷 定雄	
神戸大学水泳部歌	27	【マスターズ活動記録】	57
寄稿:山田 貴彦	28	(08年1月～12月)	
旧制姫路高等学校水泳部歌	30	■会員からのお便り	68
神戸高等商船学校寮歌	32	凌泳会総会	68
「白波寄する」		月見の宴	72

卒部の辞	80	【歴代記録】	152
現役部員寄稿Ⅱ	97	歴代10傑(競泳男子)	152
現役部員紹介		歴代5傑(競泳女子)	155
4回生	97	水球歴代戦績	157
3回生	100	Photo Report	
2回生	103	平成20年度 凌泳会総会前 監査ミーティング	159
★新企画		平成20年度 凌泳会総会報告	160
水球面追い出しコンパ	113	平成19年度 凌泳会会計報告	164
水泳面〇〇ランキング	114	平成19年度 神戸大学体育会 水泳部会計報告	165
Photo Report		■編集後記	167
水泳部全体の追い出しコンパ	117		
【平成20年度 水泳部活動報告】	118		
■年間競技カレンダー	118		
関西学生春季短水路公認記録会	119		
関西学生夏季公認記録会	120		
関西水球オープンリーグ	121		
関西学生水球春季戦	122		
兵庫学生選手権水泳競技大会	124		
関西国公立大学選手権	127		
大阪私立大学神戸大学定期戦	130		
関西学生選手権競技大会	134		
西日本選手権	138		
全国国公立大学選手権 水泳競技大会	139		
関西学生水球秋季戦	143		
近畿地区国公立大学体育大会	145		
旧三商大戦	149		

「勸学文」に関しましては、本年発行の凌泳会名簿の方に掲載しております。今後も、不変的なものは3年に1回改訂する凌泳会名簿への掲載を基本と致しますので、ご了承ください。

凌泳100年に向けて

凌泳会会長 野田浩志・昭36

新入会員へ

今年はxx名の卒業生を会員に迎えました。皆さんは大正10年(1921年、以下同じ)創設以来の88年の伝統ある凌泳会の一員となられた訳です。端的には、現在の会員数である正・準会員を合わせてxxxm名の人脈を獲得されたこととなります。これらは水泳部生活の良き思い出と共に、これからの長い人生にとって大きな財産となることでしょう。これからは会員間の親睦を図りまた先輩として現役部員の活動を支援してください。

90周年は2年後

再来年の平成23年(2011)には凌泳会創設90周年を迎えることとなります。少し気が早いようですが、私はこの90周年は記念すべき100周年に至る重要な架け橋と位置付けたいと思っています。平成3年(1991)に刊行された凌泳70年史は先立つ8年前の昭和58年(1983)に発起され、当時の編集委員の方々の大変なご尽力の上に出来上がったものです。当然ながら、100年史が刊行されるものとする、我々の責任として先ず70周年から90周年に至る20年間の歴史をシッカリと保存しておく必要があると思うからです。「歴史に学ぶ」と言われています。その学び方は人により時代により、また環境によって多彩な形を

とるでしょうが、揺るがぬ史実に裏付けられてこそ「力」となるものでしょう。昨年の春、凌泳会の生き字引で70年史の編集に携われた石井義章氏(昭和27年)が保管されていた文書資料を引き継ぎ六甲台ブルーの部室に移管すると共に昭和17年(1942)作成の神戸商業大学時代の「水泳部旗」を神戸大学百年史編集委員会に寄贈しその保存に万全を期しました。又、昭和35年(1960)古林喜楽(元)学長の作詞になる水泳部「部歌」が石井義章氏と作曲者の山田貴彦氏(昭37年)のご努力によって復活しました。これからは大いに歌って氣勢を上げましょう。

会員諸氏には試合記録、合宿記録、写真など手元の資料を“いざ鎌倉”に備えて保存くださるようお願いいたします。

現役部員へ

2年後の90周年行事には現役として役割を担って貰うこととなります。又、12年後に100周年を迎える頃、諸君は凌泳会の中堅として行事の役割を担って頂くことになるでしょう。これを念頭に置きながら先ずは2年後の90周年に向けて凌泳会幹事長との連携のもとに行事の企画や資料の散逸防止や年々の記録を補充に心がけてください。

以上

平成20年度活動報告

幹事長 長谷川 健・昭49卒

昨シーズンの幕開けは、驚きの報告で始まりました、新入部員が20名を超えたというもので、総会の時には22名の紹介がありました。一年経過した現在も大半が引き続き活動中とのことであり将来も一大勢力となると思われ、凌泳会にとっても楽しいな学年になると思います。また初心者の入部も多く、一年経過した現在、その中から貴重な戦力が育っているとのことで、本年度の活躍が楽しみです。

大勢力でのシーズンインでしたが、部員諸君の頑張りにもかかわらず戦績は競泳、ボロ双方共に期待通りとはなりません。詳しくは戦績等の記事をご覧くださいと思いますが、今シーズンでの巻き返しを大いに期待したいと思います。

さて、凌泳会の活動についてご報告させていただきますと思います。昨年の総会にて、凌泳誌の充実、名簿の発行、当番世代制の実施の三点を重点項目として凌泳会の活性化を推進することとなりました。

第一点の凌泳誌の充実については本誌をご覧ください。さらに充実した内容を実感いただけたと思います。本年もさらに充実を図りたいと思います。ご意見等をお待ちしています。

第二点の名簿の発行については会員の皆様のご協力を頂きお手許に届けることが

出来ました。ご協力有難うございました。ただ、皆様にお送りした「調査票」の回収率が思った以上に低く、届いているにもかかわらず返事がいただけない事例も多くありました。ご実家に届いて会員ご本人には届いていないことも多いと思われれます。会員の皆様には同期やその前後の学年の内容をご確認頂き、何かご存知の部分があれば是非ともご連絡ください。また、せっかくご連絡いただいていたにも拘らず歴代の管理担当者の不手際で不明者扱いになっていた事例も散見されました。この場を借りてお詫びすると共に再発することの無いように努めて参ります。いずれにしても会員の皆様へ連絡が出来るというのが凌泳会の活動の原点だと思います。名簿の充実について、これからもご協力をよろしくお願いします。

第三点の当番世代制については不完全燃焼となりました。対抗戦の応援などは来場メンバーがやや固定化しているように思われます。ただ月見の宴など従来に比し活発化してきたと思われる行事もあります。月見の宴は特に最近の卒業のOB・OGの参加が目立ち、本年3月の追出しコンパへのOB・OG参加も増加しています。是非ともこの形を発展させていただきたいと思っています。引き続き、いかに有効な具

体策を行うか引き続き検討していきたいと思っておりますので皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

特に今年は市大戦が第90回の節目を迎えます。我々神戸が当番校であり大いに盛り上げたいと思っております。また三商大戦も神戸が当番校です。いずれの試合にもたくさんの会員の皆様、特に関西地区在住の会員の皆様のご来場・応援をお願いしたいと思います。

昨年度の凌泳会の活動で特筆すべきものに「水泳部歌」の復活があります。詳しい経緯は記事をご覧くださいと思いますが、この場を借りて立役者の石井先輩、山田先輩に厚くお礼申し上げます。今後は絶えることなく歌い継いで行きたいと思っております。

以上が昨年度の経過報告でございます。今シーズンも会員の皆様には横の連絡をお取りいただき、同じ時期に泳いだという旧交をプールサイドで暖めていただけたらと存じます。特に何年間も凌泳会にはご無沙汰になっているという会員の皆様も、どうかお気軽にお顔をお見せ下さい。その際に会員同士お誘い合わせていただければ尚結構かと存じます。そのためには、幹事一同少しでもお役に立てたらと思っております。

最後になりましたが、会員の皆様には引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

【特集】前幹部(平成20年度幹部) 座談会



北野: おはようございます。それでは座談会ということで、幹部をして良かったこと・辛かったこと、凌泳会に関して、後輩へのメッセージ、ラストシーズンへの抱負等、ちょっとずつ思うがままに言うていきましょう。

—幹部をして良かったこと—

北野: よしじゃあ俺からいこうかな。俺がやってた間、主将っていうのは対外的なんと、それからOBさんとのつなぎっていう感じで思っていました。で、幹部してて良かったということで、OBさん、特に凌泳会の会長とか、そういう上の人らとようさん話し合う機会があったんで、そういうところで俺ら現役じゃなくてOBさんがどういふことを考えてはるんかっていうのが、俺らの考えとは違うなと思うことも含めていろいろと垣間見えたんは良かったかなと。長谷川幹事長もようさんしゃべる機会があった。

井上: 違いってなんやったん?

今回初めての企画です。幹部としての1年を振り返ってもらいました!!

(出席者)

前主将 北野 達也
前主務 飛田 陽祐
前競泳主任 横尾 晋
前水球主任 井上 陽介

北野: その当時思ったんは、凌泳会は俺ら今いる人間がじゃなくて、ずっとずっと先のこと考えて、俺らはそのための踏み台やねん。今の子らはこうして、次の子らはこうしてっていうステップアップで考えてはるけど、俺らはおるんって4年間しかないわけやんか。だから、今ないとかなんねんけどっていう…そういう根本的な考え方の違い。

井上: 長期的に見てるっていう…

北野: そこまで完璧に長期的な計画を立ててはるわけじゃないんやけど、今年があかんかったら来年でいいやっていうのが節々に感じられるから…

井上: 毎年勝負やからな。

北野: うん。そういう意味で俺らとちやうなっていうのはあったけど、でも水泳部のためっていう意味では一緒やしな。まあ、違うなって、そういうところがわかったんが良かったかな。じゃあ次トビヤン(飛田)いこう。

飛田：俺もだいたい一緒なんやけど、主務っていうのはOBさんと絡むことが多いから、それが良かったかな。いろんな考え聞けたりするし。その面に関しては主将と同じなんやと思うけど、OBさんと絡む機会っていうのは他の仕事やとあんまないからそこが良かった。

横尾：だいたい凌泳の…

飛田：そうそう、俺ら(飛田・北野)凌泳委員もやとったしな(笑)

横尾：あと学校のこととか…

北野：あー、ようさん仕事しよったしな。よし、次いこう。マッキー(横尾)。

横尾：俺は競泳主任やったから、競泳面のメニュー作ったりとか、あとは(競泳面)全体まとめたりとかして、試合でみんな(良い)成績出せるようにメニュー作っていったんかな。良かったことは、今までそうやって部活をまとめるというか、自分がそういう役割についたこともなかったし、自分がそういう柄じゃないっていうのもわかってたから、結構自分の柄に合わんことはしてたけど、みんなをまとめて部活を作っていくっていうのはすごいやりがいがあった。楽しかったし、俺のときの目標がベスト率100%っていうのでやってて、高槻とか石川でほんまにみんな成績良かって、目標にしちよったインカレはいけんかったけど、その2つの試合で言ったらほぼベスト100%出たし、そういうみんなが結果を残していくのを見れたのが楽しかったな。それが良かった。

北野：柄じゃない言うとったけどな、俺らの中やったらまっきーがまとめ役してたし。

横尾：いやー…(笑)

北野：じゃあ次、マー(井上)いこう。

井上：そうやな、やって良かったこととしては、チームとしてまとめていかなあかんっていうのとか、去年に関しては、学連委員長もやとって、両方まとめなかんっていうか、ひっぱっていかなあかんような場所やって、高校生の頃とか大学入ってからこういうまとめる機会がなかったから、それ経験できたのは良かったかな。チームとしてやっていかなあかんときに、一つの目標に向かっていってるんやけど、個々でバラバラに(目標を)置くとうまいことならへんていう、そこを修正していかなあかんとか、チームとしてまとまっていくためにはどういふことが必要なんとか、チームのリーダーじゃなくても、一個人としてもチームにどういふ風に参加していかなあかんのかっていうのがわかったってきたかなっていう意味で良かったかな。

横尾：まとまってない(笑)

北野：ものすごい抽象的やけどな(笑)学連委員長もやってしんどかったっていう感じが…。

横尾：(幹部やって)考え方変わったよな。俺めっちゃ変わった。人生観というか…やりながら、俺絶対幹部じゃなかったらこんなん考えてないもん、とか…

井上：2年の頃と大きくなんか違うよな。

横尾：違うなあ、なんか。考え方とか…

井上：だって2年の頃とかめっちゃめっちゃしてた(笑)

北野：今は？

井上：今もめっちゃめっちゃしてるけど…

北野・飛田・槇尾：(笑)

井上：でも前に比べたらマシ…やと思う。

—幹部をして辛かったこと—

北野：では、とばしたい項目やけど次辛かったこといきましょう。辛かったというか、今振り返って思うんは、とりあえずようさん迷惑かけたなっというところで、それが結果的に心苦しいところにはあるんやけど…。自分なりに分析したら、結局すべての原因は俺の性格にあったと思うんやけど…

井上：それで納得できひん奴がどんだけいると思っせんねん(笑)

北野：とりあえず抱え込むやろ…

井上：そんな分析いらんねん(笑)

槇尾：それ一個一個言うがや(笑)

北野：でも俺も当時もちょっと悩んどったんやって。たとえば、仕事があるやんか。んで、一個楽そうなんがあったときに、それを人に任せようかどうかをずっと考えよったんよ。人に頼んでもええんやけど、そんなぐらいやったら俺がやったらええやんって毎回思いよって…

井上：しょっちゅうそんなこと言ってる(笑)

北野：たとえば、これトビ(飛田)にやらそうかな、でもトビにやらしても俺がやっても一緒なんやったら俺がやったらええんちゃうかなって…

飛田：その辺の兼ね合いができてなかったんやね、俺らは。どっちも曖昧みたいな…

北野：主務の仕事2人でやったりとか。それ一生懸命になっとなって見えへんかったりとかもあつたんやけど…結局人にどこまであつていいんかなっていうところが自分で一番見えへん

かったっていうのと、あとは締切ギリギリまで面倒くさいからおいとくねんな。やから最後にあつギリギリなってるやん！っていうので急に一生懸命になって、それでアップアップしてるっていうのがあつたから、そこで六甲祭も含めていろいろ迷惑かけたんやけど…それは結局主将やからというよりは、全般的なところやし幹部して辛かったところではないんかもしれんけど…

井上：チームに迷惑かけたのが辛かったってことやろ？

飛田：辛かつたんや…

井上・北野・槇尾：辛いやろ！(笑)

飛田：嫌っていうのはわかるけど、辛いっていうのは違うくない？言いたいことはわかるけど…

井上：心苦しいみたいや？

北野：うん、だから最初に言ったやん俺、心苦しいんやけどって。

飛田：ああそうやな。

北野：やっててしんどいっていうのはそんな格別ないから…

井上：しんどかつたことは格別ないん？

北野：だって仕事なんかなあ…所詮こんなもんやし。少々しんどくなつたらあかんやろうから。はい、とりあえずそんなんで。

飛田：はい、じゃあ…辛かつたことねえ。

北野：トビヤンは結構多かつたんちゃうんか？

飛田：いや、別に辛くはなかつたんやけど、俺(語学研修で)ニュージーランド行った関係で生活苦しかったから、日々バイトしてたわけやんか。

井上：なんか意味合いがちがうよな(笑)

飛田：違うけど(笑)。レポートとバイトで相当しんどいときに凌泳放送があったから…

井上・北野・榎尾：あぁ…

飛田：それは多少、仕分けとかいろいろ時間作ったりはしんどかったかな。まあそこまで追い込まれたことはないよ。

北野：あぁそや、幹部としてというよりも、凌泳委員が一番嫌やったな。

飛田：凌泳委員の方がしんどいかも。

榎尾：凌泳委員おるやん、今(笑)

(現凌泳委員がこの座談会に立ちあっていました。)

北野：じゃあ次マッキーいきましよう。

榎尾：一番辛かったのは、大事な試合で結果が出なかったこと。チームとして、関国、関カレ、全国公とかで。主任やってる上で求められちゃうというか、やらないかんのは、結果を出すことであったり成績をしっかりと出すっていうことやから、主任としてチームを関国の団体権であったり、関カレの総合優勝であったりっていうのに導けんかったっていう力量とか、そういうのが一番辛かったかな。あとはちよくちよくそれ以外の面でも、セントラルとかでもいろいろ問題があったりして、自分が思ってた以上にやらないかんことができてなかったことで、北野と一緒にやけど、みんなに迷惑をかけたのが辛かったかな。主任はただメニュー作るだけじゃなくて、今回俺がそうやってセントラルの人とか、神大の凌泳会とかだけじゃなくて外の人らとも関わる機会が多かったのは良かったと思うけど、逆にそういうとこ

ろでいろいろ自分の至らなさが出てきたのは辛かったかな。以上です。

一同：…

井上：コメントがない(笑)

北野：コメントっていうか、確かにそやなあって聞き入るぐらいやからな。

飛田：実際やらんとそこまでわからんやろうしな。

北野：やらんと見えんこと多いしな。じゃあ次、マーいきましよう。

井上：辛かったのは、チームに迷惑かけたんはやっぱり一番辛いし、当然結果が出なかったのも当然辛いっていうのもあるし、それに関係して、言い訳じゃないけど学連があって、試合んときに仕事も同時にやらなあかんから、試合の合間とか、試合が終わった後とか、始まる前とかに時間があんまり取れんかってあんまり(部員と)絡めてなかったし、試合試合の間でも人やチームともっと関わりあえたら良かったかなっていうのと、あと今回先輩がおったから協力してもらったところもあるけど、マッキーとかは経験者やったりするけど、俺とか大学から始めて、経験者じゃなかったから、ある程度はわかってるつもりやけど、すべて端から端までわかってるわけじゃないから、その部分で、3年生はチームを教えていくっていう立場にあるけどそこが難しく辛かったっていうのはあるかな。

北野：さっき言うってた試合前っていうのはなぁ…俺らも見とったけどずっとマー本部テントおって、ギリギリにしか解放されへんから、あれが精一杯やったんちゃうん？それを考えたら

しゃーなかった事態ともとれるけど…

井上: ま、言い訳にしかならんけど(笑)」

横尾: もうちょっとみんなと話せたらよかった…

それはなんか思うわ。結構しゃべったつもりでも全然みんなわかってないこと多いし。特に初心者とか。だって1回生めっちゃ入ってきたやん。

井上: いやでも言う程…おまえんとこ(競泳)が多いんやん。

横尾: ほんまや! 俺らの方が多いやん!(笑)

井上: (水球は)集めて一回言ったらなんとかなるやん。でもおまえらの人数やったら集めて一回言っても…

北野: 端まで届いてない(笑)

横尾: 重さが分散しちゃう(笑)

井上: みんなに言ってるんやろぐらいの感じ(笑)

北野: こっちなんか言うたら、なあ〇〇(1回生)ってふったらそれでもうわかってる。」

井上: 5人しかおらんから。5人に話してるからさ。

横尾: 100伝えようと思っても10ぐらいしか伝わってない。

井上: そうそう。1人ぐらいしか聞いてないみたい(笑)

北野: そういう意味ではこっちは伝えやすかったんやろうけど…。

横尾: そんなんはすごい感じた。一年たって、主任っていう重りがはずれたからかわからんけど、みんなのこと見れるようになった。

北野: それが3回生幹部のええとこなんかもしれんで。4回生幹部やったら反省で終わったん

が、3回生幹部やったらそれを踏まえて4回生として接しれるやん。

井上: じゃあ…期待してるで!

横尾: 俺実習でおらんがやけど…

北野: (笑)。段野(現競泳主任)を見ながら、あつこが足りてへんっていうのをフォローできんちゃうん、上手に。

横尾: まあねえ、やろうと思う。気づいたことでやれることならやりたい。

北野: それが多分幹部終わった4回生の仕事なんやろね。

横尾: 好きにさしたいけどな。

北野: うち(水球)ワッキー(大脇 2回生にして水球主任を務める)やしな、できるだけサポートしなあかんねん。

横尾: そやな。

—凌泳会に関して—

北野: はいじゃあ次、凌泳会に関して。

横尾: 試合とかで、いつも来られる OB さんおるよね。前の年の全国公とかはたくさんの OB さんが来られたし、お金を払って下さるのはすごい嬉しいし助けになるけど、レース見に来てくれるっていうのもこっちとしては力になるというか…俺らは水泳部で活動してて、成績を求めているから、やっぱりちょっとは見に来てほしいかな、と。

井上・北野・飛田: ああー。

横尾: 関西に住まわれてる方はたくさんおると思うし、試合は大阪だけじゃなくて兵庫でもやってるし、全国公やったら各地でやって…今年の福岡では福岡の方来られてたし。打ち上げとか

も仕切って下さったし、そうやって俺らにお金だけじゃなくて、関わってくれてるっていう人がすごいたくさんあったっていうのを感じれたから、関西の試合にはいっぱい来てほしいなと。特に関カレとか。

北野： この間の三商もなあ…

井上： ああー！

槇尾： 三商もねえ、すごい来てくれたから、いっぱい来てくれると、お金もらってるっていうのは俺ら幹部になってからわかることやから、下の子らはそうやって来てくれるっていうのが…

北野： もっとわかりやすいところでなあ。

槇尾： 目に見えて渡泳会のありがたみっていうのがわかるんじゃないかなあと。1回生のときとか、会ったときにはもう名前覚えて下さってたりして、そういうのがやっぱりすごい嬉しかったから。今年もうちが近国主幹でやるから、見に来て下さるととても嬉しいかなあとと思います。

井上： 見に来てもらうのが一番かな。

—後輩へのメッセージ—

北野： 後輩へのメッセージ…今言うてた失敗を全部カバーして下さい(笑)

井上： 丸投げやん(笑)

北野： でもなあ…実際やってみてわかることの反省が俺ら今あると思うんやんか。やってみて毎年ああこれあかんかったでは組織として成長がないから、たとえば下(回生)から見よってあいつまたやってへんわっていうのがあったと思うんやけど、文句言うんは簡単やけどそれをどうやってカバーしていくかっていうのが次につな

がることやと思うし。どんな課題でも年を重ねれば重ねるほどハードルは上がるもんやから、だから頑張れとは言わへんけど、そこらへん意識して、前あいつら失敗しとったな、だからどうしよっていう「だから」からあとが大切やと思うんやんか。もう終わったから、じゃあ次頑張れやってハードル上げてみたいやから言いにくいねんけど…

井上： ハードル上がってんの？

槇尾： ハードル低いで、俺ら(笑)

北野： もともとハードル自体は低いかもしれんけど、少なくとも年重ねたらやっぱりハードルは上がるんやんか。だから何もせんでも跳び越えられると思うけど…

井上： 10年前のハードルと今のハードルが同じかって言われたら、絶対俺らの方が低い(笑)

北野： うん、俺らの年でハードル低くしたけど、何が言いたいかわちゆうたら、前の失敗とまったく同じ失敗を繰り返したらただのアホやから、それを繰り返さんように、あいつらあかんかったと笑えるようにしてほしいと思います。

井上： そのためになんか言えつつってるんちゃうん？

飛田： うん、そうやで。

槇尾： (笑)

北野： あっそのためにを求めてんの！？

槇尾： 反面教師やな(笑)

北野： 俺みたいになんししか言うこと考えてへんかったんやけど…今見よったら 2 回生よう集まって話し合いしてるやん。たとえば六甲祭の前とか。それぞれ仲良うてよう集まってんのは

ええと思うし、少なくとも俺が一番思ってる俺の失敗事項は抱え込んだことやから、それを回避してる時点ですでに十分いいと思うんやけど。

榎尾：合格ってこと？

北野：俺から見たらな。

井上：低いハードルやなあ。

北野：シーズン入ったら急がしなってできんようになってくと思うんやけど、そこをなんとか集まって。特に今年市大戦 90 周年大会で、上の人はすごい関心もってのはから…

榎尾：あと三商も俺らやろ。

北野：6年に1回の重なる年やねんか。

榎尾：やばいやん、近国もあるから。

北野：使えることあったら俺らも使たらええから、できるだけ2回生の中でちゃんと話しあって。そんだけ仕事が一気に重なるから、量が半端ないと思うんやんか。やし、上手に割り振りしてやっていって下さい。はい、じゃあトビ。

飛田：来年しんどいと思いますけども、まあ楽しんでやって下さい。あんまりマイナス思考になるとあれやから、ポジティブに。ああこの仕事は楽しいかもなあみたい(笑)

榎尾：それ大事やな(笑)

飛田：マイナス思考とプラス思考はだいぶ違うで。精神的に違う。

榎尾：俺は何やろうなあ…いっぱいある。

井上：いっぱい言ったらええやん。

榎尾：いっぱい言っているが？後輩へのメッセージやろ…？俺が一番思ったのは、感謝の気持ちはすごい大事やなって思った。幹部の話からすると、2回までは部活の中でやること

ばかりやったけど、幹部になってから、OBさんであったり、俺はセントラルであったり、いろんな人と接したから、そういう人らがおらんかったら、俺らがこうやって泳げる環境も全然なかったし、俺らの活動が成り立ってないっていうのすごい感じたから、そういう人らへの感謝の気持ちは持たないとダメだなあって思います。あとは、俺らは4人でずっと回してたけど、今の幹部はね、たくさんいるんで…

凌泳委員：いや、神大は5人ですよ…全員でも7人です。

榎尾：えっ？減ったな！

井上：カツカツやな。

榎尾：まあけど俺らより多いしね、幹部は。他の大学との違いは、うちは南女と薬科とも練習してるし、競泳面で言ったら。また他の大学とも違った環境っていうのがあるから、単一大学じゃない難しさとかいっぱいあるけど、逆に、一つの大学じゃなくて、同じプールでやってるけど環境違うところとかっていうのも、知らないといけないとかか、感じ取らないといけないとかか絶対にあるし、俺らの学年は神大しかおらんかったけど、下の学年はみんなおるやん。だから、いろいろ感じ取って。一番は感謝で、あとは、知り合いが絶対増えるから、もうがんがん増やしといた方がいいと思います。幹部やったらなあ？

井上：増えるよな。

榎尾：ねえ。俺めっちゃ増えた。他大学とかでも。まあ岡大合宿とかそういうの行ったのもあるけど、他の大学の幹部の人らとも話すことあった

し。やっぱそういうのが、泳ぐだけじゃなくて、大学でできることやん。そういうのを楽しんでほしいなあと。あとは楽しいから、絶対に。

井上：楽しかったん？

横尾：いや楽しいやろ、思い返せば。辛かったけど(笑)

井上：辛かったけど(笑)

横尾：やりゆうときは辛かったけど、今終わってみればよかったなって思えるから。後で考えたときに後悔のないような、だから自分が今「これが正しい」って思ったことをやったらいいと思う。それがほんとに的外れでずれてるなら、俺らがサポートするし、違うところは指摘するから。今の幹部はやっぱり幹部学年なんやから、迷わずに自分のやりたいって思ったことであったり、これが絶対チームのためになるって思ったことをやってほしい。自分らで考えて。それが一番終わった後に後悔せんことやと思うし、自分が正しいって思ったことが間違っても、それは直したらいいと思うし。そんな失敗ない人なんておらんから。それをみんなでサポートして正しい方向に導けばいい話やから。そうやって後悔のないように一年間楽しんでやってほしいなと思います。

北野：今マッキー知り合い増える言うってたけど、それは学外だけじゃなくて、たとえば援団やったり体育会やったり、学内のあれもあるん？

横尾：そやね。学部とか一緒にやつらで部活しゅやつらもおるし、そういうやつらと普段話よったのは、しょもない話とか、ゲームの話とか、自分らが勉強しちゆうこととかしかしゃべらんかったけど、他の人らの部活どんなことしゅ

が？とか、どうやってまとめたりしゅが？とかすごい気になって、そういうのを語り合えるようになった。酒飲みながらとか、酒入らんでも昼休みとか。他の大学はやっぱ水泳ばかりになるけど、同じ学校内やったら、水泳外の部活とか。他はチームスポーツで、ハンドとかバレーとかそういうところと話して、またスポーツの競技自体も違うから、そういうのもわかりあえた。

井上：俺か。そうやな…まあある程度話は出るけども、やっぱりコミュニケーションはとってほしいかな。競泳はでも俺所属はしてなかったからわからへんけど、コミュニケーション必要ですよな？

横尾：必要です。自分の中でしゃべれんもん、だって(笑)

井上：(笑)チームとしてまとまっていくためにも、良い記録、自分が納得いく結果を出すためにも、チームメイトと話すことであったりとか、さっきも言ってたけどプール以外の人と話すことも絶対大事やと思うし、あと水球に関しては素人の子とかそういう人はOBさんが来たときとか、先輩であるとかに、積極的に、自主的にコミュニケーションとって、自分からくみ取っていかへんかったら、四年間短い間で学べることに非常に少ないと思うから。四年間の中でプール入ってる時間であったり筋トレやってる時間であったりとかっていうのはやっぱり少ないから、それ以外の時間でどれだけ競泳やったら競泳、水球やったら水球、自分の泳ぎやったり、自分のプレーやったりを考えたりとか、そのことを先輩とか他の人に聞いたりする時間がどれだけ長いかっていうの

は結果につながってくることやと思うから、そこをしっかりと時間とるっていうことかな…コミュニケーションが一番大事やと思うけどなあ。あとメッセージは…これは先輩から聞いた話とか、自分で思ったこともあんねんけど、一年目は教えてもらってやって、がむしゃらに頑張るっていう部分があるやん、周りも全然わからへんから。とりあえず部活の中で自分ができることでベストをつくす。二年目は、3年生は幹部学年やから、その話とか聞いて新しく入ってくる1年生を教育していかなあかんっていう立場で、教えることによって自分で大きくなる部分っていうのもあると思うから。教えることによって、自分はということがわかってたりとか、どういうことがわかってなかったりとか、どこが足りひんのかとかいう風に自己分析ができると思うから。んで次3年生なったらみんな引っ張っていかなあかんっていう立場で、今度は自分一人じゃなくて、チーム全体のことも見えてきて、その中の自分の役割とかも見えてくると思うし、それをふまえた上で最後四年目、一年目、二年目、三年目で積み上げてきたことを全部発揮するシーズンやと思うんで、そういう感じで考えてやってほしいかなと思うな。

—ラストシーズンの抱負—

北野： じゃあラストシーズンの抱負な。これは個人的な意見といろいろあんねんけど、個人的にはやな、初夢で負けてる夢を見てしまったんで、そんなことのないように。

井上： 夢でシーズンの目標決めんな(笑)

北野「そんなことのないようにきぼって練習しようっていうのはあるんやけど、個人的なんじゃないやなくて、前幹部として思うことは、今年是新2回生のワッキーが水球主任やし、当然わからんこともあるやろうから、マーは前主任として、俺はじゃあどうい風な見方ができるのかなあと思って考えてたら、ワッキーの考えが至ってへんとこはどこかを見つけようかなって。で、他の新2回生がどういう状況で練習してんのかをよう見たげようとおもって。環境をどうやって整えるかっていうのを一番今年は考えたいと思うし、俺は上手なプレーヤーじゃないから、じゃあどうい風な見方ができるのかなあと思ったら、知ってる技術は教えてあげたらええけど、せめて俺は抜いてくれっちゅう感じやな。踏み台になるのも一つかなあとも思うんやけども。

凌泳委員： まだ伸びて下さいよ。

北野： うん、何ができるかは考えとんやけど…

井上： もう終わりか、お前(笑)

北野： 新しく入ってくる1回生なり新2回生が、頑張る練習に打ち込めるような環境を整えることもまた俺にできる一つかなあと思って、そこらへんを頑張っていこうと思いますね。はい。ではトビ。

飛田： 何が目標かね。まあいろいろ種目出たけど、だいたいどの種目でも基本的にベスト出たんやけど、50Fr だけ出ないってね。俺は50Fr の選手やから、もともと。100Fr、200IM、Br、Bk、Fly そのへんはベストでたけど、50Fr のみ出ないから。

榎尾： 全国公きって終われ！

飛田：うん、そこが目標や。完全にそれですね。

北野：トビヤン今年練習行けそうなん？研究室とか。

飛田：研究室行く前に出したらいいんじゃない？

北野：ああ、なるほどね。

井上：ていうかお前が来れるん？

北野：俺実習は9月やから。

井上：じゃあ去年みたいなのは？

北野：もうないよ。

飛田：まあそんなとこです。

横尾：ええと、俺は、俺が主任やって一番悔しかったのが関カレで総合優勝できなかったことやし、今年の競泳面の目標が Road to Div.2 やからね。2部上がるのもやっぱ総合優勝して上がらなね、かっこ悪いから。ていうか、うちはそれぐらいの力を持ってって俺はずっと思ってるから。できて当たり前と思ってるから。俺はほんまに最後のシーズンベスト出すよりも、関カレで総合優勝して終わりたいから、俺は1500と200Fly 泳いで、灰になって、引退しようかなと思ってます。だって、こんなに水泳に対して一生懸命やって、こんな緊張するぐらいまで駆け引きしたりとか、自分を追い込んでやれるのってほんまにこれ最後やから、最後のシーズンはそういう緊張感であったりとかっていうのも楽しんで終わりたいな。

井上：俺か。ラストシーズンはまあ、いろいろ

やっていきたいけど、いろんなしがらみもなくならなはずなんで、学連の仕事とかそういうのが4年目でついにほぼ解放ということなんで、それも含めて…あ、そうや、来年入ってくる1年生でキーパーを作らなあかんっていう課題があるのと…あ、そうか、じゃあ自由にできひんのか(笑)おもいっきりやりたいなと思ってんけど。

横尾：ええやん、教えることは自分のためになる。

井上：そう、なるけど、おもいっきりやることはまた別なんで。育てなあかんっていうのもまあ課題ではあるけど、しかし、ラストシーズンは、チームとしては貢献すんのは当然なんやけど、来年2年生の子が大学から始めた子ばっかやし、まだまだ心もとないところもあるから、そういうんでできるだけ大きな部分でカバーしていかへんと多分勝っていくことは難しいと思うんで、育てながらも、育てることによって自分が大きく成長することを抱負したいと思います。あと、さっきも聞いたけど、神大の後輩が少ないという話を聞いてるんで、今シーズンの新歓は、薬科とか南女の子も当然大事なんやけど、特に神大の子を重点的に入れてかへんと。入ったらそんだけチームもにぎやかになるしな、その分仕事とかもしやすいし。人数多い方がいいけど、やっぱ神大が多い方が。幹部とかやるにしても結構たいへんやと思うから。そのへんも考えて、来年入った1年生が3年生になったときに苦労しように。人数少なくて。

平成21年度 凌泳会役員(案)

- 会長 野田 浩志(昭36 営)
- 副会長 田淵 五郎(昭30 営) 得丸 哲士(昭46 農)
- 監事 佐藤 一夫(昭30 法)
- 幹事長 長谷川 健(昭49 経)
- 幹事 岡村 司(昭34 法) 北村 敏(昭34 経) 佐敷 定雄(昭49 農)
- 桑本 万理(昭55 教) 上田 剛弘(昭56 営) 長崎 真人(昭59 営)
- 川原田 貢(昭61 教) 羽瀬 智文(平2 法) 恵美 裕(平9 商船)
- 西田 憲史(平12 営)
- コミュニケーションシステム担当 家門 秀行(平5 理)
- 凌泳編集担当 川本 典子(昭51 工)
- 現役監督担当 金 一波(昭59 経Ⅱ)
- 会計担当 諫山 大介(平9 発)
- 名誉顧問 石井 義章(昭27 学)
- 特別顧問 西田 修身(特別会員)
- 顧問 三宅 林(昭21 学)
- 支部幹事

- (関東) 支部長 田淵 五郎(昭30 営)
- 黒田 英雄(昭35 営) 林 荘八郎(昭38 経)
- 佐敷 定雄(昭49 農) 徳永 守(昭63 農)
- 成田 康修(平11 営Ⅱ)
- (中部) 支部長 手嶋 忠之(昭41 理)
- (中国) 支部長 今井 政一(昭24 専)
- (四国) 支部長 以西 吉一(昭45 工)
- (九州) 支部長 谷水 利行(昭59 法)

運営委員

守沖 敦(平元 法)	岡崎 憲之(平2 教)	當麻 尚正(平3 農)
染谷 光裕(平4 理)	藤本 克彦(平5 農)	西尾 泰紀(平6 経)
上田 純也(平7 経)	小柳 勝義(平8 農)	中村 洋平(平9 工)
中尾 順一(平10 工)	濱出 憲一郎(平11 発)	岡本 康宏(平12 経)
西村 祐作(平13 経)	久保 達也(平14 工)	川本 陽介(平15 農)
福本 守(平16 工)	西和田 靖(平17 工)	宮岡 孝和(平18 工)
小川 啓(平19 経)	加藤 亮二(平20 海)	土方 了輝(平21 経)

以上(平成21年4月1日現在)

当番世代子一ム分けと初代幹事案(平成19年凌泳会総会で決定)

卒業年	関西圏			首都圏			その他の 地域・不明 人数
	世代 分け	人数	初代 幹事案	世代 分け	人数	初代 幹事案	
昭34年卒 以前	免除	33人	—	免除	15人	—	13人
昭35年 ～44年卒	A世代	25人	岡田 重義 (昭37)	A世代	23人	林 莊八郎 (昭36)	9人
昭45年 ～54年卒	B世代	22人	中西 康之 (昭52)	B世代	14人	佐敷 定雄 (昭49)	16人
昭55年 ～59年卒	C世代	24人	上田 剛弘 (昭56)	C世代	16人	徳永 守 (昭63)	17人
昭60年 ～平1年卒	D世代	25人	吉田不二彦 (昭60)				14人
平2年 ～6年卒	E世代	15人	家門 秀行 (平5)	D世代	32人	成田 康修 (平11)	23人
平7年 ～11年卒	F世代	23人	諫山 大介 (平9)				23人
平12年 ～16年卒	G世代	28人	福本 守 (平16)	E世代	9人	久保 達也 (平14)	11人
平17年卒～	H世代	21人	西和田 靖 (平17)				8人

※人数は平成19年5月現在

【現役部員寄稿 I】 新幹部決意表明

主将として

主将 吉田 楽・I3回



今シーズン主将を務めさせていただくことになりました、吉田楽です。まだまだ不安や心配もありますが、部の仲間とともに精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。

昨シーズンは皆様もご存知のとおり、競泳・水球ともに良い結果を残すことは出来ませんでした。競泳は関西国公立5位で団体権を逃し、さらに関西学生選手権でも3部残留、また水球も秋リーグで一勝も出来ずに終わりました。この状況を脱出し、強いチームを作っていくことが今シーズンの幹部の役割だと思います。「強いチーム」とはやはり一部で闘えるチームであったり、インカレにでるチームであると私は思います。そのようなチームになるには何をすれ

ば良いか、また主将として何ができるか、を考えながら行動していきたいと思います。

そして今シーズン私は、部員一人一人が自分で考え、行動できるようになってほしいと思っています。いま現在、競泳・水球共にチームの半数の部員が大学から競技を始めた初心者です。チームが強くなるには、全員のレベルアップは当たり前ですが、やはり初心者の大幅なレベルアップが必要不可欠です。もちろん経験者が教えていくのも大事だとは思いますが、そのような受け身な態度だけでは限界があります。速くなるため、上手くなるため、には、いま自分に何が必要か、どうすればいいのか、ということ各自が考え、行動していく必要があります。自分を客観的に観るのは難しいことではありますが、そのために互いに意見を交換し合い、切磋琢磨できるような部にしていきたいと考えています。

最後になりましたが、OB・OGの皆様には今シーズンも多々お世話になることと思います。部員一同、懸命に頑張っていきますので、応援よろしくお願いいたします。

競泳主任として

競泳主任 段野 光宏・発達3回



今年度競泳主任を務めさせていただくことになりました段野光宏です。自分たちでチームを運営し、引っ張っていくという経験はなく、すべてのことが初めてで難しさを感じている部分もありますが、主任としての責任感と自覚を持ち、みんなを良い方向に導けるように一生懸命頑張っていきますので宜しくお願い致します。

昨年度の競泳面はとても悔しいシーズンとなりました。一人一人は精一杯の力を出した結果でしたが、チームとして勝つことができなかったことには様々な要因があると思います。最大の要因は部員数が少ないことです。これはここ数年の課題ではあると思いますが、関カレでなどの総合得点を争う試合においては、非常に危機的な問題であります。今年度もその課題は解決していませんが、新歓にも力を入れ、部員の確保をして参りた

いと思います。

今年度の競泳チーム目標は「関カレで全員決勝進出」です。この目標のポイントは「全員」というところです。先にも書かせて頂きましたが、少ない部員数で男子が2部に昇格するためには「全員」が決勝に残ることが必要不可欠です。昨年度は決勝に残る部員が増えたものの、毎回残るのはやはり決まった一部の人間でした。チームとして戦っているのに得点は一部の人間に任せっきりというのは問題があり、それが当たり前になっている感覚がさらに問題だと感じました。まずは全員が「なんとしても残る」という意識を持つために、この目標に決めました。

この目標は決して簡単なものではありませんが、決して無理なものだとも考えておりません。各部員の意識と努力、そしてチーム全体の雰囲気次第だと考えております。神戸大学水泳部は水泳が好きで、速くなりたいものの集団です。水泳に関して出来ないことなど、一切ないと思います。強い神戸大学水泳部に生まれ変わることができるように、最大限の努力をして参ります。

主任としましては、目標を達成できるように、部員の意識・気持ちを大切にしていきたいと思います。今年度は毎月のテ

ーマを決めて意識を統一すること、定期的にテストを実施することにより自分の成長や反省点をわかるようにしています。競泳は個人の力に加え、チームとしての力がいざという時には大切になります。全員が「みんなのために、チームのため

に」と試合の時に思えるようなチームにしていきたいと考えております。

最後になりましたが、OB・OGの皆様のご期待に添えるように努力して参りますので、今年度も応援よろしくお願い致します。

主務として

主務 田畑 直紀・I3回



21年度主務を務めさせて頂く事になりました田畑直紀です。

諸先輩方には多々お世話になることや、至らない点がありご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、精一杯やらせて頂きますので、宜しくお願い致します。

個人的な話になりますが、21年度は日本水泳連盟学生委員会関西支部の情報担

当としての職もあり、もうすでに試合の運営や準備で練習や行事に参加できない事があるなど水泳部のみんなに迷惑をかけてしまっている点もありますが、主務として自分にできる限りの事をして、神戸大学体育会水泳部がよりよいチームとなるように1年間頑張っていきたいと考えています。

さらに21年度は神戸三大戦・市大戦・三商戦・近国と多くの試合を神戸大学の主幹で行う予定です。現役部員一同で団結して取り組んでいきたいと思いますが、凌泳会の諸先輩方にもご理解ご協力を頂きやり遂げてさせて頂きたいと思いますので、宜しくお願い致します。

最後になりましたが、今後も応援宜しくお願い致します。

水球主任として

水球主任 大脇 幸之助・経済2回



今年度水球主任を務めさせていただきまず大脇幸之助です。こういった役職を務めるのは初めてなので、至らぬ部分が多々あるとは思いますが、仲間や先輩、後輩と協力してやっていきたいと思ひます。神戸大学体育会水泳部をよりよいものにするために頑張りますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

昨年は、1回生2人がスターティングメンバーに入らなければならないという厳しい条件のもと、関西国公立1位を目指して戦いました。しかし、秋リーグでは国公立大学とはどの試合も僅差だったものの、結局は1勝もあげることができず関西最下位に終わりました。

今年にはチームの中心だった先輩方が抜け、新2回生が中心の若いチームになります。このため、今年には昨年以上に厳しい戦いになることが予想されます。しかし、若いチームであるということは伸びしろがまだ十分にあるということだと前向きにとらえ、日々練習したいと思います。僕は水球経験者なので、そのことを生かしてみんなと共に成長したいと思います。また、いい意味でこれまでの伝統にとらわれないチーム作りができるのではないかと考えています。

今年のチームの目標としては、昨年と同じですが「関西国公立1位」を考えています。この目標を達成するためには、ただ漠然と練習するのではなく、自分たちで考え、工夫することが大切だと思います。そこで、月に1回はミーティングを行い、練習をよりよいものにするつもりです。また、練習の幅を広げ、部活を盛り上げてこれからのつなげていくためにも、新入部員の勧誘にも力を入れたいと思ひます。

この様にいろいろと考えていることはありますが、これはあくまで現時点での考えなので、必要に応じてその都度修正していこうと思ひます。

最後になりましたが、今年もご支援・ご協力、そしてご声援のほどよろしくお願ひ致します。

【追 悼】

吉野 栄 元凌泳会長を偲ぶ

石井 義章・昭 27

本年(平20年)8月の始め頃、佐藤一夫君から凌霜誌8月号の物故者欄に吉野元会長ご逝去が報じられていると知らされた。急いで同誌を開いてみると確かに平成20年1月18日亡とある。

早速野田会長に連絡をとりお悔やみに上がるべく、宝塚のご自宅に電話をしたところ、ところが電話口に出られたご遺族は、父は常々大げさなことはするな、誰にも知らせず近親者だけで簡単に済ませるようにと言っていたのでその通り身内だけで済ませました。お悔やみ、お参り等決して気を遣わないでくださいと、言われるので電話でお悔やみを言上するだけに止めた。

吉野元会長は神戸一中から名古屋の第八高等学校を経て神戸商業大学に進学、昭和15年第9回生として卒業された。在学中は水泳部に属され平泳ぎの名手として中村市治、大西真博、新原拓郎等諸先輩と活躍された。卒業後は商社に就職、上海に駐在されたと聞いていたが多くは語られなかった。語学に堪能で英語は勿論ドイツ語、フランス語もこなされたようだ。

御趣味はカトレアの栽培で宝塚のご自宅の庭に六畳ほどの総ガラス張で温度、湿度、送風、換気等自動調節機能を備えた

温室を設置し本格的な育種、改良、栽培の研究をされていたようである。

あれは何年だったか阪神大震災以前で三ノ宮駅前の神戸新聞会館に凌霜会事務所があった頃、凌霜午餐会の卓話の講師としてカトレアの話がされたことがあった。世界を股にカトレアの珍種を求めて飛び回られた思い出を蘊蓄を傾けて語られた。又前記温室で大輪のカトレアを咲かせて、友人知人にプレゼントされた。我が凌泳会員の中にも結婚式で花嫁のブーケとして頂いた者がいるはずだ。

さて凌泳会の会長にご就任頂いたのは平成4年5月であった。小山会長より就任以来15年を経過し、水泳部創設七十年の記念行事も無事終わったのでこれを機に退任の意志を漏らされた。そして次の会長は私にやれとご指名を受けたが一気に20年も跳ぶのは良くない、その間にどなたか入っていただきたいと、幹事会で協議の末関西在住の方が良かろうと8年後輩の吉野先輩に御願いすることにした。当初吉野先輩は固辞されたが2年だけで良いから御願いたしますと口説き落としやっと納得いただいた。しかし結果は平成8年5月まで4年間ご尽力頂くことになった。

会長御退任後プールサイドにお顔を見せていただく回数は減ったが、毎月楠公会館で開かれる凌霄午餐会には欠かさず出席されていた。今年に入ってお姿が見えないので電話でご機嫌をお伺いしたところ、いつも来ていた同期の仲間が次々消

えて自分一人になってしまったのでな一と淋しそうにつぶやかれたのを思い出す。私より一回り上の辰年生まれだから92歳にはなっておられた筈だ。

穏やかで誠実な吉野先輩を偲びつつ御冥福をお祈りいたします。 合掌

原稿募集

『凌泳』誌は会員相互の連絡と親睦を図り、あわせて現役部員とOB・OGの連携を強化するための機関誌です。本誌をより楽しいものにするため、多数の方々のご投稿をお待ちしています。

- 人名や固有名詞は正確・明瞭にお書きください。会員名が登場する場合は、卒業年を明記ください。(昭52、平14 等)
- 写真も歓迎します。
- 原稿の締切は毎年2月末、発行は5月中旬です。
- ワープロの場合： 最大40字詰め×最大100行まで。写真はjpgデータで。
(送り先) メールに添付して下記アドレスまで
kawamoto_noriko@cosmopolis.co.jp

手書きの場合： 最大400字詰め原稿用紙5枚まで。写真は紙焼きで。
(送り先) 〒657-0013 神戸市灘区六甲台町2
神戸大学体育会水泳部 凌泳編集幹事宛

以上(凌泳編集幹事)

山口宗樹先輩を偲んで

田淵 五郎・昭 30

山口先輩……。記録的な猛暑続きのこの夏、貴方は天国に旅立たれました。昨年の凌泳会関東支部の忘年会では、「来年90歳になるが何とか百歳まで頑張りたい」とお元気に述べられ、我々の方が励まされていまして……。貴方は凌泳会の会合には万難を排して出席され、軽妙洒脱な語り口であいさつや寸評をされて常に座を和ませてくださいました。これからはいつもの席にお姿が見えないと思うと寂しい限りです。

凌霜会の主要行事にも頻繁に出席されて多大な貢献をされた一方、成城学園の同窓会の重鎮としても欠かせぬ存在であったとお聞きしています。晩年には同窓会の範疇に留まらず、シャンソンを楽しむ夕べとか、無目的に大勢の夫婦で会食を楽しむなど、さらに人の輪を広げられました。人を包み込む生来の温厚なお人柄に人が集まったのでしょうか。

凌泳会の資料によれば昭和13・4年頃、山口先輩をはじめ成城水泳部から数人の選手が神戸商大に入られたお蔭で、競泳陣強化はもちろん、水球部の黄金時代を迎えたそうです。中でも特に弟君の山口八郎先輩（昭和20年戦死）が名選手だった由。

ご自身も、あの不幸な戦争のため、中国大陸・シベリア・西アジアと貴重な青春時代を過酷な環境で長く過ごされたご経験は、筆舌に尽くせぬものと存じます。叔父上の当たる有名な山口多聞海軍中将も戦死されました。我々後輩に対しては暗い嫌な思い出は一切封印して、ただ時々抑留地（カスピ海近く）での監視ロシア兵のユーモラスな一面を披露していただきました。

三菱銀行時代のエピソードとしては、「インターバンク」の水泳大会のために、女子水泳部の監督として活躍したと話されました。先輩はこのように人をけなすことなく、物事の明るい面を選んでユーモアをまじえて話される得難い人生の師でした。

この春、貴方の孫ほどの若い凌泳会員N君が、戦中戦後の回顧談を聞きに伺ったのが奇しくもお別れとなりました。「苦境にあっても先輩のように、敵国人だろうが、戦後社会においても人とうまくやって行けた秘訣はなんですか」の質問に対し、「それは私が人を好きだから……」と答えられました。

山口先輩……。人の心の琴線に触れる人間愛を身をもって示していただいて、本当にありがとうございました。

（「凌霜」平成20年11月号に寄稿）

半世紀ぶりに蘇った「水泳部歌」

石井 義章・昭 27

平成20年の忘年会は奇しくも東西呼応して「水泳部歌」の大合唱で締めくくったようである。昭和35年に古林喜楽先生に作って頂いたこの部歌がどうして50年近く歌われずに来たのか、そして本年漸く日の目を見る事になったのか、その経緯を此処にご報告する次第である。

その歌詞が初めて凌泳誌に掲載されたのは昭和35年度号であったがそれは歌詞だけで楽譜はまだ出来ていなかった。翌36年度号も同じく歌詞だけ、次の37年度号になって漸く楽譜が掲載された。

作曲者は昭和37年度経済学部卒業の山田貴彦君である。早速歌ってみようとしたが五線譜の書き方が所々間違っていて歌えない。しかしこれは印刷時の手違いで、次号には修正した物が載るだろうと思っていた。

ところが、翌38年度号もそのまま、更に39年度号になると逆に間違いが増えてきた。そのうち48年度号になって部歌が消え、代わりに旧制商大の学歌「商神」が掲載されるようになった。この状態が3年続き、もう水泳部歌は止めたのかなど

思っていると51年度号に再び部歌が登場した。しかし楽譜は47年度号と同じものであった。

此処で私は考えた、この凌泳誌は旧三商大は勿論近隣友好諸大学とも交換しているであろう、間違った楽譜を何時までも掲載しているのは恥ずかしい事である、せめて楽譜としての体裁を整え歌える物を掲載したいと。しかし作曲者である山田君が居るのに私が勝手に手を加える訳には行かないので彼に相談しようとしたが海外勤務で日本にいないことが判った。仕方なく彼の作曲意図を推察し最小限の手直しに止め修正した。これが52年度号に掲載された楽譜である。一番苦心したのは7小節目である、此処だけ2部に分かれている、高音部がメロディーを歌うのに対して低音部が半拍遅れて相の手を入れるのであるが、歌詞をどう割りつけるのか、リズムはこれで良いのか、何度も歌って割り振ったが、果たしてこれ良かったのかどうか未だに疑問である。

さてこうして楽譜としての体裁は整えて見たもののやはり原作者に対する後ろめたさがあつて積極的に歌う事もせず今日まで

来てしまった。

本年6月、野田会長が上京の折、在京の皆さんと話し合いの中で折角古林先生に作って頂いた部歌があるのに埋もれたままにして置くのは惜しい、なんとか復活させようと言うことになったと聞いた。

早速山田君に連絡を取り上記の経緯を説明し、勝手に曲に手を加えたことを詫び、山田君作曲として永久に残るのだから満足のように書き直してくれとお願いした。何度も電話で打ち合わせ、時には電話口で歌って貰ってそれならこう書くべきだろうと相談しながら最終的な楽譜が出来上がった。それが今回本誌に掲載した物である。

原譜にあった7小節目の2部合唱は止め、代わりに最後の2小節を2部に分けて低音部が下がるのに対し高音部が音程を上げ元気よく終結するように変えたのは山田君苦心の発案である。

尚山田君の名譽の為に一言書き加えるが、山田君は昭和37年卒業と共にフランスへ留学し卒業後は日本開発銀行に就職

し引き続き海外に勤務したそうで、凌泳誌は外地まで送られず、永年変則な楽譜が掲載されている事を知らなかったそうである。私も外地まで連絡して相談することをせず勝手に手を加えた事を反省し申し訳なく思っている。

最後に歌詞の一部に「しぶきをあげる健男児」とか「月見の宴で泳ぎ止め」とか、今の水泳部にはマッチしないところもあるが、50年の時の流れがなせる業とご容赦頂きたい。戦前の旧制大学(官立)には女子学生は居なかったのであり、温水プールもまだ普及せず夏のシーズンが終わると泳ぐのは止めた時代だから古林先生の脳裏に浮かばなかったのも無理はないわけだ。

今回この曲を見直す機会を得、決定版楽譜も出来上がり、東西の忘年会での大合唱で復活の機運盛り上がり、歌詞の誕生より50年を経て漸く日の目を見た事を嬉しく思うと共に、この歌が我が水泳部に定着し、何時までも歌い継がれることを願いつつ筆を措く。

神戸大学 水泳部歌

(昭和 37 年作)

作詩・古林 喜楽(大 14 高商)

作曲・山田 貴彦(昭 37 経済)

編曲・石井 義章(昭 27 旧学)

ま やろっこうに いだ かれて ここむこがおかのみずきよし
 フリープレスト バタフライ バックリレーにボロまでも
 ああ懐かしの すい え いぶ ろっこうだーいの プール べに

ちぬの うらわを みおろして しぶきー を あーげ る け
 りよう えい けんじの いきたかし いざやー ーきそわ ん う
 つきみの えんでー およぎやめ くる な つまーっ て い

ん ーだ ん じ き ーり た ー つ
 で ーを ぶ し

注：1番のみを歌う場合は、9、10小節を3番のメロディーで歌う。

- | | | |
|---|---|---|
| 1. 麻耶六甲に抱かれて
むこ
ここ六甲ヶ丘の水清し
茅渚の浦曲を見下ろして
しぶきをあげる健男児 | 2. フリー プレスト バタフライ
バック リレーにボロまでも
凌泳健児の意気高し
いざや競わん腕を撫し | 3. ああ懐かしの水泳部
六甲台のプール辺に
月見の宴で泳ぎ止め
来る夏待っていきり立つ |
|---|---|---|

神戸大学水泳部歌

山田 貴彦・昭 37

[水泳部歌の作成の経緯]

1) 昭和35年頃、神戸大学応援部と水泳部の顧問をされていた古林喜楽学長が、まず応援部の歌詞を作詞されました。それを伺い、是非水泳部にも相応しい歌詞をお願いしたところ、ご快諾頂き今の水泳部歌が作詞されました。

2) 昭和37年卒業の山田が、部員として何一つ成績を残せなかった悔しさの思いをはらすべく一晩で作ったものが、水泳部歌の原曲と言われるものとなりました。しかしこの曲は楽典として不正確であったため、一度も歌われることなく永く会員の皆様に多大なご迷惑をお掛けして参りました。

3) 今年春に開かれた東京支部総会にお見え頂きました野田凌泳会会長に、この曲は白紙に戻して、これからの部歌に相応しい作曲を若い皆様に依頼するようお願いいたし、検討するお約束を頂きました。

4) その後この件が本部でどのように協議されたか解りませんが、ある日、石井義章先輩から大きな角封筒が届き、「お前が作ったと言う曲について幾つも異なった楽譜がある。このどれが正しいか責任を取

れ」とお叱りを受けました。

5) 元々楽譜も読めない私は驚いて直ぐにお電話でお詫びと新曲の作曲をお願い申上げたのですが、「兎も角、どのようなものだったか正確な楽譜を作ってみるから」と何度か郵便でやりとりがありました。最後は「お前が作ったと言う曲をそこで歌ってみい」と言われ、電話口で何度も歌わされました。

「ちあう、ちあう。それやったら楽譜はこうでなきゃいかん」と何ヶ所もご訂正頂き、また無理して作った二部合唱も一部削除するなど大きな変更を頂き、ようよう原曲が出来上がった次第です。

6) 何でも石井先輩は夏は水泳部、冬はグリークラブでご活躍されていたことで、その貴重なアドバイスを頂きましたお陰でこの楽譜が完成することが出来ました。それで、原曲の編曲者としてお名前を頂くことをお願いいたしましたところ強く固辞されましたが、最後にはご了承頂き、パソコンによる楽譜作成までお手配頂くことができました。石井先輩には心からお礼申し上げます。

[初練習]

忘年会では、石井先輩のご指示に従っ

て、参加20名で何度も練習させて頂きました。また、部歌として正式に承認されたものではありませんが、皆様のご協力のお陰で素晴らしい曲になったと思います。有難うございました。



Photo 関西支部忘年会で
石井先輩の指導による水泳部歌練習

(追伸)

忘年会出席者の中から、「古林先生も違うメロディーで歌っていらっした記憶があると」伺い、ビックリ仰天いたしました。

もし、それが見付かれればそれこそ古林喜楽作詞・作曲による正真正銘の神戸大学水泳部歌ですが、どなたかご記憶がおありの方はいらっやいませんか。例えうる覚えでも、是非採譜して検討して頂けないでしょうか。

もう一つの水泳部歌「旧制 姫路高等学校 水泳部部歌」

石井 義章(昭27)

この度神戸大学水泳部歌が蘇った事を慶ぶと共に、併せて歌い次いで欲しい今一つの水泳部歌をご披露したい。

敗戦後の学制改革により消え去った旧制姫路高等学校は新神戸大学を構成した前身校の一つであり、その学舎は神戸大学の姫路分校となり、此処で教養課程を送り、このプールで練習した凌泳会員も多い。その姫高の水泳部には右掲の部歌が

あった。この歌は数ある旧制高校の部歌の中でも歌詞、曲共に優れ旧制高校3大部歌の一つと称されて他校の学生にも愛唱された。今や旧制高校経験者は消え去ろうとしているがこの名歌が忘れ去られるのは愚びがたく、後継大学生として又同じ河童仲間としてこの歌を我が水泳部で歌い継いで欲しく此処にご披露する次第である。

旧制 姫路高等学校 水泳部歌 (大正15年度)

作詞:吉村 大介(1文甲)

作曲:南 恒郎(1分甲)

$\text{♩} = 100$

1. ふ り さ か み な と は た そ が れ て み さ き の
 4. つ き か り あ わ く は の め き て お き つ な り

は なる の ゆ う ば え や い じ ま の か り の
 し なる き か ま が さ き い さ り び の か り の

う す れ て は あ い し う の や み お と も な
 か ず ま し て ふ る き み な と は く れ て ゆ

と 二

1. 古き湊はたそがれて
はな
 御崎の端の夕ばえや
えじま
 家島の影うすれては
 哀愁の闇音もなし

2. 砂は眞白に磯着清き
 坪江が濱をこぎ出でて
 奇しき巖の根に立てば
 古き傳へぞ身にはしむ

ゆうばし
 3. 夕星かすかにまたたきて
 松影くらき生島に
 神秘の闇のおとなへば
 情熱の兒は涙する

4. 月かけ淡くほのめきて
 沖つ浪白き鎌が崎
 いざり火のかけ數まして
 古き湊はくれて行く

旧・神戸商船大学水泳部の愛唱歌

資料提供：本間 正信・海事科学部教員

文：川本 典子・昭51

神戸大学水泳部歌の新しく調整された楽譜を掲載するようにとの指示を受け、作業をする中、ふと「旧・神戸商船大水泳部にもきっと愛唱歌があったはずだから、それもお載せしないと・・・」と思い、寮歌などに詳しい石井先輩に電話しました。石井先輩曰く「探したらあると思うけど、寮歌のうちうもんは時代とともに微妙に変わっていくので、商船大出身者に聞いた方がいいと思うよ」とのこと。

そこで、海事科学部の本間先生にご無理を言って、愛唱歌・神戸高等商船学校寮歌「白波寄する」の楽譜をご提供いただきました。

掲載した楽譜及び歌詞の出典は下記の通りです。

「櫛漣歌集」p.20, 平成6年7月2日発行

制作 櫛漣歌集編集委員会

発行 櫛漣会

“櫛漣”とはまた難しい。商船大の方にとっては馴染みのある言葉でありましょうが、

私には読めなかったので、ちょっと調べてみました。

櫛：ほぼしらのこと。読みは「ショウ」

漣：なみ、大波。読みは「トウ」

とのことで、実に相応しい名称ですね。

なお、同書には作者について次のような但し書きも掲載されていました。

～この歌と前掲の「茅渚の浦風」は、共に作詞者は歳森寿高氏(神機関科二期)、作曲者は永井幸次氏で当時大阪府立清水高等女学校の音楽の先生で著名な音楽家であった。曲は神戸商船大学開学記念誌(昭和三十四年五月発行)に拠った。～

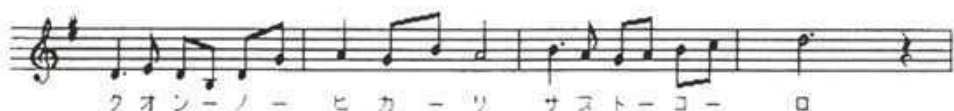
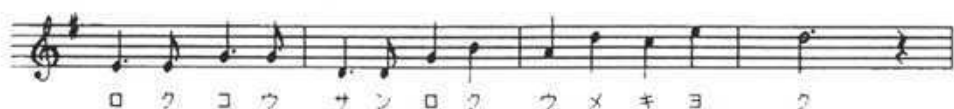
“清水高等女学校”とありますが、“清水谷高等女学校”の間違いではないかと思われる。

それにしても日本人というのは校歌、寮歌など本当に沢山の歌を作っては歌い継ぐ民族ですね。

神戸高等商船学校寮歌 白波寄する

作詞: 歳森 寿高

作曲: 永井 幸次



1. 白波寄する東明の 島根の春の 魁 に
 世の黄塵をよそにして 六甲山龍梅清く
 久遠の光さすところ 聞け啓蒙の叫び声

2. 岸打つ波に声合わせ 男子の歌を唱う時
 紀伊の山並遙かにて 生氣溢る茅葺の海
 黎明の鐘高鳴れば 海に文化の響きあり

3. 極りもなく巡りゆく 古今の舞台に現れて
 今日 明日は椰子樹の蔭により
 明日はオロラ的美をたたえ
 両半球の波まくら 旅人の役を務めなん

4. 行手の岸は遠くとも 翼をたのみて渡り鳥
 弓弦離れし矢の如く 路一条を進むべし
 月を優しき母とみて 風を旅路の友として

平成 20 年度 凌泳会総会(2008 年 5 月 24 日)

Photo Report

撮影・文:得丸 哲志・昭46

5月24日(土)に総会が開催され長谷川健(昭49)幹事長の議事進行で野田浩志(昭36)会長の挨拶のあと議題について建設的な意見が OB・OG 諸先輩から活発に交わされました。 ※議事録は誌末に掲載しています。



※得丸副会長の Photo Report は、各行事ごとに掲載しています！

1年かけて撮り貯めてくださった努力の結晶です。お楽しみください。

凌泳会総会後の歓談くつろぎ風景

Photo Report

撮影・文：得丸 哲志・昭46

凌泳総会のあと東京から来られた田淵五郎(昭30)副会長を囲み、野田浩志(昭36)会長はじめ石井義章(昭27)元会長、佐藤一夫(昭30)監事の皆様方との団欒のひと刻です。



凌泳会総会後の懇親会風景

Photo Report

撮影・文：得丸 哲志・昭46

凌泳総会のあと北野達也主将をはじめとする新幹部が挨拶で抱負を決意、新入部員の紹介につき先輩と学生との懇親会にはいりました。平成卒の若いOBもたくさん参加し楽しく歓談しました。



関東支部夏季総会(2008年6月27日)

田渕 五郎・昭30



いつもの場所に、いつもの顔が自然に集まるのがこの会なのだが……、いつものあの温顔が見えなかった。山口顧問(昭16)のご病状を知らないままに、我々25名は楽しく談笑した。神戸からは野田会長(昭36)・金監督(昭58)が上京され、最近の現役やプールの事情などの説明を頂いた。

マスターズ水泳の報告、ゴルフのエピソード(特に一橋対抗戦)、趣味・健康の話などで時間は足りない気味に賑やかだった。

あとで成田幹事(平11)が春頃に山口顧問を訪ね映像と談話をビデオに収録してある旨聞いて何となくホッとした。(顧問は総会の2週間後にご逝去。合掌)

(出席者)敬称略

野田 浩志(昭36)	田渕 五郎(昭30)
榊原 修造(昭33)	岡見 晴児(昭33)
細田 忠雄(昭33)	上村 久治(昭35)
井上 隆史(昭37)	山田 貴彦(昭37)
荒井 康之(昭38)	鈴木 剛広(昭38)
丸山 卓也(昭38)	鈴木 正弥(昭39)
武政 英幸(昭39)	滝沢 章三(昭39)
前田 和秀(昭40)	宮部 高博(昭42)
木内 資雄(昭44)	熊岡 禎二(昭44)
佐敷 定雄(昭49)	藤田 弥門(昭57)
金 一波(昭58)	日比 勝己(昭62)
徳永 守(昭63)	成田 康修(平11)
加藤 晃裕(平19)	

石田教授・還暦祝いの風景(2008年9月6日)

Photo Report

撮影・文: 得丸 哲志・昭46

国際海事教育研究センターの石田憲治(神戸商船大学水泳部 OB)教授の還暦を商船OBと学生が養正館(商船集会所)でお祝いしました。往時に競った同世代の大橋&岩切&得丸も祝福しました。



平成20年度 月見の宴

今年の月見の宴は、昨年同様、「神戸大学ホームカミングデイ」と同日の9月27日(土)に開催されました。

午前中に競泳記録会、午後からはOB対現役の水球試合が行われました。プールの水は冷たく、濁っていましたが、プールサイドからのOB・OGの方々や現役部員の応援もあり、熱い戦いを繰り広げることができました。

次に行われた会議では、部歌の普及の提案と、金監督から「レーザー・レーサー」をチームに何枚か購入するための協力を求める声があがりました。

会議の最後に監督賞の発表があり、10名の部員が賞品を贈呈されました。

(監督賞受賞者)

司馬 竜也	嶋彦 剛
西澤 翔	土方 了輝
横尾 晋	加藤 優
菊地 美甫	段野 光宏
櫻田 侑佑	渡辺 祥子

会議終了後の懇親会は、得丸副会長に提供していただいた焼き肉や、現役部員手作りのおでん・おにぎりを食べ、大いに盛り上がりました。



今年も多数のOB・OGの方々に参加していただき、賑やかな月見の宴となりました。ありがとうございました。

(出席者) 敬称略

柳田 泰義(部長)	
佐藤 一夫(昭30)	北村 敏(昭34)
野田 浩志(昭36)	酒井 孝栄(昭36)
岡田 重義(昭37)	高岡 保宏(昭37)
平岡 昭朗(昭38)	徳丸 哲士(昭46)
小林 育夫(昭46)	長谷川 健(昭49)
川本 典子(昭51)	金 一波(昭58)
永田 安德(昭58)	成田 康修(平11)
平山 道夫(平11)	岡本 康宏(平12)
西田 憲史(平12)	福井 貞夫(平15)
古谷 洋之(平15)	岡田 大(平16)
水谷 直揮(平16)	信田 康弘(平16)
酒井真貴子(平16)	服部 清香(平16)
岡 一成(平17)	佐伯 奈緒(平16)
井口 靖之(平18)	泉口 将人(平18)
濱本 有紀(平18)	加藤 亮二(平19)
宮崎 仁志(平19)	畠山 秀一(平19)

月見の宴の風景

Photo Report

撮影・文：得丸 哲志・昭46

六甲台プールにて今年の競技納め“月見の宴”を第三回ホームカミングデーに合わせて開催しました。恒例の水球 OB 戦のあと野田会長の挨拶、金監督による表彰式、BBQ 懇親会に入りました。今年も若い OB&OG が多数参加して学生を激励し楽しい歓談のひと刻を過ごしました。



関東支部忘年会(2008年12月11日)

田淵 五郎・昭30



今回は出席予定者のうち直前に6人も欠席されて残念だったが、内容は充実していた。写真には写っていないが徳永君(昭63)が夫人と長男「凌太」ちゃん(10ヵ月)を同伴され、その可愛さが座を明るくしました。

山田貴彦さん(昭37)！ 由緒ある「水泳部歌」斉唱の音頭を取って頂きありがとう。

その他去る8月の三商大戦の講評、一橋OBとのゴルフ対抗戦の反省などで話題は尽きず、時の経つのを忘れませんでした。

転勤して来たばかりで初出席の古元君(平15)によれば、ポロの有志で静岡県や愛知県の選手権に出場して好成績を挙げ

ていたとか……。折角のポロの輪がもっと広がることを期待します。

(出席者)敬称略

田淵 五郎(昭30)	岡見 晴児(昭33)
井上 隆史(昭37)	山田 貴彦(昭37)
鈴木 剛広(昭38)	林 荘八郎(昭38)
丸山 卓也(昭38)	鈴木 正弥(昭39)
武政 英幸(昭39)	前田 和秀(昭40)
宮部 高博(昭42)	佐敷 定雄(昭49)
藤田 弥門(昭57)	日比 勝己(昭62)
徳永 守(昭63)	近藤 直明(昭63)
古元 康介(平15)	

関西地区忘年会(2009年12月12日)

長谷川 健・昭49

今年度の関西地区忘年会は恒例により大阪開催の年に当たり、総会の報告にもありましたようにOB・OGのみの行事として開催されました。会場は得丸先輩に無理をお願いし、新大阪の阜蘭にての焼肉での開催となりました。東京から参加の成田君の、メーリングリストでの報告にもありましたように、サーロインステーキが食べきれないぐらいに出てきました。まさに、そのうまさ「人生半分ぐらい得した気分」でした。

料理に堪能した後は「水泳部歌」の歌い合わせを行いました。先ず石井先輩より部歌復活の説明がありました。これについては本誌の記事をご覧ください。そしていよいよ合唱です。前日関東支部の忘年会でも歌われたとの情報は伝わっており、東に負けるなど、石井先輩の指導で高らかに歌い上げ、録音も行いました。グリークラブにも所属されていた石井先輩の歌声は流石で、その後を出席者一同必死について

行ったというのが実際のところでしたが……。これからも機会あるたびに歌っていただければと思っています。

そのあと出席者一同の近況報告があり。食事に歌にまた歓談に大いに盛り上がった忘年会もお開きとなりました。

最後に会場を提供いただき会費を無視して特上肉を提供いただいた得丸先輩、今回も幹事を担当いただいた家門君にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

出席者(敬称略)

石井 義章(昭27)	佐藤 一夫(昭30)
岡村 司(昭34)	野田 浩志(昭36)
酒井 孝栄(昭36)	丸山 昱也(昭40)
得丸 哲士(昭46)	長谷川 健(昭49)
長崎 真人(昭59)	川原田 貢(昭60)
森田 武士(昭63)	羽瀬 智文(平2)
家門 秀行(平5)	成田 康修(平11)

関西忘年会

Photo Report

撮影・文：得丸 哲志・昭46

京阪神に在住のOBが集い、焼肉を舌鼓ながら楽しい忘年会を過ごしました。石井先輩の指導でこのたび正式に認められた“水泳部歌”を14人全員で声高らかに唱和して繰り返し練習しました。



初 泳 ぎ (2009 年 1 月 25 日)

Photo Report

撮影・文: 得丸 哲志・昭46

東灘区住吉:コープ健康センターのプールで初泳ぎが行われました。野田会長や柳田先生など多くの先輩たちが見守る中、競泳面と水球面に混じって力泳する元気なOBもいて学生たちにハッパをかける激励のひとコマもみられる嬉しい“初泳ぎ”になりました。



初泳ぎ後の懇親会（2009年1月25日）

Photo Report

撮影・文：得丸 哲志・昭46

初泳ぎの後、学生“新幹部”と懇親会をおこない「今年の抱負」やおもな「試合と行事」などについて語り合いました。とりわけ新入部員の勧誘については例年以上に積極的に取り組むことが確認され、得点をあげる上位の選手には激励の“目標値”が先輩たちから示されるひとコマもありました。



リレーエッセー(第3回)

リレーエッセーは、平成19年度号からスタートし、今号で第3回になりました。リレー経緯は次の通りです。(敬称略)

	平成卒世代男性	
第1回(平成19年度号)	甲野 賢(平 1)	
第2回(平成20年度号)	森 宣幸(平16)	羽瀬 智文(平 1)
第3回(今号)	信田 泰弘(平17)	當間 尚正(平 3) ※多忙のため未掲載

	女 性	
第1回(平成19年度号)	小笠原陽子(昭50)	
第2回(平成20年度号)	河原 あや(平17)	川本 典子(昭51)
第3回(今号)	西川 弥穂(平18)	星合 正子(昭53)

	商船大OB・OG「みずむし会」	
第1回(平成19年度号)	西村 尚	
第2回(平成20年度号)	※多忙のため未掲載	本間 正信(海事科学部教員)
第3回(今号)		沖浦 征治(11N)

	昭和卒世代男性	
第1回(平成19年度号)	石井 義章(昭27)	
第2回(平成20年度号)	島崎 昌彦(昭62)	野田 浩志(昭36)
第3回(今号)	川原田 貢(昭61)	林 荘八郎(昭38)

【編集委員よりひとこと】

やっとリレーらしくなってきました。大河も源流は一滴のしづくから…。3年目にしてのべ16名の会員が出筆したことになります。

ただ、出筆くださった方の多くが、まだ普段から各種催しに積極的に参加して下さる方である部分は、今後の改善が望まれるところでしょう。あいかわらず、何回もお願いしてやっとの事で集まった原稿です。ど

うしても締め切りに間に合わなかった當間氏には来年再度お願いすることにしてます。競技のリレーでなくて良かった！というところですよ。

今号では、現役諸君が新企画を投入してくれました。“卒業生も現役に負けず頑張らないと恥ずかしいヨ！偉そうな事は出来ないヨ！”といたいところですよ。

水泳部との繋がり

信田 泰弘・平17

森さんからバトン(リレーエッセイ)を受け取ったままずっと心の中に保管していました。確か卒部の辞もこんな感じで後へ後へとなくなってしまっていたことが思い出されます。あれから4年。まったく成長していない自分に気づかされた瞬間でした。

さて、いざ書こうと思いついた過去の凌泳を引っ張り出す作業から入る……ない……引越しのどさくさで実家に送ってしまったようです。これは困ったもので、ほかの人たちが何を書いているかわからないという軽いパニック状態で書いています。駄文であることは間違いないので大目に見てください。

私は現在栃木県の小山市というところに住んでおり、勤務地は茨城県の下館というところ。どこかがわかった人はきっと北関東出身の、そこのあなただけです！この地は田舎であるため、仕事の後にいけるようなフィットネスクラブもなく、あまり泳げていません。2ヶ月に1度市民プールで泳いでいる程度です。その市民プールは長水コースがあり調子乗って長水で泳いでいますが、2キロほど泳ぎ終わったころにはプールサイドの梯子からしか上がれません。情けない限りでした。また、OB連絡をいただくのですが応援にも行っていませんし、各種会合にも参加できていません。神戸大学水泳部卒部生として申し訳なく

思っています。



正直水泳とは縁遠くなってしまっていますが、水泳部と繋がりが無くなったかというところではなく、現在でも関西に帰ると同回や前後の代と連絡を取り合い結構遊んでいます。昨年の年末も数名で集まろうと何気なく連絡を取り合っていた結果、先輩後輩含め10人近く集まり飲み会を行いました。関東から、岡山から、名古屋から、長野から、みな翌日仕事・予定があるにもかかわらず集まれて、本当にいい仲間を持ったと思いました。そのときの写真を載せていただくことにしました。全員で撮れなかったのが残念です。次回こそは！！

本当に駄文になってしまい、すいません(笑)何が言いたいかというと、これを読んでいただいた皆さん、水泳部時代に一緒にすごした仲間と連絡を取ってみてはいかがですか？ということです。なかなか集まる音頭をとる人がいないと集まれないと

思います。私が言うのも差し出がましいですが、今回の凌泳が届いたら近い世代と連絡を取り合います。岡一成君。そして、リレーエッセイも受け取ってください！！

私はこの人と

恐怖の六甲道三角地帯

川原田 貢・昭61

島崎さんの水泳論議の内容とはうって変わって、私が学生時代をすごした、六甲道の三角地帯に思いを巡らしたいと思います。



Image 1980年代の六甲道周辺地図
(今昔マップ2より作成)

六甲道三角地帯とは、アスファルト舗装の無い六甲道の駅前にあった、ちくぜん(漢字では筑前？竹仙？)、鳥由、河童天国、の三点をつないだ内側の場所で、足を踏み込んだが最後、次々と、時間感覚、金銭感覚、方向感覚を失ってしまう恐怖のミステリーゾーン。

一年の私の貴重な移動手段であった原付の免許を奪ったのも、河童天国から鳥由の移動途中。河童天国で餃子とビール

をとり、いつもの様に鳥由へ。

途中‘金一波’さんがバイクの後ろにとびのり、警官の姿が見えた瞬間、『こいつ酒飲んでまっせ！！』と大声で叫ばれたのも金一波さんでした。

二人乗りはとがめられずに、免許取り消し。未成年の飲酒で家庭裁判所で保護観察に。なんとも情けない。

下宿で『コケッココー』のみしか言わない電話で呼び出され、ひたすら焼き鳥を焼き、ビールをシコタマ飲み(飲まされ)、なぜかわからないが、餃子を食べ、またなぜかわからないが『いも焼酎』をのみ、持っている金を全て吐き出し、道路にへたり込み、朝を迎えてしまう恐怖の三角地帯。

あのころは、なんでも許された時代でした。私はあのころが大好きでした。

では、リレーエッセイは、時代をすこし遡り、私が2年生の時の4年生、長崎主将にたすきを渡したいと思います。

「卒業後」

西川 弥穂・平 18

先輩、河原あやさんからバトンを受け取りました、H18卒の西川弥穂です。

そんなあやさんも昨年めでたく結婚されたということで…おめでとうございます！！

卒業後、それぞれの道を歩み始めたことを深く実感しております。先輩も後輩も、風の噂で、結婚された、赤ちゃんが産まれたと朗報を耳にします。卒業後も水泳部の方々の近況をお聞きする場に居合わせることができるとを幸せに思います。

卒業後、一番よく会っている同回生は岡田くんです。あんなにネガティブだった岡田くんが、最近とはとても積極的になっており、とても嬉しく思います(笑)またお食事しましょ☆そして一番よく会っている後輩はゆきちゃんです。なんと、朝の電車がよく一緒になり、水泳部のメンバーの近況を教えてください。私の水泳部情報の95%はゆきちゃんからのものと言っても過言ではありません。ゆきちゃん、またいっぱい話聞かせてね♪

さて、話は変わりますが、ついこの間、2月22日(日)に久しぶりに神戸ポートアイランドのプールに泳ぎに行ってきました。初めのうちは、意外と泳げることに我ながら感心☆→あれ？なんだか腕が…ちょっと調子に乗りすぎたか。→足がつる(>_<)→なんとか回避。ゆっくり泳がねば、1時間半ほど泳いで終了→そして次の月曜日、週初めにもかか

わらずあり得ないくらい眠気が zzz…体がだるい…仕事に集中できない…まさに三重苦↓↓↓定期的に泳ぎに行こうと決意しました。

実は、卒業後、1年前よりバレーボールを始めました。結構本格的に。週に3回行っています。働き始めた途端、運動する機会が減ってしまったため、運動不足解消のために始めました。会社の陸上部、テニス部、フットサル部にも入りました。ちょっと運動しすぎな気もしますが、毎日が充実しています。陸上部の活動の一環でリレーマラソンにも参加しているのですが、ここにも水泳部の助っ人が…3年前の淀川リレーマラソンには松田さん、岡田くん、石田くん、ゆきちゃんに参加してもらいました。その後、2年前と1年前には宮岡さんとゆきちゃんが参加してくれています☆そして今年の3月に開催される大阪城リレーマラソンにもこのお二人は参加してくれます。すっかり常連です。いろんなところに水泳部の繋がりがあるものです。

まとまりのない、つまらない話をダラダラとしてきましたが、そろそろバトンを渡す相手を決めたいと思います。昨年末に久々にお会いした先輩に。アメリカより帰国、東京で看護師として働いていらっしゃる横野えりかさんへ。またお会いしましょうね♪

30年ぶりのマーじゃん

星合 正子・昭53

つかぬ事を伺いますが、今でも部屋にマーじゃん卓はあるのでしょうか？恐らくないでしょうね。

もう30年以上前の話ですが、私がマーじゃんを覚えたのはあのジャン卓でした。覚えたての頃は、同期の高木史子さんとともに夢中になってしまい、ひまを見つけては……。しかし、高木さんも私も理系でしたので専門に上がると卓を囲む機会はほとんどなくなりました。

最近、若い人たちはあまりマーじゃんをしないようですが、中高年には「賭けない、吸わない、飲まない」健康マーじゃんが人気だそうです。

うれしいことに、昨年、私の住むマンション内に健康マーじゃんサークルができました。私もさっそく参加して30年ぶりに牌に触れ、月に2～3回マーじゃんを楽しんでいます。メンバーの中には、ご主人と2人の息子さんとで家族マーじゃんを楽しむという人もいます。残念ながら、うちは夫と息子1人（今年から社会人です）の3人家族で、しかも夫はマーじゃんに興味がない。夫は、私が実はマーじゃんが好きだったと知って驚いたようです。あまりいい顔はしませんが、そんなこと

は気にしてられません。

マーじゃんは賭けなくてもゲームとして充分面白い、しかもコミュニケーションの場にもなります。ただし、マーじゃんのイメージは人によって様々。今はまだあまり大きな声でマーじゃんしますと言えないのが残念なところですが、これから徐々にマンション内で健康マーじゃんを広めてイメージアップを図りたいと思っています。マーじゃんは水泳部とともに大学生活の大切な思い出ですから。

水泳の方は週に2～3回プールに通っていますよ。そのせいか体重は大学時代と変わりません。最近バタフライが好きになってきました。平泳ぎは相変わらず進まない。背泳ぎは肩が痛くて25mがやっと、クロールは200mを過ぎると腕の筋肉がつってしまうなど年令を感じますが、泳いだ後は爽快。プールでは60代70代の女性が熱心に泳いでいます。50代の私はまだまだこれから。がんばります。

次は、大学時代がんびり屋で、今もきつといろいろがんびってるだろう大野智恵さん（昭54）、お願いします。

昭和46年近畿国公立

沖浦 征治・旧神戸商船大 航海科11期

今から38年前の昭和46年夏、近畿国公立の水泳大会が神戸商船大学の白鷗寮内のプールで2日間に亘って行われましたが、その模様を私の知っている範囲で報告します。

大会に向けての合宿では、毎日これまでにない猛練習が続けられ、4年生から1年生までの各学年にかなり強力なメンバーが揃っていて、雰囲気はとでも盛り上がっていました。

そうやって向かえた大会では各選手が商船新記録を次々と打ち立て、私の記憶が正しければ1日目を終わった時点で強豪の京大を1点差でリードしていたと思います。2日目もその勢いは止まることなく快進撃を続けて、4年生の石田憲治君(現・海事科学部の石田先生)が200m自由形予選で1年生エースの持つ商船記録を塗り替えてしまった時には、皆、本当に驚きました。1年生エースはショックで一言も喋らなくなり、決意を込めて臨んだ決勝で商船新記録を再び塗り替えて、見事にエースの座を取り返しました。試合は最後まで京大と大接戦を繰り広げましたが、地力で勝る京大が意地をみせて勝利を収め、神戸商船大学は僅差の2位で終わりました。

あとで聞いた話では、京大は商船大学を全くマークしていなかったので、1日目に

リードされた時には少し焦ったそうです。商船大学は結局2位で終わりましたが、各選手が本当に一致団結して良く頑張り、周りに素晴らしい感動を与えてくれました。

それでは、その時のメドレーリレー及びリレーメンバーを紹介しておきます。

【メドレーリレー】

バック	石川 文夫君(2年生)
ブレスト	山口 修君(4年生)
バタフライ	嶋本 保博君(3年生)
フリー	那須 正武君(1年生)

【800mリレー】

那須 正武君(1年生)
藤井 仁君(2年生)
嶋本 保博君(3年生)
石田 憲治君(4年生)

数年前に神戸商船大学は神戸大学海事科学部に変わりましたが、これからも神戸大学水泳部として練習に励み、益々の活躍を期待します。私も時間を作ってプールに顔を出しますので、その時はよろしくお願いします。

次は、石田憲治君に繋がります。

第二の故郷 愉快的な国

林 莊八郎・昭38

36年卒の野田先輩からリレーエッセイをバトンタッチされました。

前号で釣り好きの野田先輩は北米での釣りの話を書いておられましたが、或る時は南米にまで足を伸ばしてアマゾンでの釣りを楽しんだそうです。

お互いに連絡を取り合えばよかったと思います。そのころ私はブラジルに住んでいました。

誰にもある第二の故郷、私にとってそれはブラジルです。

今も懐かしい。何が懐かしいかって？
みな懐かしい。

33年前の話で恐縮ですが、その話に触れてみたいと思います。

1. 神戸が育ててくれた意識

神戸大学に入学して間もなく私は水泳部に入部したが、そのころ南米研究会というクラブがあった。

学内の掲示板に貼られた部員募集のポスターは、「若人よ！ 目指せ、未来の大国へ！」というようなキャッチフレーズで新生に入部を呼びかけていた。

当時の神戸は、わが国最大の貿易港だった。多くのインド人貿易商が在留していたようで、三宮ではその娘と思われる美人を見かけることも多かった。豪華客船が

寄港すると大勢の外国人が街に現れた。神戸は名古屋出身の私には興味深い街だった。

学内も学外も外国をブンブン感じさせる雰囲気があった。

そもそも大学構内からも下校の際も、遙かに輝く瀬戸内の海を眺めて過ごす毎日だったので、海外への関心は自然に育てられたと言えよう。

2. 愉快的な国へ出発

就職するに当たっては、全くひよんなことからローカルな会社に就職してしまった。大阪の洋酒酒造会社だ。それからは酒屋と飲み屋回りの日夜が10年程続いた。

しかし、日本は高度成長期の時代を迎え、入社後はその会社も国産の洋酒やビールに加え多くの酒類を海外から輸入販売し始め、いつの間にか事業も国際化が進んだ。

36歳のとき、思いもよらずブラジル転勤を言い渡された。それが33年前のことだ。暫くは海外志向を忘れて仕事をしていたから、その辞令は嬉しかったのを覚えている。日本も好景気で各企業も好業績。当時は競って海外進出した夢の時代だった。

ブラジルのサンパウロが仕事の拠点。新

規事業の開発を目指し進出したものの、仕事の方は生易しいものではなかった。しかし若かったし意欲満々の日々だった。

サンパウロの住み心地は良かった。帯同した家族も暮らしを楽しんでいた。日本から遠く離れたさみしさを癒してくれたのは、過ごしやすい気候、美味しい食べ物。魅力が一杯の街だった。

日本型競争社会で育った我々から見ると、ブラジルの人々には人懐っこく伸び伸びとしたおおらかさを感じた。そして教えられたことも多かった。例えば友人に対する義理・人情(アミザデーという)、家族を愛する心を何よりも優先する生活態度など我々が失いかけていた大切なことを気付かせてくれた。

当時のブラジルと言う国には後進性は感じたが、その一方で人間本位の暮らしをする国とも感じた。自分には水が合ったとも言えようか、余りの快適さ楽しさに永住しても良い気分になっていった。

3. 凌霜の先輩たち

ブラジルへの日本人の移住が昨年 100 周年を迎えたことはご承知の通り。

着任してみると移住した多くの凌霜の先輩達に出会った。あの南米研究会のOBもいた。

凌霜人のブラジルでの活動の歴史は古い。アマゾン奥地で農場開拓からスタートした方、実業からスタートした方、銀行を

興した方々など活動した分野は幅広い。彼らは当初は予期に反し大変なご苦労をされたそうだが、着任したころには日本人社会のみならずブラジルの各界で重鎮になっておられた。

当時は移民70周年だったが、日本に次いで日本人が多い国であり、独特の日本人社会も形成されていた。日本にとってブラジルは特別の国だ。その地で凌霜の方々が確固たる地位を築いておられることを知ったのは誇らしかった。

嬉しいことにその方々がブラジル凌霜会を結成し、年に2、3回会合を開催していた。

当時は日本からの進出企業の駐在員に神戸大学出身者も多く、皆その中に入れていただき、おかげでブラジルで暮らす心構えやビジネスの環境について数々のアドバイスを受けることができた。

帰国して最初の関東凌泳会でブラジル報告をしたら、ご出席だった故平井 洋先輩(昭和16年卒、元大阪商船 OB)が小生よりも20年くらい前、サンパウロでご活躍だったことを知った。物価も安く人情も素朴で、更に良き時代だったらしい。

4. ブラジルの笑い話

ブラジルにはピアードというものがある。言うなればイギリスのジョーク、フランスのコントみたいなもの。

ブラジル人の気質を理解するにはピア-

ダを数多く知るのが近道という。茶飲み話に彼らはそれを披露し合い楽しむ習慣がある。

ブラジル産まれのパイアダにもウイットやユーモアが一杯詰まっている。取り上げるテーマはいくつかに分類される。政治をからかう話、若い男女や夫婦の色っぽい話、間抜けな話、ズル賢い話などなど。

気の利いたパイアダをいくつか知っていることは紳士のたしなみと言われた。

しかし如何に駐在期間が長くブラジル語が達者になっても、日本人にとってはブラジル人同士が交わすパイアダの仲間入りは難しい。私は最後まで出来なかった。

参考までに日本語訳を二つほど紹介しましょう。

「脳の値段」

医学の発達によって誰とでも脳を交換できるようになり、ついに脳の幹旋を商売とする者まで現れた。その種のある店で、客が脳の値段を尋ねると、

主人 「右端はケネディ大統領ので十萬ドル、真ん中はアインシュタイン博士のもので十五萬ドルです。」

客 「なるほど、高いだけあってどれも立派な人のものだ。では左のは？」

主人 「サルネイ大統領のもので、一

番のお買い得です。」

客 「それじゃあ随分安いでしょう？」

主人 「ええ、たった二十萬ドルです。」

客 「えっ！あのサルネイの脳が、ケネディやアインシュタインよりも高いのは一体何故です？」

主人 「他のはみな使い古されていますが、これは未だ新品同様なもんで。」

「酔っ払いおっさんたち」

2人の酒好きおじさんが酒をやめる約束をした。

それを祝うため、釣りに行くことになり、場所と持ち物を決めて次の朝、約束の場所に向かった。

朝早く、ジョゼさんがパウロさんの家に袋を2個下げてやって来た。

「おはよう。どうだい、準備できた？」

「ああ、準備完了だよ。でも、なんだい、その荷物は？」

「これ？ ああ、これは酒が1リットル入ってるんだ」

「なに？ だって昨日やめると約束したから今日釣りに行くんだろ？」

「そうだよ。でも心配するな。これは蛇にかまれた時の薬だよ」

「アア良かった。よし、じゃあ行こうか。ん？ でももう片方の袋はなんだい？」

「これ？ 蛇を連れてきた」

ブラジルは愉快な国だった。サンパウロ

には7年滞在して帰国した。

仕事では、もがき続けた7年だった。生活でも多くの泣き笑いがあったが、ブラジルが私にとっても家族にとっても第二の故郷となったことは確かだ。

サッカーでは家族一丸となってブラジル最前。W杯では絶対に応援する。

その後、業務出張や個人旅行でいろいろな所へ出掛けたが、リラックスできるのは

ブラジルが一番。ブラジルを愛する気持ちは今も変わらない。そのせいか仲間と話合っているとき、つい話題をブラジルに引き込む癖が身についてしまった。

この癖はなかなか治りそうも無い。

おわり

次は昭和40年卒の前田和秀君にバトンタッチします。

インターネットを活用しましょう！

■ 凌泳会メーリングリストのお申込

<http://groups.yahoo.co.jp/group/ryoei-kai/>
Yahoo!等で「凌泳会」で検索してください。

■ OB・OG掲示板

<http://6119.teacup.com/kobeswim/bbs>
Yahoo!等で「神戸大学 水泳部」で検索してください。
神戸大学水泳部 Web サイトの中にあります。

【寄稿】

『第2回 凌泳会・水友会ゴルフ対抗戦』

佐敷 定雄・昭49

平成20年10月23日、千葉県にある鎌ヶ原CCにて、一橋大15名、神大11名の合計26名の参加者による団体戦が開催されました。プレーはダブルペリア方式を採用し、両会のネットスコア上位8名の合計により勝負を決しました。また、両チームには、プレー終了後の懇親会での「懇親会勘定（主として飲料代）」を負担するというルールも採用しております。今回の成績は一橋大の圧勝、神大の完敗でした。

一橋大はグロススコアが70台/1名、80台/6名、90台/7名、100台/1名と精鋭を並べてきました。上位8名のネット平均は一橋大75.725、神大77.9ですが、参加者全員のグロス平均は、一橋大85.82、神大104.27で完敗です。

個々の成績は紙面の都合上掲載できませんが（ホンマかいな??）、懇親会での一橋大メンバーのアルコール摂取量は急性糖尿病（こんな病気は無いかも）になるんじゃないかという勢いでした。参加者曰く「現役時代の競泳・ポロで神戸側の圧勝により、一橋チームに貢献できなかったが、何とかゴルフで面目を保った」と破顔される先輩もおられ、本当に全員が楽しく過ごせたコンペでした。

■当対抗戦の背景

このゴルフ対抗戦が具体的にになった背景を少しお話したいと思います。（紙面の都合上と先に書いているのに～）

それは平成14年の三商大戦に端を発しております。一橋水泳部監督の由根CP（三菱商事）より、私に急に会いたいとの電話がありました。当番校としての一橋大が現役部員減少及び競技戦力低下のために、如何に大会運営迄に辿り着くかを、OB会が必死で話し合っているとの事でした。平成14年度の三商大戦への一橋の出場は無理。また、当番校を辞退すべきではないかとの声も上がっておりました。これは当番校として、他の2校に対して失礼にあたるとの見解から、一橋固有の問題から一方的に出場辞退するのは最も失礼であり、如何なる方策を講じてでも三商大戦は円滑開催すべしとの意見が多くなり、私に相談がありました。

第1回打合せ会に一橋大5人、神戸は田淵（昭30）東京支部長、永野（昭35）、佐敷の3名が参加。一橋の苦しい現状報告と苦肉の提案（OBの参加、女子競泳の正式種目化など）を聞いた後の神戸側の対応然り、OBへの連絡、計画の早い伝達などに一橋OBが驚愕され、こんな立派なOB

組織を見習おうという事になり、水友会のOB会としての結束が強くなったとの事でした。

神戸の連絡ルートは、田淵→萩原本部幹事(昭37)→石井会長(昭27)→佐藤(昭33)→本部幹事→富田(昭31)本部幹事に内容伝達が、石井・金監督・現役主将との協議を経て、恒泳会(市大OB会)合田幹事長と協議。市大側も合田幹事長→橋本恒泳会会長以下5名の幹事会にて協議。結論は、一橋への全面協力の旨、書面にて提出迄に要した時間は6日間という事で、結束力の強さが見られます。

神戸側へのお礼の意味もあり、また、一橋OB会の一橋として神戸OBへの懇親の情が湧き起こって来たとのことでした。

■次回のご案内

この大会は2回目ですが、1回目は平成19年に武政先輩のご好意により、埼玉県の入間カンツリークラブにて行なわれました。次回3回目は平成21年10月31日に入間カンツリーで開催される予定です。一日一夕の和気藹々に、そして真剣にプレーして、青春時代を語りに来て頂きたいと思います。

■最後に

神大水泳部が大好きな泳泳会員は、日頃の業務や都合より現役部員の事を最優先で考えてもらっているという点を、改めて感じた次第です。有難うございます。



マスターズ活動記録(2008年1月～12月)

※表は氏名、年齢区分、種目、順位、タイムの順(以下同様)

2008新春マスターズ大阪

(1月26日～27日 なみはやドーム)

今年も1月26、27日マスターズが開幕、2400名のスイマーがなみはやドームに集まりました。

凌泳会関係は小南さん(コナミ東加古)と私の2人でした。私は平泳ぎ4種目に出場、接戦ながら運よく、すべて3位以内に入賞、また小南さんも、いつもながらの力強い泳ぎでバタフライ4種目すべて2位以内でした。2人で8個のメダルをとりました。(安茂弘・昭39)

安茂 弘	65	25M・平	③	18"77
"	65	50M・平	③	41"55
"	65	100M・平	②	1'30"88
"	65	200M・平	③	3'23"87
小南裕明	40	25M・蝶	①	13"46
"	40	50M・蝶	②	29"25
"	40	100M・蝶	②	1'03"90
"	40	200M・蝶	②	2'25"12

第8回町田市マスターズ

(2月10日 町田市立室内プール)

東京のマスターズの初戦は新春マスターズならぬ町田マスターズです。

今年は田淵さん、前田さん、井上の常

連に加えて、S38年卒の丸山卓也さんがマスターズへ初出場デビューしました。賑やかになると思ったのですが、細田さんがフィリピンで滞在中のため、また岡見さんがエントリー遅れとかで、お二人が欠席でした。反省会は桜美林大学の近くのバーミヤンで遅い昼飯を取りながら開催しました。年齢を重ねるにしたって酒量も落ちてくるし、節制のため飲めなくなるので、エンドレスにはならず、1時間程度で終了しました。

試合結果は田淵さんが+75の50M、100Mのバックで大会新記録を樹立されました。誠にお見事でした。(井上 隆史・昭37)



田淵 五郎	75	50M・背	①	42"49 (大会新)
"	75	100M・背	①	1'39"43 (大会新)
井上 隆史	65	50M・背	④	43"70
"	65	200M・個メ	③	3'43"94
前田 和秀	65	100M・背	④	1'43"93
丸山 卓也	65	50M・平	⑥	47"44

新春マスターズ千葉

(2月16日～17日 千葉国際総合水泳場)

東京地区でも新春マスターズが始まりました。、凌泳マスターズの面々も田淵さん、榊原さん、岡見さん、武政さん、前田さん、井上と出場しました。佐敷さんは審判長でスターターで、泳ぎでの出場無しでした。

世界新記録、日本記録、大会新記録と記録ラッシュでしたが、レベルが年々高くなりメダルが取れなくなったなあという実感がします。

毎年新年のこの大会には岡見さんのエッセーの冊子を頂くのを楽しみにしております。今年は岡見さんは2日目だけの出場だったので、1日目だけの出場の人に渡せず一寸残念でした。

アフタースイムの反省会でエッセーの勉強会の話になり、最近83歳の人が入門してきたとのことでした。

83歳になって尚且つエッセーの勉強をしたいという気力がすごいし、会に入門する意欲はすごいと驚いた次第です。

幾つになっても、好奇心は失わず、集中力を持ち続け、執着心を持ってことにあたる必要があるなあと感嘆しました。

歳を重ねるとお酒も弱くなり、焼酎2本というのが無くなり、今日は2人でビール2本でした。(井上 隆史・昭 37)

榊原 修造	75	25M・平	⑦	24"94
"	75	125M・蝶	③	23"89
田淵 五郎	75	25M・背	②	19"41
"	75	200M・背	③	3'38"51
岡見 晴児	70	50M・背	⑤	47"32
"	70	100M・背	④	1'46"31
井上 隆史	65	25M・背	④	19"50
"	65	50M・背	③	42"02
"	65	100M・背	④	1'35"74
"	65	100M・個メ	④	1'30"87
武政 英幸	65	25M・背	③	20"27
"	65	100M・個メ	④	1'30"33
前田 和秀	65	25M・背	⑪	21"89
"	65	200M・背	④	3'43"39



第12回神奈川マスターズ短水路大会

(2月24日 さがみはらグリーンプール)

残念ながら今年は凌泳関係者は3人の出場に止まり淋しい大会となりました。

S38の丸山さんが参加されましたのでマスターズも楽しいところですよというメッセージを体験して貰いたいのですが、やや淋しい気持ちで帰宅されたのではと思います。

今年は9時に「プールへ着いた」という電話が丸山さんからあり相当期待できるなと思っておりました。

ざわざわしたところが慣れない丸山さんは最初の25M プレストには呼び出しに反応できずに失格。大変残念な思いをされました。

去年のこの大会は、田淵さん、細田さん、前田さんも参加されておりましたので、大変賑やかで、今年は一寸淋しかった

ですね。

相模原の短水路大会では、もう少し人数が増えるでしょうとお互いに慰めておりました。(井上 隆史・昭 37)

岡見 晴児	70	25M・背	③	20"31
"	70	50M・背	⑤	46"23
井上 隆史	65	50M・背	③	42"68
"	65	100M・個メ	⑤	1'31"42
丸山 卓也	65	50M・平	⑩	45"70

FIFA マスターズ2008

(3月1日～2日 千葉県国際水泳場)

田淵 五郎	75	200M・背	②	3'44"36
井上 隆史	65	50M・背	⑥	43"23
"	65	200M・個メ	⑤	3'36"97
安茂 弘	65	100M・平	⑤	1'34"11
"	65	200M・平	②	3'26"64
"	65	100M・蝶	⑤	1'41"85
岩切 博	60	100M・蝶	⑤	1'33"62
"	60	200M・蝶	②	3'36"17
佐敷 定雄	55	50M・蝶	①	30"82

2008年日本マスターズ短水路大会

本大会は、(社)日本マスターズ水泳協会が主催する公式大会で、全国各地で開催され、全国大会はありません。

■各会場での結果

深谷会場

(4月13日 協栄スイミングクラブ深谷)

昨日本年度の短水路大会初戦。深谷は埼玉の北部にあり、初登場の会場です。自

宅から車で1時間ほどで行けました。4百名限定のこじんまりした大会でした。(武政 英幸・昭)

武政 英幸	65	50M・蝶	②	38"79
"	65	200M・個メ	①	3'28"81

習志野会場

(4月19日～20日 千葉県国際水泳場)

榊原 修造	75	25M・蝶	④	22"41
田淵 五郎	75	200M・背	②	3'38"45
佐敷 定雄	55	200M・自	②	2'27"53
"	55	50M・蝶	①	31"00
"	55	100M・蝶	①	1'11"57

安城会場

(4月27日 安城市スポーツセンター)

手嶋 忠之	65	50M・自	③	33"75
"	65	100M・個メ	④	1'33"30

海老名会場

(4月29日 コナミスポーツクラブ海老名)

昨年はエントリーしているのにプログラムに未掲載で大騒動して単独コースを設けて貰い出場しました。その海老名の大会が昭和の日の4月29日にありました。

レベルが年々上がり、メダルラッシュと言うわけには行きませんが、久しぶりの大会ですのでまずまずの結果でした。

岡見さん、前田さん、井上の3人の出場でしたので、凌泳メンバーとすれば少し寂しい大会でした。

通常のエグサスのプールなので、アッププールが無いのが玉に瑕でしたが、

今年は途中に何回か休憩を挟みアップが出来るようになりました。試合前と昼休みの間に1回休憩があり、私もアップできました。

記録の発表も電光掲示がありませんでしたが、今年はパソコンから連動でプールの

壁にプロジェクターで即掲示がされました。結果が直ぐ分かるのは緊張感があって良いですね。

レベルが上がったのは+240の混合リレーに岡見さんが出場し、前年より0.33秒早くになっているのに(2.47.49)順位は前年の3位から6位に落ちメダルを逃したとのことでした。

次回の相模原での活躍を期して散会しました。(井上 隆史・昭37)

岡見 晴児	70	100M・背	②	1'45"64
"		+240 200M・ 混合リレー	⑥	2'47"49
(本郷台)				
井上 隆史	65	100M・背	②	1'40"18
前田 和秀	65	50M・背	③	47"95
"	65	100M・背	③	1'45"13

江東会場

(4月29日 東京辰巳国際水泳場)

浦野 敏明	45	100M・蝶	④	1'14"73
濱出憲一郎	30	50M・自	⑧	26"25

明石会場

(5月6日 コナミスポーツクラブ明石)

700名余りの比較的小規模な大会で、メンバーは前回と同じく、山野さん、小南さんと私の3人でした。

結果は山野さんが50平、100平で金、小南さんが50バタ銀、100バタ金、私は100バタ、100個メで金、3人あわせて金5個、銀1個でした。

100個メは1-28-41で、4年前から少しずつ記録が上がっています。

各地大会で同年代の井上、武政、手嶋諸氏が出場する共通種目なので、他種目に比べ一段と力が入ります。(安茂 弘・昭39)

安茂 弘	65	100M・蝶	①	1'33"95
"	65	100M・個メ	①	1'28"41
山野 和則	45	50M・平	①	37"33
"	45	100M・平	①	1'24"91
小南 裕明	40	50M・蝶	②	30"03
"	40	100M・蝶	①	1'04"44

門真会場

(5月10日～11日 なみはやドーム)

全国でも最大規模で2,800名のスイマーがなみはやドームに集まりました。

凌泳会からは出口さん(商船大卒)がエントリーしてましたが棄権でしたので私ひとりでした。

プールコンディションは一流選手用の水温27度、室温21度に設定されていたため、いつも30度位のプールで泳いでいるマスターズスイマーにとっては非常に寒く、採暖室、ジェットバスは常に満員でした。

私もアップ後は採暖室から召集所に直行しレースに臨みました。六甲台の風呂に入りながらの練習を懐かしく思い出しました。

200個メは2日目の最初のレースでしたが65歳区分のエントリーは私ひとり、違反をしなければ金メダルなので、スタートで平泳ぎの一かき一けりをしないよう、種目の順序を間違えないよう、背泳ぎのターンを失敗しないよう気をつけて泳ぎました。結果は3'29"44で武政氏に少し負けました。

安茂 弘	65	100M・平	①	1'31"28
"	65	200M・平	④	3'27"53
"	65	200M・個メ	①	3'29"44

相模原会場

(5月18日 さがみはらグリーンプール)

短水路大会も終盤に入りました。相模原大会が昨日ありました。

久しぶりのゴールドラッシュでした。田淵さん、岡見さん、井上の3人が出場し田淵さんが金*2、岡見さんが金*1をゲットしました。

25MのBACKに揃って出場し、先ず田淵さんが金、岡見さんが20秒を切って手応えを感じて、泳いだ後は納得の表情でした。

3時頃から50MのBACKが始まりました。先ず田淵さんが金、岡見さんは45Mで先行しているスイマーを捕らえ残り5Mで逆転勝利の金でした。

正式発表を待つ間、併設のコーヒーハウスでジョッキを片手に、25Mで20秒をあっさりと切り次の50Mでの金への逆転のレースの訳を聞きました。

「スピード社製の水着着用ではないし何故かなあ」

質問の瞬間両手がしなやかに動いて、波のうねりを表現され、バタフライの腰の使い方を表現されました。

バックとは関係は無いと思いきや、そのしなやかな泳ぎが理由でした。

クラブに高校卒業して、専門学校に通っている女性がマスターズの練習に参加す

るようになったそうです。1個メを1.10秒位で泳ぐようですが、「マスターズも出たいからメダルを今度見せてください」と言って送り出されたそうです。

更に、インストラクター見習いの若い子が入り(18歳?)岡見さんを初めマスターズのメンバーの活動は活発になったようです。

やはり期待されると男は普段隠している能力を発揮するもんだと思った次第です。常連のHさんがいれば大いに悔しがったでしょう。

この調子ではJAPAN MASTERSは益々楽しみになりました。(井上 隆史・昭37)

田渕 五郎	75	25M・背	①	19"19
"	75	50M・背	①	42"56
岡見 晴児	70	25M・背	④	19"72
"	70	50M・背	①	43"39
井上 隆史	65	25M・背	④	20"43
"	65	100M・個メ	⑤	1'31"59

前橋会場

(5月18日 ダッシュ前橋スイミングクラブ)

初めて参加した会場で参加者は560名ほど。東武東上線、JR線、JR両毛線を乗り継いで2時間半ようやく到着しました。隣の県なのにずい分遠くへ来た気分でした。

100個メ(4人中)と25背(6人中)に出場し、共に金でした。100個メ1.30.92、25背19.08のタイムはまずまずでした。とは言うものの西で泳いだ安茂さんのタイムには水を空けられ、神奈川で泳いだ岡見先輩と同じ19秒台では精進が足りないようで

す。(武政 英幸・昭)

武政 英幸	65	25M・背	①	19"08
"	65	100M・個メ	①	1'30"92

京都会場

(5月25日 京都アクアアリーナ)

短水路大会の最終戦が京都アクアアリーナで開催されました。2,450名の多人数の大会でしたが、50mプールを横方向に8コースを2面とり、男女別に競技を行いスムーズな運営で5時半には終わりました。

凌泳会からは私一人で短水路大会4戦目、一昨年10月に腰を痛めて以来20ヶ月ぶりに200バタに挑戦しました。全体で4組あり私は2組目でしたが、1組では3人が途中退水で失格となりました。このグラスでは200m泳ぐのが精一杯のようで、私もその一人でした。

練習では何度か200mを目指して泳ぎましたが160m(20mプール)で腕が上がりなくなり、結局試合迄に200mを完泳することが出来ませんでした。

本番では一組目を見たあとなので、泳ぎることだけを考えゆっくりしたペースで出来るだけ体力を温存しながらなんとか完泳することができました。タイムは3-46-38で3人中2位でした。7月のジャパンマスターズでも200バタにエントリーしましたので徐々にタイムを上げていきたいと思います。(安茂 弘・昭39)

安茂 弘	65	50M・蝶	④	40"58
"	65	200M・蝶	②	3'46"38

■全国20傑に入られた方の記録

田淵 五郎	75	25M・背	③	19"19
"	75	50M・背	⑤	42"58
"	75	200M・背	④	3'38"45
武政 英幸	65	25M・背	⑨	19"08
"	65	200M・個メ	⑫	3'28"81
安茂 弘	65	50M・平	⑬	41"48
"	65	100M・平	⑫	1'31"28
"	65	200M・平	⑧	3'27"53
"	65	100M・蝶	⑮	1'33"95
"	65	200M・蝶	⑤	3'46"38
"	65	100M・個メ	⑭	1'28"41

安茂 弘	65	200M・個メ	⑬	3'29"44
佐敷 定雄	55	200M・自	⑥	2'27"53
"	55	50M・蝶	④	31"00
"	55	100M・蝶	②	1'11"57
山野 和則	45	200M・平	⑬	2'27"53
小南 裕明	40	25M・蝶	⑮	13"66
"	40	100M・蝶	③	1'04"44
"	40	200M・蝶	①	2'24"94

*2008年日本マスターズ短水路大会(完)

* ~ *

第3回コナミススポーツクラブマスターズ 西日本大会

(6月8日 コナミススポーツクラブ本店西宮)
コナミ本店西宮の50m10コースの立派なプールを横方向に競技用として8コースをとり、残り半分はウォーミングアップ用です。2年前の第1回大会ではイアン・ソープが200m個メの模範演技をしました。

凌永会からは今回も私一人で、25平(10人)と100平(7人)に出場し金と銀でした。

100平は1分30秒を切ることを目標に泳ぎましたが、結果は1-30-57で少し及びませんでした。この後は「大阪オープン」、「ジャパン」、「スポーツ報知」、「レインボー」と長水路の大会が続きますので、11月の鈴鹿で再度1分30秒切りに挑戦したいと思っています。(安茂 弘・昭39)

安茂 弘	65	25M・平	①	19"11
"	65	100M・平	②	1'30"57

大阪マスターズオープン

(6月21日~22日 大阪プール)

安茂 弘	65	50M・平	④	42"27
"	65	100M・平	④	1'34"63
"	65	200M・平	①	3'28"08

第49回セントラルスポーツマスターズ

(7月5日 千葉国際総合水泳場)

主として関東ですが、岩手、群馬、長野等遠くからの参加もあり、合計82チーム、1169人と賑やかでした。私は70歳区分の25と50Mの背泳ぎにでました。タイムは19"76と44"85で共に目標を達成しかつ1位でした。50背で44秒台を出したのは実に4年ぶりのことで気を良くしています。水泳も腕力だけでなく、研究や工夫といった知的作業も必要だということを改めて認識した次第です。また田淵さん、榊原さん、井上さんはじめ関東凌泳スイマーの奮闘ぶりや

励ましも大いに力になりました。マスターズはこれから長水路の大会が多くなります。耐久力をつけながら、大会前は体を休めレースでドンとぶつけるようにしたいのがうまくいくかどうか……。つぎの大会は18日から始まるジャパンマスターズです。凌泳マスターズスイマーの皆さまにお会いできるのを楽しみにしています。(岡見 晴児・昭)

岡見 晴児	70	25M・背	①	19"76
"	70	50M・背	①	44"85

ジャパンマスターズ2008

(7月18日～21日 東京辰巳国際水泳場)

田渕 五郎	75	50M・背	⑤	44"30
"	75	200M・背	④	3'41"94
岡見 晴児	70	50M・背	⑫	46"29
"	70	100M・背	⑭	1'48"94
井上 隆史	65	100M・自	24	1'24"50
"	65	50M・蝶	21	43"81
"	65	200M・個メ	⑲	3'50"48
武政 英幸	65	100M・自	⑱	1'18"93
"	65	200M・個メ	⑫	3'32"98
安茂 弘	65	100M・平	⑥	1'32"66
"	65	200M・平	⑤	3'27"86
"	65	100M・蝶	⑧	1'35"31
前田 和秀	65	200M・背	⑮	3'51"41
岩切 博	60	200M・平	⑨	3'34"72
佐敷 定雄	55	200M・自	③	2'34"60
"	55	50M・蝶	②	31"12
"	55	100M・蝶	①	1'11"98
浦野 敏明	45	200M・個メ	⑬	2'58"92
小南 裕明	40	50M・蝶	⑧	29"29
小南 裕明	40	100M・蝶	①	1'03"40
"	40	200M・蝶	②	2'25"30
濱出 憲一郎	30	200M・個メ	⑮	2'39"08
前田・安茂 武政・井上	240	200M・メド レーリレー	⑨	2'42"39

浦野・井上 武政・濱出	200	200M・ リレー	⑦	2'04"96
----------------	-----	--------------	---	---------

我々スイマーの祭典 J-マスターズが終了しました。この試合はお祭り競技の2つの面があります。今年は北京オリンピックイヤーで更に熱が上がり、世界新、日本新も続出でした。

競技は4日間行われるので、同じ種目に出場の仲間には会えますが、種目が違えば競技日が違い、すれ違いの事態が発生します。自分の出場する種目に合わせて、来場し、食事し、帰宅するわけで、これから泳ぐ選手と一杯飲むわけにもいかず、試合後は若干の淋しさを覚えます。



年々競技志向が強まっていることは、私の友人の立川水協の宮内さんがメダルは1個しか取れないことでも分かります。今年は200Mメドレーリレーと200Mフリーリレーに凌泳会として出場しました。

成績はもう一息というところでしたが、再来年はメダルが狙えるタイムだし、何よりみんなで全力を出したという達成感がありました。これはお祭りの部分で、各チームとも、

必死の応援がその証ですね。盛り上がりも大変なものでした。

今年のマスターズの最終日の最終レースに濱出さんが出場しましたが、愛息の声援もむなしく13位でメダル確保はなりませんでした。

第16回神奈川マスターズ長水路

(9月6日～7日 横浜国際プール)



凌泳会からも田淵さん、岡見さん、丸山さん、前田さん、井上の5人が参加しました。プログラムが売れ残ったので、遅くまで観戦している我々に無料で配布されました。気になっていたので大会記録を調べましたら、故・小山賢之助氏が1993年に+85の100M平泳を2'34"98で大会記録を樹立されておりました。改めて感嘆した次第です。今年はHさんがフィリピンに在住しており不参加なので、博多ラーメンの店で簡単にビールと餃子で反省会を行いました。「年々メダルを取るのが難しくなるなあ。一層の練習をしないと」が決まり文句になり

ました。(井上 隆史・昭37)

田淵 五郎	75	50M・背	③	44"19
"	75	200M・背	②	3'48"53
岡見 晴児	70	50M・背	④	45"36
"	70	100M・背	⑥	1'49"65
"	70	200M・背	④	4'13"48
井上 隆史	65	50M・自	⑪	35"17
"	65	50M・背	③	46"34
"	65	100M・背	③	1'45"32
"	65	200M・個メ	⑤	3'49"73
前田 和秀	65	100M・背	④	1'52"30
"	65	200M・背	②	3'52"27
丸山 卓也	65	200M・平	⑤	4'08"09

2008スポーツ報知マスターズ

(9月15日 大阪プール)

1,750名のスイマーが集まりました。

今日は久しぶりに米田さんに会えるかなあと会場について、まずプログラムを見ました。今回から「やぶSC」というチーム名で200m個メと50mフリーに載っていました。200m個メの65歳区分のエントリーは3名で泳げばメダルは確実です。ラップをとろうと待ち受けていましたが残念ながら欠場でした。また来年お会い出来るのを楽しみにしています。

私は平泳ぎの50mと100mに出場しました。ジャパンマスターズ以後のんびり泳いでいたせいかスピードが上がらず50mは5位(19人中)、100mは2位(16人中)でした。(安茂 弘・昭39)

安茂 弘	65	50M・平	⑤	42"99
"	65	100M・平	②	1'35"46

2008レインボーカップマスターズ

(9月26日～28日 日本ガイシアリーナ)

3, 250人のスイマーが集まり、凌泳会からの参加は手嶋さんと私の2人でした。

手嶋さんは自由形の50、100と今年から50背泳ぎに挑戦、背泳ぎでは見事6位入賞でした。前半はスムーズにとびだし3位につけていましたが、後半はコースロープにひっかかりスピードダウンしてしまいましたが今後が楽しみです。自由形は65歳区分に上がっても競争が激しく、昨年よりタイムも少し落ち入賞できませんでした。

私は平泳ぎの50、100、200とバタフライの50、100の5種目に出場しましたが、50種目はスプリント不足で6位入賞が出来ませんでした。結果は米田さんに掲載して頂きます。

今年はレーザーレーサーの水着が話題になっていますが、当会場では山本化学工業の高速水着(たこやきラバー)の宣伝販売をしていました。山本新吾さん(75歳区分)がこれを着用し50フリーでWRに挑戦、29秒95でWRの掲示が出ましたがフォルススタートで失格になってしまいました。

翌日の100フリーでも再度挑戦、今度は慎重にスタート(反応タイム0.9秒位)し、1分10秒台で見事WR達成でした。2週間前のスポーツ報知マスターズでもこの水着を試着し50フリーでWRでした。

岩本光司さん(65歳区分)も当会場で購入、50フリーで29秒台を出しジャパンマス

ターズの雪辱を果たしていました。水着の効果はありそうです。

ちなみに値段はロングフルボディで47,250円、ロングスパッツで31,500円です。

(安茂 弘・昭39)

安茂 弘	65	50M・平	⑧	42"39
"	65	100M・平	④	1'34"84
"	65	200M・平	②	3'29"93
"	65	50M・蝶	⑩	41"31
"	65	100M・蝶	⑥	1'42"02
手嶋 忠之	60	50M・自	⑬	34"21
"	60	100M・自	⑨	1'20"99
"	60	50M・背	⑥	46"16

第12回千葉マスターズ

(10月18日～19日 千葉県国際総合水泳場)

佐敷 定雄	55	50M・蝶	①	30"62
-------	----	-------	---	-------

第15回サクラマスターズ

(10月19日 横浜国際プール)



今年最後の公認のレースが横浜国際プールで開催されました。例によって、プールに近い河童連4人(田淵さん、岡見さん、前田さん、井上)が出場しました。岡見さん

は50Mのバックのタッチを頭でしたとかで、タイムは遅れるわ、頭は痛いわと悩ましいレースでした。しかし新任のインストラクターの教えが良いのか、本人の心がけが良いのか不明ですが、着実に記録を伸ばしているのには、驚嘆の一語です。「凌泳会の人には年齢が高いほどタイムが良くなりませぬ」と前田兄が驚いていましたが、正しくその通りです。(井上 隆史・昭37)

田沢 五郎	75	25M・背	①	19"43
"	75	100M・背	①	1'38"47
岡見 晴児	70	25M・背	①	19"74
"	70	50M・背	②	45"88
井上 隆史	65	100M・背	②	1'42"82
"	65	100M・個メ	②	1'36"03
前田 和秀	65	25M・背	②	20"71
"	65	100M・背	③	1'49"17

第10回オールスターマスターズ スイミングフェスティバル

(11月15日～16日 鈴鹿スポーツガーデン)

今年最後の公式戦で鈴鹿スポーツガーデンに行って来ました。当大会は自由形の400,800,1500,400個人メドレーもあり、全ての種目が実施される国内では唯一の大会です。50mプールを横方向にとった8コース2面で行なわれ、2000人余りの人が出場しました。

今回、特に目立ったのは山本化学工業の超高速水着の着用者が一段と増えたことです。

私は平泳ぎ4種目に出場し25、50は4位、

100は3位、200は1位でした。100は1分30秒、200は3分20秒を目標に泳ぎましたが、いずれも1秒余りとどきませんでした。

(安茂 弘・昭39)

安茂 弘	65	25M・平	④	18"99
"	65	50M・平	④	41"26
"	65	100M・平	③	1'31"40
"	65	200M・平	①	3'21"30

■サイト「河童天国」にデータをアップして下さっている米田啓祐氏(昭)からの結びのメッセージ

平成20年のマスターズ水泳は安茂さんの三重の鈴鹿での大会が最後となるようです。今年出場されたみなさん、お疲れ様でした。井上さん、安茂さんをはじめ記録をまとめて送信していただきましたみなさんありがとうございました。生涯プールの元気に泳げるのは本当に素晴らしいことだと思います。来年も新春から、また元気に泳がれることを祈り、期待しています。

会員からのお便り

皆様から寄せられましたお便りを、今回は直筆のまま掲載してみました。

少し読みにくいかとは存じますが、お人柄がより感じられるのではないかと思います。

(注:近況が記されたもののみ掲載しています)

【凌泳会総会】

吉野 榮(昭15) ※吉野 誠様より

父、吉野 榮は本年1月18日
亡くなりました。
名簿等の訂正とお詫い
致します。これからのご厚情
有難うございます。
御隆望お祈り申し上げます。

北野 誠良(昭25) ※北野 宏子様より

夫、北野 誠良は平成20年1月23日
永眠いたしました。
長子口且る御芳名に感謝申し上げます。
御有難うございます。
伊会及び皆様ご縁の御発展と盛栄を
申し上げます。 北野 宏子

山口 宗樹(昭16)

いつもお世話様と感謝申し上げます。
転居して90不足ともあり失礼です。
皆様のご活躍と会員の発展を祈ります。

前原 俊夫(昭25)

月齢少く故障のため
プールに入つて歩いて
います。

荻野 茂希(昭18)

夏の校内での水球の試合と
土曜日の見に行くと予定です

今枝 一(昭28)

今枝 一

昨年末挨拶中骨折 約40日
入院し、漸く回復してリハビリに
努めております。

尚、健康の維持と今後の活動の
向上に努めます。皆様のご活躍と
盛栄を祈ります。皆様のご縁の御
発展と盛栄を祈ります。皆様のご
縁の御発展と盛栄を祈ります。

湯山 正三(昭19)

皆様のご活躍と盛栄を祈ります。
皆様のご縁の御発展と盛栄を
祈ります。

安茂 弘(昭39)

自治会の行事と重なり、出席できません。
現在、短水路大会の真最中ですが
今年は4会場、9種目に出場随です。
200ハツと今年は泳いでみようと思っ
ています。

武政 英幸(昭39)

マスタ-下、水泳には相変わらず
参加しております。このころは
入賞者の引立て役に回って
います。

鈴木 正弥(昭39)

遠路から、欠席は可。
相方の可い生活を送っています。
ゴルフ、太极拳、麻雀、など昔の職場
仲間や近所の人達との交流の他、
水泳子連のゴルフなどあり、元気にしています。
内田在任のOBの方々には、11月、お世話
頂上(感謝)しています。水泳会の益々の
発展を願っています。

宮部 高博(昭42)

この頃、元気で、時々腰が痛く
なったり、風邪をひくことか、やや多く
行かれています。ご出席の旨、お
知らせ。

木内 資雄(昭44)

元気にしております。

玉置 明(昭45)

今回も又欠席の申請をいたしました。
昨年明けのメダリ対策として
水泳を再び始めました。
お蔭でこの体も約5kg減量。
体調も良くなりました。今年は
マスターズ水泳にも出ようかと？

小林 育夫(昭46)

4月初めより、群馬県高崎市に9月頃
迄の予定で来させていただきます。
そのため、今回は出席できません。
楽しい会になる事を祈っています。

壇上 明夫(昭52)

山陰勤務から昨年堺に赴任となり、
スズキ振りの関西勤務となりました。

浦本 幸二(昭52)

平成19年4月より、人事異動により
加古川市立中央図書館(Tel.079-425-5200)
に配属されました。

木下 修一(昭53)

長男(小6)は100m個メダ2分5
秒、一歩手前まで上達しました。
長女(小4)はバタフライで25m泳げ
るようになりました。次女(小3)も
25m泳げるようになりました。
私はむしろ週1回のスイミングの送り
迎え役です。

土井 祐二(昭55)・土井 紀子(昭57)

お返事 遅くお申し訳ありません。
松山に単身赴任のため、お母様は出席できず
残念です。現役部長も遅くお心ですわ。
今年も皆様のご活躍をお祈り申し上げます。
ご出席の皆様は、早くお伝え下さい。

桑本 万里(昭55)

この季節 神戸祭り、西巨祭り、月が丘
ふしあ文化祭と行事が続き、総会
出席 たいへんです。(松中は仕事可)
おめでとうございます。よろしくおねがいします。

浦野 敏明(昭60)

残念ながら総会・懇親会ともに
参加できません。今年も現役諸君のご活躍
を期待しています。水球のインカも出場の方
はらす一勝を!

楠戸(平野) 祐子(昭60)

ご挨拶が遅れております。月日の経つのは
早いもので。長女は大学生、次女は高校生
になりました。
私はボールから引退してから2年、
仲間維持のため、週に3~4回 ジムに
通っています。
今年も皆様にお目にかかりたいです。
お心下さい!

徳永 守(昭63)

今年1月に長男が生まれました!

「凌木」と名付けました!

岡崎 憲之(平2)

忙しくて凌泳会の近況に目を通すことが
全くできていません。御活躍を祈ります。

小南 美穂子(平7)

いつも欠席ばかりで申し訳ござい
ません。昨年8月に次子を出産し、育児休業中です。
当日はご盛会をお祈りして
おきます。

吉野 剛成(平16)

就活中です。

小齋 一彰(平18)

昨年末に長男が誕生しました。
ご盛会をお祈り致します。

浦谷 正史(平20)

盛会をお祈りします。
社会人一年目。今、三重県にいます。
ムリノリストで現役のみならず人の戦績を見る
のを楽しみにしています。

岡澤 幹夫(昭29)

週2-3回、プール通いをしています。

溝口 汪(昭30)

いつもお世辞感謝いたします
当分遠方の上、現在体調上崩れ
かり次第いたします

佐藤 一夫(昭30)

今年も以下全員の成績が伸びた。二重丸
で、千度の時、註文、孫田(昭)、吉田俊
(昭)、安田(昭)、4月の諸田(昭)、水野の太郎。
藤丸に多数、有力選手、入部した。こ
ろ、練習の成長、記録も期待してい
る。記録は、下と。

田淵 五郎(昭30)

一橋での三回大戦親戦しました。
現役の皆さん、多忙な夏の競技会日程
ご苦労さんでした。月見の宴では卒した
こと忘れてた、不意と拳しんで下さい。
マスターズ、何とお続けられていますか記録
はジリ貧です。

松田 司朗(昭32)

昨年12歳まで 若くして
腰痛が 専ら 一週間のみの
は行けず 量感が 弱く 持ちこた
ず 年々 少く 20 年 経過し
て 22 歳 以上 思 った 新
と せ ば 3 歳 ほど 確 然 して、

岡見 晴児(昭33)

マスターズ 水泳を 楽しんで います。
いくつかの大会で 水泳を 仲間と
会うのも 楽しんで います。
月に 2-3 回の エキスパート を 習い ています。
息が ように 長持ち する 呼吸器 を 使
って 楽しんで います。 水泳 活動 の
健康 と 月見の宴の 盛会 を 祈ります

高橋 靖周(昭33)

今年も 卒業50周年記念大会の 神加 参加 しました。
その 中、久石 福に 古甲 由 母 持 ち 参加 しました。 その 中、
最も 佳 績 でした。 入賞 卒業 50 周年 記念 大会 優勝 賞 状 を
いただきました。
経歴 年間 1年 100km、 全 年 3年 間 1年 120km 水泳、
今年 100km、 月 平均 10km、 入賞 2回、 記録 10km、
旧 業 績 10km、 2900m、 10km、 「 水 泳 50 周年 記念 大会」
に参加 しました。

柴川 泰介(昭34)

最近の マール を 見て、若く 部員 の すばらしい
記録 に 喝采 を 上げて おります。

北村 敏(昭34)

お絵描き、パソコ、無鳥徒食

原 謙三(昭35)

人間の 復讐 の に 心 に、あはれと
不具命 字 個 所 所 出 来 打 破、 今 の 所
致命 傷 的 な も の なく、 ます 却 ち 元 氣
に 通 じて おります。
9月 2日 から 5日 間、 沖 縄 石 垣 島 へ
「 行 っ ぽ っ 」 に 行 っ て 参 り ます。

川本 典子(昭51)

月見の宴のおでんの伝統を
守ってほしいけど、21世紀
ならではの新しい趣向も
煮てほしいなあ。

丸末 一之(昭52)

永らくご無沙汰しておりますが
次のイベントには、顔を出したいと
思っております。

桑本 万里(昭55)

今年も水泳会行事に一度も
参加できていません。すみません。
この4月までの娘も社会人となり
肩の荷がおりたこともあり、仕事に
遊ばないと、忙しさを
送っています。

慈幸 弘樹(昭55)

6月に右足を骨折しました。やっと
キアスかどしたところですが、
水中ウォーキングからリハビリ開始
し、おと泳げるようになりました。
但し、キックはまだうてません

上田 剛弘(昭56)

先日 子どもの運動会の日と重なり、お断り致しました。
ご盛会をお祈り申し上げます。
今年4月から教育委員会に異動になりました。学校行事
も多く、お断りした時間と重なり、お断り致しました。
大学へ進学した娘も少人数のチームで、来年も
現役で活躍を期待しています。

土井 紀子(昭57)

たまに「泳ぎに行くからいい」
学生時代か、懐かしいです。

武田 温代(昭58)

平成21年度インターイ、奈良県主催ですか!!
水泳は、お休みの日で、行かないです。
大会運営も携わっていいので、会場に
来て、お話しは、声かけでいい!!

金 一波(昭58)

今年度は JAPAN WATERGOLF 大会の前を宿
や 新国への水泳大会の支援で、お断り
致すことになりました。大会の水泳大会の開催
が、お断り致すことになりました。非常に残念です。お断り
致すことになりました。お断り致すことになりました。
お断り致すことになりました。お断り致すことになりました。
お断り致すことになりました。お断り致すことになりました。

呉竹 正人(昭59)

水泳大会には、お断り致すこと
お断り致すこと。

吉岡 宏之(昭59)

今年の成績はとつたのと同じか。
オリビックで冬冬に血が沸いたの
とかが今度の1度ナールにぶつたわけ
は、必ずしも来年の1度ナールにぶつたわけ。

谷水 利行(昭59)

鉦田公(福岡)では 現役の皆さんから
エネルギーを頂きました。ありがとう!
一次会・二次会 楽しんで頂けたでしょ
うか? 此からの活躍に期待しま
す。幹事は団体での出場を!!

浦野 敏明(昭60)

今年も日本実業団で200ハートを泳いでました。
年々タイムが落ちるのか悔しく、毎年この時期
泳ぎの改良に励もうと思いつて、そのための
成功です。月見の宴は残念ですが不参加
です。当日のOB戦は異様に熱か。無理して参加

吉田 不二彦(昭60)

講師業も本格的に
始り、多忙な日々です。

安井 啓史(昭63)

元甲台アールを卒業して20年がたります。
元来ははりがたつたかといえます。
甲台にいる仲間の家には参りてきせ人が
私も同期、先輩、後輩と飲めることを
母に願っています。

奥村 直樹(平元)

マスタースに出場はして、
記録は散々...。記録付けは思いつく
現役の皆さんお疲れ様でした。
いかに成ることを、マスタースに参りてきせ
下り。

甲野 賢(平元)

懇親会が早・所階(1・2・3)の
水、月見で参りてきせ、
非常残念です。夜、神田
で参りてきせ、参りてきせ(1・2・3)

青木 浩介(平4)

London School of Economics で
経済学を教える。参りてきせ。
参りてきせの機会がありました
ら、参りてきせ下り。

小南 美穂子(平7)

二人の子供の育児に追われ、
(はやく水から遠ざかっています。
月見の宴 当日は参りてきせ直後
のため、参りてきせ参りてきせ
ありません。ご盛会をお祈り
しております。

恵美 祐(平9)

恵美は至今 日本丸に乗船中の為
不在です。

現役の皆さん、シーズン中は暑の中
お疲れ様でした。 内

岡部 達也(平12)

現在、大阪市立高等学校に勤務し、
水泳部の顧問をしています。
現役のみなさん、学生生活を
精一杯、楽しんで下さい!!

小林(石原) 靖子(平12)

結婚をして、姓が変更されました。
小林になりました。
新しい住所を記入いたしましたので
よろしくお願ひします。
現在、子育て中により欠席させて
頂きます。

森山 匠(平12)

森山匠は果外在住の為
欠席します。(家族代筆)

新里 麻美(平12)

北京の方で仕事をしていたが
帰国したら又連絡させて
いた方がいいので、ハルマ署
中止は下さい。申し訳ありません

藤田 麻希子(平13)

今春、川西原へ転居しました。
9月10日の第3回は出席の為、関西に
戻って来てはいるのですが、臨月の身なので
出席できません、すいません。

河原 あや(平17)

年に2回の実業団の試合での泳いでいませ
せん。来シーズンにもと練習して泳ぐ機会
を増やそうと思っています。
現役のみなさんのご健闘を祈ります。

小齋 一彰(平18)

昨年11月に長男が誕生しました。
家族3人で賑やかな生活を送っています。

松本 和也(平18)

住所が関東(殆ど東北?)となり、
なかなか関西まで応援に行けず
残念な今日この頃です。
先日は、引退以来に一橋大学で
開催された旧三商戦を観戦し、
楽しんで頂きました。
来シーズンの現役諸君の活躍を心より
期待しています。

松本 章子(平 18)

甲南女子大学在学中は、
大変お世話になりました。
心から感謝しております。
ありがとうございました。

土田 絵里奈(平 19)

月見の日は、旅行に行っているのが行け
なくて残念です。
今年は、試合と2回も観望に行けず、
現役とのふれ合いもあり、楽しかったです。
ありがとうございました。

坂田 まりあ(平 19)

前巻、皆様のおかげで送りました。
この度は、凌泳会のお誘い、又、日頃より
近況報告、(月見の宴) 試合のご連絡を丁寧
に誠にありがとうございました。
折角のお誘い、頂いたのが、仕事都合
により、今回は欠席させて頂きました。
来月のシーズンオフにスグ、
疲れがよくなる頃かと思いますが、お体ご自愛。

田中 宗親(平 19)

現在、
大学院で天文学を研究しています。
月見の宴は、予定が決まっていなかったので参加できずか
校ですが、時間が空けば参加したいと
思います。
当分関西にいる予定なので、出来る限り行事には
参加したいと思っております。

浦谷 正史(平 20)

勤務地が三重県に決まりました。

返信に卒業年・住所・電話番号等のご記入御協力ください

ご返信の中に、「毎回、卒業年等の記入は必要ですか?」と記入された方がいらっしゃいましたので、その件について、お願いを申し上げます。

皆様から頂戴した返信は、名簿の確認や、この『凌泳』の編集作業に利用します。その際、卒業年は数百名の会員の中からどの方が特定する際に、とても役に立ちます。エクセルを使って検索すれば出来なくはありませんが、卒業年を書いていただくと、作業上とても助かります。どうぞ、ご協力ください。

【卒部の辞】

土方 了輝 経済・Fr



まず、お世話になったOBの方々や同期・後輩に感謝します。本当にありがとうございました。みなさんがおられたからこそして卒部の辞を書かしていただけたところまで息が続きました。あー疲れた。

さて、夏が終わったすぐは「卒部の辞なんかなんぼでもかけるわ」ってぐらいいろいろ込み上がってくるもんがあったんです…が、いざ書くとなると……びっくりするぐらいなんも思いつかん！！

ので水泳に感謝の気持ちを述べます。

水泳に出会ったから肥満児にならなくてすみました。感謝。水泳に出会ったから引きこもりにならずに済みました。感謝。水泳のおかげで友達ができました。感謝。水泳に出会ったからいろんなところに行けました。感謝。水泳に出会ったから笑い泣きました。感謝。水泳に出会ったから高校に行けました。感謝。水泳に出会ったから苦しいことがありました。感謝。水泳に出会ったから楽しいことがありました。感謝。水泳に

出会ったから神戸大学に来れました。感謝。水泳に出会えたからいろんな人に出会えました。感謝。水泳に出会えたから辛く苦しく楽しいしんどい暇で飽きない充実した空虚な大学生活を送れました。感謝。水泳に出会ったから変わりました。感謝。水泳に出会ったから水泳が好きになりました。

水泳大好きです、嫌いほどに。水泳が僕にもたらしてくれた全てに感謝します。その分なんかお返しがしたいので死ぬまで泳ぎたいです。死んでも極楽浄土で泳ぎます。水のなかで暮らしたい。よく、どっかの国で川や池と密着した生活を営んでいる、みたいなん聞くとええなあと思います。水と友達になりたいです。水の中で浮いてるときが一番落ち着きます。

書いとるうちにテンションが上がってきたので後輩にメッセージ。

泳げ。ひたすら。冷徹に。がむしゃらに。この「泳げ」っていうのは SWIM だけのことじゃなくて速く強くなるための全ての努力のこと。常にいついかなるときも行住坐臥泳げ。普通に生活しながら、遊びながら、TV 見ながら泳げ。努力の量に満足せんといつつももっとももっとと思って積み重ねんとかかん。

必死に頑張ってるときって楽しいやん。陶酔？他にももっと楽しいこといろいろある

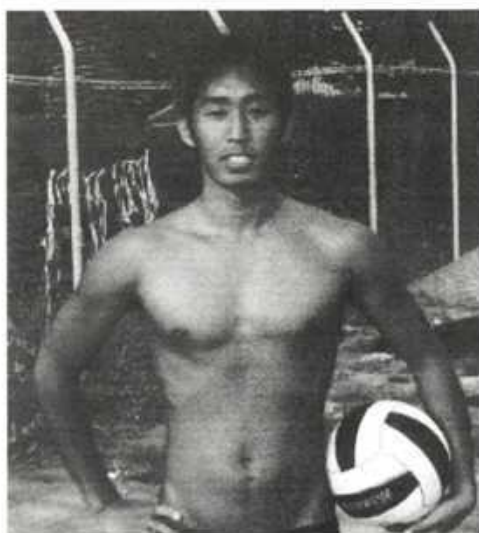
と思うけど、これも楽しいで。一人でやるよりみんなでやった方が楽しいから体育会水泳部があるわけやし。結局言いたいんは、

頑張って泳いでる時が一番楽しいよ、ってことです。

そんなとこです。

合掌

司馬 竜也 海軍・Polo



とうとう卒部の辞を書く順番が回ってきた。もうそんなに年をとってしまったのか……。

小学生の頃、習っていた空手の合宿中、水遊びの時間に池で溺れたことがあり、それ以来泳ぐのは本当に嫌だった。中学1年でたったの20mしか泳げなかった。

せめて夏までに少しは泳げるようになろうと中学生になってからスイミングに通い始めた。小さい子達と一緒に嫌だったので大人のコースで。レッスンにはいつでも自由に参加できて、1日1時間、距離は全部で500mくらいの楽なものだった。

高校はどこに行くか考え始めた頃、スイミングのコーチが水球を勧めてきた。私の校区だった尼北は水球がある珍しい高校。中学の先生には進学校を勧められていたが、当時100mが1'06と少し自信がついていたため「水球をするために尼北に行く」と決心した。

何故神大でも水球を続けたかという、私の3つ上の岡さんが大学受験前に勧誘してくれたから。「どこでもいい、とりあえず大学に行く」という考えから「水球をするために神大に行く」という考えになった。

これが私の水球にまつわるエピソードです。ウソではありません。

こんなエピソードを持っている私だから言えることがあります。

「What one likes, one will do best」

↑水球面の後輩全員、5秒で訳してください。

水球面は水球のこと好き？

競泳面は自分の種目好き？

誰に聞かれても即答できるやんな？
即答できるならいつか必ず上手くなる！速くなる！

水泳に打ち込めるのはもうこの時期しかないから。

精一杯楽しんでほしいです。

最後になりましたが、先輩方には本当に

お世話になりました。今後ともよろしく願います。後輩もこんな先輩についてきてくれて(くれたかな?)ありがとう。

最後の最後に同回みんな、ありがとう！みんなのおかげで楽しくやってこれたよ。

有馬答えた？

芝井 隆 農・Bk



先日、卒業研究発表会が終わりました。卒業論文は未だ1頁も書けてません。8月末に現役を引退してからも毎日大学には通っていましたが、家を出てから大学に行き、そしてまた家に帰る、という、生活の中に「部活」が無いことがすっかり日常となり、自分が本当に卒部したのだという実感が日に日に大きくなっていきます。

神戸大学水泳部には水球と競泳の2つの競技があり、複数の大学から男子・女子、

選手・マネージャー、水泳経験者・未経験者と、様々な立場の人が集まっていますが、それぞれが違う理由で神大水泳部に居るんだと思います。自分が水泳部に入った理由は、自分でも解りません。中学で水泳部、高校では帰宅部だったので、大学でまた泳ぎ始めても自分は戦力になれないのではないかと、思っていたので大学入学時は水泳よりもマイナーな水上スポーツをしようと考えていました。でもいつの間にか、水泳部の居心地のよい雰囲気呑まれ、「ここに4年間居たい」と思うようになっていました。

入部したての頃は、大学レベルの水泳と自分の知っている水泳との差に戸惑うことも多かったですが、先輩方に優しく指導して戴き、1年目の楽しい楽しい夏はあっと言う間に過ぎていったような気がします。そ

して2回生の時には関カレで表彰台、8耐
でチーム優勝、海の日にハンバーガー15
個(優勝)など、よい成績を残すことができ
ました。3回生になり、競技以外の面や学業
のことで水泳にかけられる時間が減り、しん
どい時期もありましたが、そんな時に部員、
特に同回の存在は大きかったです。一度
冗談で「もう部活辞めよっかなあ」と言っ
たことがあるのですが、それを聞いていたあ
る同回が泣きながら「辞めるな」と言っ
てくれました。本気で辞めようと思ってい
た訳ではないのですが、その時に「必ず4年
間、水泳を続ける」と決意しました。そし
てとうとう最上回生になり、「この1年は全
てが最後やから一つ一つの事を大切にし
ていこう」と思っていたのに、無情にも4
年目の夏は4年間で最速の速さで過ぎ去
っていきました。なのであまり覚えていま
せん。が、この4年間を通じて自分に何
が残ったかという、何秒も縮まったベ
ストタイムや、何歳か若返った体力、
というのがありますが、最も大きいのは
多くの人との繋がりだと思います。自分
が下回生だった頃に優しくして下さい
ました先輩方が試合の応援などに来て
下さると逆も心強かったですし、自分が現役

を引退してからも飲みやデートに誘って
下さいます。また、最近たまたま後輩に
会った時に、ずっと卒業研究でパソコン
とC言語の会話ばかりしていた自分に日
本語で話しかけてくれました。また、神
戸大学応援団の皆さんには個人的に特
別良くして戴きました(いろんな意味で)
。他大学の同回生もこれからずっと良
きライバルでいつづけてくれるでしょ
う。これらの「繋がり」は偉大な先輩の
言葉を借りると「プライスレス」です。

最後になりますが、これまでの神戸大
学水泳部を連綿と繋げ、また4年間応援
して下さいました先輩方には感謝の気
持で一杯です。本当にありがとうございました。
最も迷惑をかけた同回のみんなはと
りあえずお疲れ様です。そしてこれか
らもうよろしく。後輩のみんなには、
練習に顔出した時に毎度あたたかく
迎えてくれてありがとう。残念なが
らあと2年間神戸に通うので練習にも
顔出します。その時もよろしく。

他にも書きたいことはありますが、
この辺で。

ごきげんよう。

古谷 祐希 I・Polo マネ



新歓祭で神大水泳部に水球面があることを知り、水球をはじめから4年が経ちました。こうやって卒部の辞を書いていると多くの先輩方が言っておられたように4年間はほんとうにあつという間だったと思います。

4年間で色々なことがありましたが、なかでも戸惑うことや悩むことが多かったように思えます。1~2回生の選手のときは、これまで競泳しかしていない自分にとって、巻き足や飛びつきといった水球独特の動きに戸惑い練習についていくことに精一杯だったこと。なかなかうまくなれず試合では、ベンチばかりであったこと。授業に空きコマがまったくなかったうえに課題が非常に面倒なものばかりであったこと。水球面のキャラの濃さに戸惑ったこと。3~4回生のマネージャーのときは、笛がうまく吹けずどうしたらいいかわからなくなったこと。水球面のキャラの濃さに戸惑ったこと。なかでも

もっとも悩んだのが2回生のときに腰を痛めたことでした。腰を痛めたことにより練習も試合も陸からの参加になり先輩方、同回、後輩達のプレイをみて非常に悔しい思いをしました。シーズン後には、このまま辞めるかどうかを非常に悩みましたが、せつかく出会った水球から離れていくことがいやでマネージャーになりました。選手からマネージャーになることを受け入れてもらえるか不安もありましたが、受け入れてくれたことに本当に感謝しています。

このようなことがありましたが途中で辞めずに最後までつづけられたのは、やはり先輩方、同回、後輩達に恵まれたからだと思えます。特に同回からの励まし、アドバイスやたまにきつい一言をもらうことが大きな支えになりました。ほんとうに「ありがとう」の気持ちでいっぱいです。最後の年は、院試のためにあまり練習に参加できず頼りなかったかもしれないけど、支えてくれた後輩達にも感謝です。また水泳部での出会いや貴重な経験により多くのことを学び、また自分自身の成長を感じることができました。この4年間で得た出会いと経験をこれからも大切にしていきたいと思えます。

最後になりましたが OB の皆様方には大変お世話になりました。皆様方の支えにより部活に打込むことが出来ました。本当にありがとうございました。

嶋 剛 海軍・Polo



<はじめに>

時が経つのは早いもので、到頭僕がこれを書く齢となりました。引退してから四年間を振り返ってみると本当に充実していたと思います。同期や先輩方のなかには僕が最後まで残らないと信じていた方もいたでしょう。僕のなかで真摯に活動できる最後のチャンスだ、半端には終われない。これが自分を支えた軸でした。もちろん同期が多く、寮生活で周りの環境に恵まれていたことが継続に繋がったのだと思います。感謝の限りです。ありがとう、そしてこれからもよろしくお願いします。それでは少し振り返りたいと思います。

<三回までのあらすじ>

むかし、むかし僕は競泳の選手でした。もう一度頑張ろう、過去の自分を超えてゆけ。そう思うところもあり、石田達朗氏、土方了輝師、西澤翔君の熱き勧誘により恒

例の花見に行ったことが始まりでした。言うまでもありませんが、ここで出会った米田氏が、僕の大学生活に欠かせない人物となってしまいました。

さて六月、練習を再開し泳ぎを取り戻しつつありました。しかし、ただ直向に練習していたあの頃の姿勢までは取り戻せず。そして中途半端な気持ちで逃げるように去ってしまった乗船実習。これにより、かなりのダメージを心身ともに受けたまま怒涛の勢いで後期がスタートしました。そして冬、一年目を終えるにあたり、これでは前と同じだ。劇的な変化を自身で与えなくてはと水球道の門を叩きました。

初めは練習についていくのだけでも大変で、目標のプレーを意識するというレベルではなかったです。球技自体がほぼ初めてで、言われるがまま練習し、自分で考えることの大切さを理解していませんでした。というより漠然としていて考えてもよくわかっていなかったのだと思います。考えてプレーすることに気がついたのは三年の春くらいでした。人数がぎりぎり交代人員はいない、どう動けば点に結びつけられるか、なぜやられたのかと。時すでに遅く、シーズンのプレーは情けない限りでした。正直、総合的に見て今の一年生の方が上手かったと思います。三年間という絶対的には長い時間でありましたが、自身のブ

レーを振り返ると減入ります。決して手を抜いていたわけではありませんが、先輩や上手い同期に頼りっぱなし、でもそれが嫌で足掻くけど一向に上手くなれない自分。苛立ちを感じていました。

<四回>

ここであえて公言しますが、僕は勝ちへの執着が特に弱かったと思います。言わばみんなと楽しく頑張りたいという考えです。ですからメンバーと練習したり、二部練の合間や練習後に話したり、部室で遊んでるだけでかなりの満足している感がありました。チームとしては秋リーグで勝ってインカレへ、が目標です。少しでも長くこのチームで水球し、楽しい時間を共有するには秋リーグなどで引退できないと思いました。そのため、練習しなければうまくならない、下手だから練習するという言葉を思い出し、最終シーズンを病気・怪我をせず練習に臨みました。一年生は特に入ったなりから、同じ強度の練習をして辛く、何度も辞めたいと思ったのでは。しかし、その苦しいながらも毎日練習にくる君らを見ていて、尚更先にめげるわけにはいかなかったわけです。その気負いが最後のシーズンに少しは報われたかと思えます。スコアとして残せなかったのが悔いではありますが。現水球面、最低限の仕事しかできず申し訳ない。高専戦は同点であったと思いたい。いや絶対そうだ。勝ちがなく同点ばかり、最

後の踏ん張りが出た試合もあっただけに残念。来年に期待します。

<現役へ>

これを現役諸君が読んでる頃には、もう新入部員とシーズンに控えていると思います。この気負いというか、負けん気を大切に向上して行ってください。現役の選手は長いスパンで考えず、出来る範囲をちょっと駆け足ではあるけれど、一つずつ確実にこなしてほしいと思います。特に水球は今いる現役が全員出場することになると思いますので、奢っても驕らず強くなれ。そして「継続は力なり」これは僕の座右の銘の一つです。伸び悩んでも、自分よりまい仲間も乗り越えていった壁だと思って諦めて努力を怠らないようにしましょう。それに、先輩がしっかりそれを見ていると思うので、各自の良いところだけを真似してもらおうようにしましょう。他にも細かい部分で語りたいたくさんありますが、練習や試合を通じていろいろ教えてきたと思うので、行き詰ったらノートや講義を思い出してください。それでもわからなければ周りに聞きましょう。恥ずかしいことはありません。それでもなら連絡をください。それでもダメなら…はないよう、僕も永遠の現役と小さく言えるようにします。またどこかの貯水池でお会いしましょう。次は西日本の辺りを目標に勤めます、まだ負けるつもりはありません。ただ関西付近に留まれば頻

繁に出没します、よろしく。

<さいごに>

最後になりましたが、OB の先輩方、柳田先生、本間先生、そして現役部員の皆さん、大変お世話になりました。お蔭様で充実した四年間を過ごすことができました。寮に入ってなかったら、高校のジャージを着て

いなかったら、花見にいてなかったら…人生いろんな人と出会えるから楽しいって、本当にそう思えるいい部でした。いろんな経験ができて大学生活を他の学生より得した気分です。これ以上続けると偽り言かと思われまので、これで、終わります。ありがとうございました。

砂留 沙季子 法・競泳マネ



高校3年生の近畿総体、インターハイ標準記録にあと0.2秒及ばず、「もうこれで競泳は最後。二度とスタート台には立つものか」。そう思っていました。浪人生活を経て、その1年半後、神大の新歓祭である1つのブースに目がとまりました。それが神大水泳部との出会いでした。

「選手として頑張る力は無い、でも自分の慣れ親しんだスポーツなら大学生活の中

で負担にはあまりならないだろう。マネージャーとして籍を置こう」。こんなぬるい考えで入部を決めた水泳部でしたが、私の目論見は大外れで、ここから4年間、今まで以上に水泳と真剣に向き合う日々を過ごすことになりました。先輩方に勧められるままに戸惑いながらも選手として復帰、タイムの戻りもそれなりに良く、何よりも先輩方が「すごいね、速いね」と誉めてくれる言葉だけを楽しみに最初のシーズンを選手として過ごしました。でもそれは同時に選手としては何の目標も持たずにただ黙々とレースをこなすだけのシーズンでもありました。「インカレを突破して、マネージャーに転向する」。そう目標を定めた2回生の夏にあった2つの出来事が、ただ単にマネージャーになりたいと思っていた私の心に大きな変化を与えました。

2回生、目標突破のために照準を合わせ

た夏季公認記録会で、私はリレーメンバーの厚意に甘え 200mFRで第1泳者の棒をもらい、50mFrに2度挑戦する機会を得ました。個人種目棒での1本目は目標0.3秒手前、「まだもう1本あるから」と仕切りなおしてリレーに望みをかけたものの結果は0.07秒足りず、目標に届きませんでした。1週間後に控えた石川学生までに出来ることがないか観戦しに来ていた知り合いの方に相談しに行ったところ、あまり良い答えが得られずにどうしようもなく俯いてしまった私に、言葉をくれた人がいました。「高槻は魔法のプールかもしれないよ。でも、沙季子が1本目と2本目のタイムを0.3秒近く上げたのはマジックなんかじゃない。まだ1週間もあるやんか。あともうちょっとでいけるよ」。そう言ってくれたのは、自分でもどうしようもなく消えてしまっただった闘争心を守ってくれたのはマネージャーの久美さんでした。

そして石川学生を終えて、目標を達成出来ずプールに入るのが怖くなって部活を休んでしまったときにメールをくれた人がいました。「トメちゃんのペースで水泳してね。トメちゃんの水泳はトメちゃんのものなんやから」。高校3年生の時のように泳ぐのが怖くて嫌になってしまった私にもう一度プールへ戻る力をくれたのは、マネージャーの真希さんでした。

「マネージャーは選手の心を支える存在なんだ。私も2人のようなマネージャーにな

りたい」と強く感じました。その決意を胸に残りの2年間をマネージャーとして過ごしました。選手経験を持つ者として、マネージャーとして、日々の練習の中で少しずつ私なりのマネージャーのやり方が出来上がりました。久美さんや真希さんが、私が選手時代にしてくれたように、タイムより選手の泳ぎや表情を見るようにしたこと。試合会場で選手が不安にならないようにフロアー・マネージャーを作ったこと。積極的に選手の感想や希望を引き出し応えるようにしたこと。落ち込む選手を慰めるだけじゃなく、時には雷を落としてみたこと。すべてが上手くいったかどうか、それは今では判断しようがありませんが、この方針を後輩のマネージャーが受け継いでくれたこと、そして選手たちがマネージャーの声に耳を傾けてくれたことにとっても感謝しています。

この4年間は私にとって本当に学びの多い日々でした。水泳という競技を通して見えていたものは人の心で、共に喜びを共有できる嬉しさや、うまく思いが重ならない辛さを沢山経験しました。こんなにも満ち足りた日々をくれたのは、泳ぐことをためらっていた私をプールに呼び戻してくれた先輩方と、鬼マネだと笑いながらも私の声を聞いてくれた同期と後輩たちです。この場を借りてお礼を言わせてください。本当にありがとうございました。

これからの水泳部、そしてマネージャーのますますの活躍を楽しみにしています。

西澤 翔 海軍・Polo



この度、神戸大学体育会水泳部を卒部させて頂きます。05年度入部、西澤 翔です。

感謝が胸から溢れます。お辞儀をしながら思い出に浸っています…。

私は部活が大好きでした。

高知の田舎でのほほんと育ち、真面目にスポーツなどしたことがなかった私ですが、入部当時のあらゆる意味で最高最強の先輩方のおかげで、体育会というものを即理解しました。

それから4年、色々な事がありました。1年目はただただ部活に行くのが好きで楽しくて仕様がなかったです(飲み会はきつかったけれど)。それは偉大な先輩方や、競

泳水球関係なしに仲の良い多くの同期達のおかげであったことは間違いありません。

神大は6年ぶりにインカレへ。最後の打ち上げで岡さんとプレイしたかったと涙が溢れていました。

あつという間にオフに入りましたが、「まずは泳げな話にならん」と、了輝と剛にくっついてひたすら競泳練に参加させて頂き、毎晩のように白鷗寮北寮の階段下でチューブとストレッチに陸バスハンドリングをしました。すみません、ちょっと美化しました。この頃、サブリミナルが完了し剛を水球に引っこ抜いたのは、剛を花見に強引に連行したのに続くファインプレイでした。(後日談)

2年目は、大きな変化の年でした。まさかのスタメン起用とそれに見合わない実力に葛藤する日々。チームについていくのに必死でした。今思えば、私の根性論と超ポジティブ精神はこの頃確立されたのかもしれませんが。やるしかない！例え秋リーグ直前に某先輩失踪による突然のスタメン&フル出場をインカレがかかったリーグで初体験しようとも！

私の文才で文字に起こすと簡単になり悔しいので、途中経過は割愛させて頂きます。

そしてインカレ初戦突破、目標達成！宮

さんの大器晩成決勝点バックシュアの瞬間はビデオがひっくり返って映っていませんでしたね。神大のインカレが終わった後の井口さん、ぐていさん、かとうさんのあの笑顔は今でも忘れられません。嬉しかった。自分も精いっぱいやれました。秋リーグが9月開始だったこともあり、この年は1番練習をしたのではないかと思います。

3年目は迷走の年でした。水球もそうですが、「部活」という枠でやっと水泳部を自主的に見始め、自分の役割は何なのかと考えていました。同期が幹部、司馬が水球主任、眩しい位に頑張る皆を見ながら悩みました。縁の下の力持ち、をモットーに日々を過ごしましたが、正直幹部学年として、自分に何ができたのか思いつきません。

水球の方も前シーズンから大きく結果を落とすことになり、気持ちばかりが焦っていたように思います。シーズンは短く、もがきながら突き進んでいたら終わっていました。

このオフは朝練に参加させて貰いもう一度泳ぎこみました。水球ができる機会があれば出かけ、少ない練習時間ながら、出来る事の確認と技術の精練を心掛けました。練習先でもたくさんの方にお世話になりました。感謝です。

この頃から根性論をチームに還元しようと協力を得ながら色々取り組みました。ミーティングにおける個人レベルの相互理解、「今日の水球面」を個人記から全員が書けるブログ式に移行(自主性！盛り上げるの

も廃れさせるのも現役！記事&コメント数はチームの熱量やと思って下さい)、新歓イベントの企画、1年生のノート教育。要は競泳さんのマネ日記だとか、提出ノートだとか、リーダーズトレーニング講義の内容の真似です。imitation=模倣、は素人の私が水球を覚える上で手っ取り早く上達する最善の方法でしたが、これからの私の人生における得意技となりました。「まずは真似。」

4年目。新歓3回目のノウハウをフル活用しおそらく水泳部のどの2、3年生よりも毎日ピラを配り歩きました。その甲斐もあつてか、大変嬉しいことに経験者を含む1年生が大量入部しました。司馬剛ぶーさん皆も思ってたと思うけど、こいつらに残せるもん残して引退や！と感じました。先輩に4回は一番自分のために水球できるから、最後やし思いっきりやれ、と仰って頂いてましたが、2、3年生が少ないこともあり、しかも、プレイヤーは先輩と1年生が5人と5人で人数的にもマンツーマン。黙って背中で教えて、ついて来い！というにはあまりに上回が少ない状態でした。オフシーズンに作ったチームの仕上げというのが、新歓終了からのステップだとは思いますが、上回全員で1年生を教育するという、ゆっくりな歩の進め方となりました。練習方法に葛藤はしましたが、何があるかと結果を出すのが最上回である私達の役割だと認識していました。しかしシーズンの結果は関西最下位。原

因は点をとるべき左の私の得点力不足。申し訳ありません。あと1点が何度あったとか…。やってきたことが正しくなかったとは思いますが、チームに結果を残してやれなかったのは本当に悔やみました。

しかし、私は自分の水球人生には満足しています。というのも仲間のおかげもありくりが良かったからです。月見の宴では、9月いっぱい練習を重ねた1回生の成長により、インカレ世代を含むOBさんチームに勝利、11月の静岡選手権では剛、ま一、北野とMASH(クラブチーム)に加入して参加し、出場リーグで優勝、なみはやカップでは、乗船中でありながら奇跡の上陸日と重なり、再び08神大チームで出場、神大OBさんを含むMASHに勝利を収めたのは本当に嬉しかったです。また私たちの世代で一気に抜けどうなるかと思われた水球面も、今はどんどん成長中の1回生5人が入ってくれたし、信頼できる少数精鋭の後輩たちが柱になって盛り上げていってくれと信じているので安心です！

現役の皆へ

もっと泳げる。もっと点取れる。豊玉のラン&ガン(スラムダンク参照)みたいに、まずは泳ごう。泳げたら面白い。私の経験ですが、泳げ出してからが本当の水球でした。地道に積み重ねた人は必ず泳力を手に入れる事が出来る。初心者でも諦めないで。後は慣れと気持ちの問題やから、日常から出すべき時に全力を出し切るという事を習

慣づけてください。マネさんは上からブレインなって、みっちりがっちり戦略戦術をどんどん提案してあげて下さい。目標は、「関西国公立一位」やな。今はシーズン目前かな。共有して唱えてるか？応援しています。

しかし終わってみれば、本当にあっという間の4年間でした。毎日毎日、四六時中部活の事だけを考えていられたことは、幸せです。思えば早かったけれど濃密な日々でした。鮮明に思い出せる名場面珍場面が語り尽くせないほどたくさんあります。この思い出と水泳部での出会いは私の宝です。きっとこの水泳部に所属して過ごした4年間はこれからの私の人生の柱になるでしょう。泳ぐたびに仲間との青春と活力を思い出します。これからも趣味で泳ぎ続けます。水球もがんがんやりたいですね！また練習に参加させて頂くのでその時はよろしくお願いします。

最後になりましたが、凌泳会の諸先輩方、熱くご指導頂いたOB・OGの皆さま方、なんだかんだで可愛い後輩達、最高の同期の皆、そしてたくさんのお世話になった方々、一緒に水球した皆様様に今一度感謝致します。本当にありがとうございました。

追伸:了輝、剛、司馬、あとま一、その節(と言っても数多)は誠に大変お世話になりました。感謝しています。お疲れ様でした。

吉岡 拓磨 農・Br



卒部の辞、締め切り間に合わず。凌泳委員の加藤さんには頭があがりません。卒論発表前でてんやわんやでなぜもっと早く書いておかなかったのだろうと後悔中です。

いつの間にやら卒部の辞などと大それたものを書く事になる学年となっております。もちろん神戸大学体育会水泳部に所属していた4年間は長かったです。つらい事はたくさんありました。試合では結果が出せない、金監督には「お前が決勝にのこらんかったからや」といわれてしまい、周りと比べて劣等感にうちひしがれていました。つらい時期がありました。それでもやっぱり4年間にはいい事がありました。筋肉が少しついてくれました。体重が増えました。出会いがありました。たいしたタイムではないですが試合でベストが出ればガッツポーズを小さくとれるようになりました。みんなが喜んでくれました。笑えました。一番心に残っている言葉は最後の近国のときの打ち上げのときの金監督からの言葉「ほんまお前

が決勝残らんかったからや！…でもまあ4年間ようやったな」でした。泣きそうになりました。ぼくは一回落とされて持ち上げられる言葉に弱い事が判明。

皆さんにとって充実した大学生活という考えはバラバラかもしれませんが、僕にとって朝練行って学校行って授業でも寝てしまって夕練に行って家に帰って寝て朝練行って…といった1日のサイクルがたまらなく好きでした。もし水泳部に入らなかったら僕は何のクラブにも入ってなかったでしょう。それはそれは考えるだけでつまらない生活が待っていたでしょう。おそらく今以上のもやしっ子になっていたでしょう。水泳部の生活は目新しい事ばかりでした。他大学の人脈もとてもひろがり、高校のときでは無縁と思われた速い人たちとの交流も持ていろいろ泳ぎに対する考え方を聞き、学ぶ事もできました。水球も少しだけパスをできるようになりました。女装では優勝もできましたし。思い出はいっぱいできました。よかった水泳部に入って。合格発表のときに声をかけていただいて水泳部の存在の認識ができてよかった。ベストが出たときのあの喜びは絶対に普段の生活では味わえませんでしたからね。おかげさまで大学生活は面白い方に進めました。

「努力する者が全て成功する訳ではない。しかし成功する者はすべからく努力してい

る」(はじめの一步より)。この言葉、僕が一番気に入っている言葉です。ただ単にここに載せたかっただけですが。何事もあきらめない気持ちはすごく大事です。何かしら自分が信じるものがある事はいいですね。

悔しい思いはたくさんしたこの四年間でしたが、今までの人生で水泳が嫌いにもなりそれ以上に好きにもなった4年間でした。人間的にもとても大きくなりました。人生の

中のたった4年ですがその4年はとても濃いものとなりました。最後になりましたが本当に叱咤激励をいただいた OBOG の皆様をはじめ、金監督、柳田先生、本間先生、そして戦友として共に戦った諸先輩方、後輩、同期のみんなに感謝申し上げます。脈絡のない文章でお恥ずかしいですが、以上を卒部の辞とさせていただきます。これでぼくも凌泳会の仲間入りです。

末森 香織 神戸薬科・Fr



今、卒部の辞を書く事が出来る事を、心から嬉しく思います。これも先生方、先輩方、後輩、そして同期のみんなのおかげだと心から感謝しています。ありきたりな文章ですが、本当にそう思います。

ずっと年の離れた先輩方、先生方へ。試合で声をかけていただいたり、練習に来ていただいたり、私の新記録を知っていただいたり、月見の宴・凌泳総会などで素敵なお話を聞かせていただいたり、私の成長を

見守って下さいました。私は名前を覚えてもらえるだけですごく嬉しくて、頑張っている姿を先輩方に見てもらいたくて、本気で水泳をする底力を掻き立てていただきました。ありがとうございます。

ちょっと年の近い先輩方へ。私が身近で目標にし、頼らせていただき、相談をさせていただき…本気でついていこうと思えた先輩方、私に水泳の楽しさ、難しさ、水泳部の伝統、お酒の飲み方飲まれ方…、ここには書ききれないほどのことを教えていただきました。先輩方に教わった事は、私の血となり肉となり、後輩へと受け継ぐ事が出来たと思います。熱い気持ち、熱い空間、熱い飲み会を共有させていただいた事、感謝してもしきれません。ありがとうございます。

後輩へ。最後の最後まで、熱く、楽しく泳ぎきれたのは、みんなのお陰です。熱い気持ちを持った後輩が沢山いる事を誇りに思います。私が先輩から受け継いだものを伝え、逆に色々な事を思い出させてもらったり、教えられる事も沢山ありました。頼りない私を頼ってくれた事、若いフレッシュなエキスを部活に持ってきてくれた事、本当にありがとう！

最後に同期のみんなへ。4年間、辛い時、悔しい時、楽しい時、ずっと一緒に戦ってくれた大切な仲間です。個性バラバラ、それが吉と出るか凶と出るか…吉や～!!吉に出たとです。私が4年間水泳生活、大学生活をここまで濃いものに出来たのはみんなのお陰です。心から信頼できる仲間に出会えたからこそ、自分の競泳人生に

自信を持って続ける事が出来たと思ってまいます。♪いちどあった～らともだちで、まあいにちああたなきょうだいさ♪

私はどんなに頑張っても神戸大学の点数に絡めない、この事を悔しく思った事もありました。でも、熱さと根性でチームを引っ張っていき！私が這い上がる奴の強さで押し上げるんや！と、気持ちを強く持つ事が出来ました。チームに対しても、自分に対しても、しっかりと向き合うことができ、常に目標に向かって4年間走り(泳ぎ)続ける事が出来ました。こんなに前向きに熱く頑張れたのも、周りに素晴らしい仲間が沢山いてくれたからだと思います。感謝感謝雨霰です。神戸大学体育会水泳部で過ごした4年間は私の宝物です。ありがとうございました！！

畠山 紗穂 神女院・Fr



「畠山紗穂が卒部の辞を書くらしい」
4年前に戻って伝えたところで、誰も信じないであろうこの確かな事実。
誰も信じないと思いきや、「ハタケ、よくやったな！！」なんて声も聞こえてきそうな気もしないでもない。

さて、おそらく最初で最後になるであろう、神戸女学院生による卒部の辞を書かせていただきます。私が居た事実を凌泳にしっかりと刻めるよう努力いたします。

私が水泳を始めたのは小学2年生の頃で、きっかけは引越し先の近所にあったというそれだけの理由でした。すぐに水泳に夢中になり、絶対水泳選手になりたい！なんていう夢のまた夢を語りはじめた矢先に腎臓病にかかり、厳しい運動制限の元、生活せざるを得なくなりました。小学6年生で

した。一生まともな生活はできないんだと全てを諦めて生活していましたが、高校に入る頃には病気は奇跡的な回復を見せ、陸上部に所属できるまでになりました。陸上部のおかげで腐りきっていた根性も少しはましになり、大学でも体育会に所属することを決意しました。5月まで入る部が決められずウロウロしていましたが、たまたま見つけた神大水泳部のHPに連絡し、見学してすぐに入部を決めました。

まあとにかく、私にとって水泳とは夢そのものである、大事なものである。ということをお願いがためにくだらない身の上話をしてしまいました。すみません。

私は最初から最後まで、神戸大学体育会水泳部の仲間になることができなかつたと感じています。
何度辞めようと思ったかわかりません。ただ、500回辞めようと思ったけど、頑張ろうと思った回数が501回だった。

それだけの事です。仲間だと思った時期もありました。でも、4年生最後のシーズンは、水泳部に対する不信感で吐きそうになりながら部活を続けました。最後まで誰のこともわからなかった。わかってあげられなかったし、わかってもらえなかった。もちろん自分も悪かったと思っています。

水泳部から得たこと、沢山あります。全部宝石みたいに大事。なのに、こんな伝え方しかできなくてごめんなさい。

私は水泳部のことが大好きで、感謝しているんだということは、素直に伝えることができないみたいです。

1～2年の時は勝手な行動ばかり取り、多々迷惑をかけたと思います。3年の時は幹部学年なのに、全然力になれませんでした。

あの年ほど、自分が情けなく感じた事はありません。4年の時は、一番しっかりかまえていなくちゃならないのに、居ても居なくても変わらないような人間でした。

沢山の思い出で私の心はずたずたになってしまいました。4年分の思い出は鋭利な刃物で切られたような跡になり、一生傷となり、私の中で消えないものになるでしょう。私はその無数の傷を見て、触れるたびに辛い思い出も楽しい思い出も思い出して、きっと前に進んでいけるのだらうと思います。

前を見れば先輩が居て、両隣を見れば同回が並んでいる。その場所が本当に好きでした。居場所だと、思っておいていいですか？

最後になりましたが、怪しまずに返事をくれた田中宗親さん、選手登録をしてくれた田畑、明るく、強く、「頑張ろう」と思うきっかけをいつも与えてくださった商船大学 OB の皆様、的確なアドバイスをし、背中を押してくださった神戸大学 OB、OG の皆様、眩しくて大好きな甲南女子大学 OG、神戸薬科大学 OG 皆様、あ、米田さんも。となりで支えてくれた同回の皆、柳田先生、本間先生、金監督、そして、可愛い後輩の皆。本当にお世話になりました。ありがとうございます。

神大水泳部員！泣いても笑っても4年間だけ！期間限定の大学水泳部生活を、思いっきり楽しんでください！！
いっぱいいっぱい、ベストが出ますように！！(-人-)祈

【4回生】

臼井 景子 発達・競泳マネ



うすいさんはそのお名前とは裏腹にキャラのめっちゃめちゃ“濃い”方です！

3回生の12月に水泳部に戻っていらっしやいました。普通の人間ではできない決心です。謎です。

笑いながら「うちめっちゃ病むね〜ん」と言ったり、Aしださんの携帯についているギョロ目を「可愛い！欲しい！」と言ってみえるのはもっと謎です…

自衛隊での練習に行くのに途中で迷ったり、電車に乗り遅れて六甲道の改札をものすごい勢いで突破したり…謎は深まるばかりです。

今はマネージャーをされていますが、元々はバリバリの選手だそうで、そそのかしたら泳ぎ出すんじゃないかという勢いもたまに見られます。来年度マネージャーがたくさん入ってくれたらぜひレースに…

と思ってしまうです。

週2回の筋トレでは、マネ業もバッチリこなしつつ積極的にトレーニングに参加されています。だ〇のさんのわっしょいな筋トレも、が〇さんのガチ筋トレも、ゆ〇さんの楽しい筋トレもほとんど選手と一緒にです。腹筋、背筋、腕立てとガンガンこなしでいらっしやって、頼もしいマネージャーです！ランニングではす〇むさんをリードしていく姿が見られたこともありました。そしてラダーが上手い！悔しいですが、おそらく女子の中で一番の腕前(脚前?)です。選手は負けてられません…

うすいさんは最近、ラスト1本のハードで選手に制限タイムを課すことにはまっているようですが、時々無茶なタイムを設定されます。けど選手は無意識に力が出ます！選手を強くするために頑張ってくれるのでありがたいです。

話し出したらもう止まらないんじゃないかってくらい話してくれることもあります。筋トレだけでなく、選手とのコミュニケーションにも積極的な臼井さん、明るい笑顔と不思議な行動でみんなを引っ張って行ってほしいです。

飛田 陽祐 小倉・工・Fr



皆さんご存知の(?)Mr.スプリンターこと、とびたさん(以下、トビさん)です。過去の競泳誌によると“半フリでも長く感じる”らしいのですが...私、聞いちゃいました。“飛び込みが勝負になる 12.5m レースがあればいいのに...”ともらしているのを(笑)。でも確かに、そう言うのも納得できるほどトビさんの飛び込みは華麗です。特に空中姿勢が。何度見ても飽きません。(?)

前年度は主務として OB・OG さんとコンタクトをとり、様々な行事を進めてくれた

り、壊れたプリンターの代わりに自筆で OB・OG さん宛の手紙に宛名書きをしたりと、あまり表立つことはありませんでしたが主務の仕事に奔走し、陰ながら神大水泳部を支えてくれました。今年度は就活や実験に追われ、新たな面で忙しくなるそうですが、トビさんならきっと乗り越えられるにちがいありません!!!?

そんなトビさんは普段とても家庭的で料理が上手です。しかもフツの下宿生がもたないような調味料(ナンプラー)も使うほど料理にこだわりをもっています。お菓子作りも好きで、練習のときに手作りの抹茶ティラミスを持ってきてくれました。おいしかったです☆

このようにもともとネタ豊富なトビさんですが(笑)、今年度は様々な経験を経て、よりバージョンアップしたトビさんを垣間見ることができるでしょう。乞うご期待!!

榎尾 晋 土佐塾・医・Fr



チャームポイントは「お腹」です。アノお腹なら何でもできます。世界征服だって夢ではありません。部員のほとんどがアノお腹に恐怖を覚えています。時々アレはバッシングをくらいますが、そんなことをものともせず前へ前へ出てきます。今では自在にお腹を操る技術を習得しました。それに並ぶスゴさの水泳の技術を持っているので、そっちの方にも期待しましょう。

井上 陽介 鳥羽・海事・水球



昨年は水球主任として神大水球面を引っ張ってくれたまーさん。関西学連水球委員長も務めていました。大変だったと思いますが、しっかり仕事をこなしていました。

仕事が少々？遅れることはありましたが…。寝坊も何回かありましたね笑。でも、練習を病欠したことはなかったと思います。さすがですね。

ちなみに、僕たちがまーさんと呼ぶとちょっと怒ります。何が嫌なんでしょうか？いいあだ名だと思うんですけど。

今年の水球主任・水球委員長の2つの重役から解放されたまーさんですが、新キーパーの育成という大きな仕事が残っています。最後の1年、まだまだ大変ですが寝坊せずに頑張ってください！

北野 達也 嵯峨野・発達・水球



北野さんほど何事も頑張る人はそうそういないだろう。練習はもちろん、先シーズンは主将も務め、さらに教員免許取得もめざしているので大忙しである。もちろん北野さんはすべて全力でこなしているので、疲労がたまるであろう。その疲労は早くも目に見える形で現れているが、あれは北野さんの努力の証である。

【3回生】

加藤 優 初芝富田林・発達・Fr



優さんはいつもアハハハハ〜と笑っています。練習後は、笑いながら自転車に乗り、濡れた髪を靡かせ、猛スピードで帰宅します。本人は普通のスピードだと思っているところが、さすが優さんです。彼女は、誰よりも速さを追求しているのです。水泳はもちろん、着替える速さでも水泳部随一の腕を誇ります。

優さんの注視すべきところは、練習後のシャンプーで頭を洗う姿です。誰よりも豪快です。そして、誰よりもお酒に強く、誰よりもスウェットが似合い、誰よりも床磨きと鍋磨きがお上手で、誰よりも後輩の指導が徹底しています。まさにハンサムな先輩なのです。しかし、普段はオシャレでかわいいのです。寝顔は非常に愛らしく、寝付く瞬間にはムニヤムニヤ言っています。微笑ましいですね。

キャップ帽を被れば、ポケモンのサトシに早変わります。虫取り少年のようでもあります。そんな優さんの最近の口癖は「よいしょ よいしょ」です。「わっしょーい」にも迫る勢いです。

父であり彼氏であり我が子のような優さん……男前です。

段野 光宏 天王寺・発達・Fr



みんなから BIGMAN と呼ばれている BIGMAN。何が BIG かとゆうとまずその身長。一般的な計測器では到底計れません。室内では常に腰を曲げています。泳ぎも大胆です。ガバッと水をかき、ドドドと水を蹴るあの泳ぎは次の組で待っているスイマーに凄まじいプレッシャーを与えます。BIG な器の持ち主で、みんなをまとめ支える主任の仕事をこなしてくれるでしょうね。

北野 菜緒 富山中部・医・競泳マネ



菜緒さんは、現在、神大唯一のマネージャーです。富山県出身ですが、訛ってはいません(たまに訛ります)。酒将と言われる菜緒さんは4次会まで行っちゃいます。夏は(私もですが)必ずビーサン焼けします。マネージャーは足の黒さでは選手には負けません。はっきり言って嬉しくありません。寝顔めちゃくちゃ可愛いです。練習前、よく口をモグモグさせています。

練習後、時々泳いでます。菜緒さんはいつもほわほわです。朝も昼もお酒が入ってもずっとほわほわです。しかし、練習中は違います。菜緒さんの熱い視線を感じて下さい。真剣に選手の泳ぎをチェックしています。菜緒さんの天使のような笑顔を見て下さい。少々キツイサークルもへのかっぱです(きっと)。たまに、菜緒さんはその天使のような笑顔で選手にサクッと注意します。選手によると、これがちょっぴり怖いそうです。が!!そんな小悪魔な菜緒さんに、みんなもうメロメロなのです!!!もっとビッシ!バッシ!指導してください☆ほわほわした雰囲気とは裏腹に、すごくしっかりしている菜緒さんに全員どこまでもついて行きます!!

松尾 友美 智弁学園・甲南女子・Fr



南女からやってきたともみさんともみさんは、責任強い頑張り屋さんです。お世話したり、頼りになる優しい先輩ですよ。只今、水泳に熱くお取り組み中です。そんな努力家のともみさんのこれからの発揮を楽しんでいます。

田畑 直紀 星陵・工・Fr



昨季システムを務め、今季主務を務めていらっしゃる田畑さんのご紹介です。

とにかく田畑さんに物事を一聞くと、十返ってくる程、博識な田畑さん。文理はもちろん問わず、エンターテイメントや雑学にも幅広く力を発揮しています。

どうやらいつも連れ添っているパソコンの中に潜む Wikipedia 先生や Google 先

生の下で教えを受けているようです。これだと優等生のイメージがつかまいそうですが、そうはいきません。試合後の飲み会などのイベント時には飲ませ飲まされの暴君に早変わり。時には破天荒な姿でみんなの爆笑、歓声や悲鳴を独り占めしちゃいます。

そんな多面性を持った田畑さんの専門は Fr(very short&short)です。パワフルな泳ぎをみんなが期待しています!!

あとすっかり田畑さんの前で「確変」、「時短」や「連チャン」などの言葉を口にすると闘争本能を掻き立ててしまい、知らぬ間に戦場へ出陣してしまう場合があるのでご注意をwww

吉田 楽 大手前・工・IM



昨季外渉を務めた、知的なメガネが似合う我らが主将、吉田楽さんのご紹介です。

上回生と同回生の方からは「楽!」と可愛がられ、後輩からは「楽さん!」と慕われている水泳部になくてはならない存在です。

普段は何事にも「面倒くさい」の口癖

がついてまわる楽さんですが、お酒の席では饒舌と言わんばかりのトークでみんなとワイワイ盛り上がっています。あなたもうまくいけば、あの笑い声を耳にすることができるかも…。

また部員をおちょくり、いじり倒す才能にも秀でており、田畑さんと双璧をなしています。1度餌食になると、終わりです(過言)。

そんな様々な姿を見せてくれる楽さんの専門は Individual Medley!!

今季主将として、また何でもこなすユーティリティプレイヤーとして神戸大学体育会水泳部を牽引していきます!!

菊地美甫 星陵・神戸薬科・水球マネ



菊地さんはマネージャーとして神大水球面を支えてくれるお姉さんの存在の人です。そして選手並みに水球のことを理解されています。

試合中ベンチから飛び交う指示は鋭く射ており、とても勉強になります。練習ではキャップやゴーグル洗い、ホイッスルなど、陰での大変な作業をこなす姿に感謝しっぱなしです。そんな菊地さんは明るく、誰に対しても気さくに話しかけてくれる人です。入部当初、水球の厳しさにへこむ私はよく励まされ助けられていました。菊地さん、これからも神大水球面の嬢王...いや、女マネとして僕たちを支えて下さい。押忍!

【2回生】

安福 拓斗 姫路西・濃・Fr



ヤスフクです。安福と書きますが、あんぶくではありません。ヤスフクです。たくちゃんとも呼ばれています。ヤスフクです。姿勢がとても良いですが、新入社員では

ありません。ヤスフクです。

ドルフィンキックが上手ですが、バタフライの選手ではありません。ヤスフクです。サングラスの似合う男前です。ヤスフクです。ジャージの裾が足りません。ヤスフクです。靴下ニューバランス的な感じ。ヤスフクです。あわびは1杯です。ヤスフクです。昔は生徒会長やりました。ヤスフクです。ピチピチのハタチです。ヤスフクです。僕は姫路へ帰ります。ヤスフクです。第1回好感度ランキングNo.1といえば...ヤスフクです!

須藤 茜 白陵・経済・Fr



あかねちゃんはしっかり者に見えて、実は(ちょっと?)天然なところがあります。そんな彼女はとても頑張り屋さんで、メキメキと力をつけています。まつ毛が長い美人なので、ときどきハーフとまちがえられるそうですが、血統書つきの純日本人です! たぶん…。あかねちゃんはリラックマが好きとかわい趣味をもっていますが、何気に柔道の黒帯も持っているのです、気安く触ったりすると一本とられるかもしれません。

櫻田 侑佑 生野・工・Bk



同回生の男子で最もハイセンスな人物です。いつもいかした服装に原動付自転車で颯爽と現れます。

彼の発言は面白いです。もしも部内のおもしろ発言ランキングがあったら、絶対入ってきます。「Thank you very much,,,です。」とか「寒さ5万 t。」などの名台詞を披露してくれるかもしれません。

彼の専門は背泳ぎです。そして男子唯一の背泳ぎの選手です。チームの中核を担う主力メンバーの一人です。彼なくしてチームの勝利はありません。

試合における侑佑さんはすごいです。今シーズンは受験明けで体が万全ではなかったところから力をつけて、自己新記録をいくつも出しました。

これはやはり彼の練習に対するひたむきさによるものであると思います。練習中に諦めたり、妥協することなく、一生懸命取り組んでいるのは印象的です。練習後に一人でゴムチューブを使って筋トレをしているのも彼の實力の高さの証明です。

さて、今シーズンもきっと彼は最高のパフォーマンスで水泳部を引っ張ってってくれるでしょう。

吉田 俊 大手前・経営・Br



大手前高等学校出身の野球(特に阪神タイガース)とほしのあきをこよなく愛する素敵な笑顔が好印象な青年です。

いつも髪の毛をふぁさ〜としてやってきます。

頼めば(頼まなくても)有名野球選手の真似をしてくれます。すごくうまいらしいです。

大阪人らしく、ボケと突っ込みを理解し

てくれます。彼は突っ込みです。キレのある辛辣な一言をくれます。

彼は働き者です。部活の仕事だろうが先輩の無茶振りだろうが何でもこなします。今は副務の仕事をやっています。その仕事ぶりも流石です。やっぱり、この回生のリーダーだけのことはあります。

練習中の彼は真剣そのものです。専門のbreaststrokeも持ち前のkick力に加えて、turn や stroke の改良も進めているそうなのできっとまたベストを更新してくれます。腕だけでなく腹筋などのトレーニングも彼はしているそうです。そんなひたむきな努力が彼の強みだと思います。

さて、彼はこのシーズンも十字を切つてスタート台に立ち、最高のパフォーマンスをしてくれるでしょう。

蘆田 佑加 柏原・甲南女子・Fr



競泳一回の蘆田ゆか(通称ゆか)は甲南女子大学在学のリラックマ愛好家の一人です。

競泳の専門はフリーで、水泳への情熱がつよいです。見かけよらず、人懐っこいところや寂しがりやなどがあります。彼女とは是非絡むべきです。運が良ければ妙な動きのサイドステップが見れたり、生け垣に自転車でつっこんでくれます。また一緒にいるとなにかと美味しいはずです。

何故かって言いたいのはやまやまですが、ここからは絡んでからのお楽しみです。

渡辺 祥子 半田・発達・Bk



愛知が大好きショコタンだに！
大好き過ぎてカルチャーショックを感じる
ことが多いそうです。

エスカレーターで左に寄っても、突き飛
ばさないで下さい。

冷やし中華にはマヨネーズだがね！

おでんには味噌！これは、ぜえ〜ったい
譲らないそうです。

「〜だで」「〜だに」「でら〜」が口癖だ
がね！よろしくお願いします！

ショコタンは、いつも練習に真面目に取り
組んでいます！練習中、疲れてくると徐々
に声のボリュームがあがります。

皆さん注意して聞いてあげてください♪
専門はサイド！じゃなかった・・・バック！
頑張ってます！

関西の生活に徐々に慣れてきたショコタ
ン。

でもこの間、合わせ味噌やと思っておで
んに大量にカラシを付けて涙ぐんでまし
た！

そんな、かわいい一面を持つ、ショコタン
です。

あたたかい目で見守ってください☆

井谷 和加奈 立教英国学院・甲南女子・Fr



生まれはドイツです！
そのせいもあるのかもしれませんが、基
本的にテンションが高いです。

低い所をあまり見たことがありません。
結構お酒に強いらしく、飲み会の席で
はよく上の方々に飲まされています。
そういった所を見れば、これを書かしても
らっている僕からすればすごくらやまし
いことです！

ただ、声が大きすぎる時があるのがたま
にキズですが。。。

なによりベーシックから1番に上がるん
じゃないかと期待されている注目株です。
そんな今のわかなから目が離せない☆

古川 真子 履正社・甲南女子・Fr



真子と書いて「まさこ」と呼びます。

「まこ」とよく間違えられるらしいですが、「まさこ」です。

本人は「まこ」と呼んでほしいらしいですが、親しみを込めて「まさこ」と呼んであげてください。

彼女は髪の毛を切ると毎回前髪を極端に短く・斜めに・段違いに！の三拍子で

そろえてきます。

しかし真っ黒でサラサラのストレートヘアなのでうらやましい限りです。

そんな彼女に絵を描かせると天下一品。

特に授業中に描く彼女の絵は笑いのツボを押さえたもので、一度見ると彼女の絵のファンになること間違いなしです。

この前水泳部の同級生の似顔絵を描いていましたが、激似でした。

部室に飾っているらしいのでお時間あればご覧ください。

秋場に足を怪我してしまい、みんなより少し遅れを取りましたが、今シーズンは心機一転し南女のリレメンにぶっちぎりで選ばれるような選手に育ててくれることを期待します！

稲垣 喜裕 北野・神戸薬科・Fr



みんなから「ガッキー」と呼ばれ親しまれている神戸薬科大学の主将。水泳部の中

でも1、2を争うほどの高身長でもありません。しかし、結構うっかりやで、財布をよく無くしそうになります。

そんな彼は大学に入ってから水泳を始めたという超初心者ですが、水泳に対する情熱は誰にも負けていません。速くなるために出来る限りの努力をしています。彼が水泳経験者に方を並べる日もそれほど遠くはないでしょう。

大園 沙央里 長田・神戸薬科・Fr



彼女は優しく穏やかで、常に一定のテンションを保ちます。大学での勉強も、部活の練習も真面目にこなす模範生であります。彼女は多岐にわたる知識を持ち、誠実な人柄であるので、同回生の間では、まさに「長老」的存在です。

誰かが更衣室で歌います。長老がハマります。歌唱力は、さすが全国の長田高校コーラス部出身というところでしょうか。

私とは2 オクターブ異なります。

博識が故に、お化けなんて信じません。怖くないです。怖いのは二日酔いです。

彼女はズボンからポケットを飛び出させて放置します。財布や携帯電話も電車に放置します。

俊敏な着替えのおかげで、シャツは常に裏表が逆です。

なぜか手足はいつも傷だらけです。しかし誰よりも健康体です。これは、どんなにうるさくても暑くても、誰よりも早く眠りにつく習慣の賜物なのでしょう。

そんな彼女ですが、なかなか髪の毛は伸びません。しかし泳力は伸び盛りでございます。これからも私たちを見守ってください、長老。

澤池 紀明 桃山学院・神戸薬科・Fr

愛称「Pちゃん」「ピー子」「池沼くん」「炒り豆」などなど。。。

いくつもの呼び方がある紀明です。

ただし、放送禁止の意味の「ピー」ではありません。そこ、間違えないであげてください。でも、、どれも名前の原形とどめてませんね。

近ごろ、驚異的な成長を見せています！この間、ベストを3秒近く更新しました☆まだまだ、目が放せませんね。のりあきだけに、波にも乗ります。ノリノリです♪

それから、人見知りが多いので皆さんどん!どん!からんであげてくださいね☆

実は痩せているのを結構気にしてます。。。ただいま、肉体改造を模索中とのことです。プロテインでDOOOON!!!! らしいですよ☆



廣瀬 浩明 清風・神戸薬科・Fr



まず、廣瀬はとても物知りです。

ひとたび JR と阪神電車について語り出すと止まるところを知りません。

また吉田俊と野球(※彼らは盲目的な阪神ファンである)の話を始めれば話がおさまる見込みは皆無です。校コーラス部出

身というところでしょうか。

そんな廣瀬は練習に対してとても真面目です。彼は練習を休みません。欠かさず練習に来る廣瀬に対する部員の信頼はまあそれなりに厚いです。

また場の空気を察知して要所所で、『ヒロセ行きまーす☆』と高らかに叫び空気をなごませてくれます。

あと廣瀬は無類のアニメ好きです。芝井さん、紗穂さん、田畑さん、廣瀬が集まると決して常人には入り込む隙を与えない会話が始まります。

体重が1キロ減るごとにタイムが1秒縮む事で知られる廣瀬、期待せずにはいられません。

有馬 忠嗣 滝川・海事・水球



arena 大好き有馬忠嗣。彼の arena に対する思い入れは、計り知れません。何かとグッズを持ってます。骨盤の形が特殊で、巻き足に支障をきたしている。

大のバイク好き。最近ライダーオーラが出ています。また、教習所とバイトと大学と部活という多忙な生活を経験し、前期は大変な思いをしたとか…。五カ年計画という噂もたっていますが、やるときはやる男なので無事四年で卒業を果たすはず。そんな彼は競泳、水球、ともに経験しており、頼り甲斐のある男で一回生のみんなに安心感を与えてくれます。熱い漢有馬は骨盤の形なんて無視して、これからも進化し続けるでしょう。

森田 有美子 大手前・神戸薬科・F



水泳部現役で第2の「ゆみこ」さんである森田さんのあだ名は「もりお」です。盛夫と書くそうです。

特徴的なのが、綺麗なお姉さん風の見え目とはギャップのあるハスキーな声です。

更衣室での笑い声や話し声は、すぐに外からでも森田さんのものだとわかります。森田さんの笑い声は聞いている人も楽しい気分にしてくれます。お酒が入るともっともっと笑います。

更衣室ではぶっちゃけトークも多く、爆弾発言をいくつか残しましたが、そこはや

はり女の子同士の秘密にしておきます。

あとは、なぜか森田さんの着るTシャツは緑色のものが多いです。気が付けば緑です。

筋トレでは、前後、死んでます。魂が抜けてしまっています。屍のように起き上がってきません。しかしこれからタフになっていくので大丈夫です。

また、食欲がすごいです。食べ盛りです。よく何か間食をとっています。サイゼリアに行くとハンバーグセット(ライス付き)とドリアを食べちゃいます。

それと、歌が上手いです。彼女の匂香は泣けるそうです。

そんな面白い森田さんは、テンションは低めには見えますが、皆をいつも楽しく盛り上げてくれるのです。

田中 佑治 猶興館・海事・水球



彼の持ち味は何と言ってもガッツ!!

水球はおろか、競泳ですら未経験で入部当初は自力でプールの端から端まで泳ぐ事すらできなかったにも関わらず、今では朝練メニューもバリバリこなす九州男児☆

今では試合で得点しチームを下からではなく上から引っ張る存在へとなるべく日々精進を怠らない彼。一つの事に猛進するあまり周りが見えてない時も…(^_^); 来年はチーム一の熱きプレーヤーとして得点しまくっている…はず…。

大脇幸之助 金沢二水・経済・水球



彼は一言で言うと真面目な男です。今年是一回生の中で唯一練習を欠席しませんでした。それはさておき水球では非常に基本に忠実なプレーをします。試合も全試合フル出場しました。来シーズンは主任も任されたことだしチームの要になっているでしょう。

林 和浩 東大寺・経済・水球



彼を一言で言うと変態・・・ じゃなかったただ単に女性が苦手なだけの筋トレ大好きマッチョ君ですw

地元奈良を愛し、かのGOさんを愛・・・ じゃなかった 大尊敬し、少しでも近づくべく日々筋細胞を破壊し続け、練習前後にはトークで盛り上げてくれるムードメーカー☆ 地元奈良ではジムで出会った知らないオジサンと友達になるほどの社交性の持ち主です。

持ち前のパワーとベンチ愛で来シーズンは活躍間違いなしです。。

藤丸 晃弘 高津・農・水球



彼はAB型の典型的なアブノーマルな男です。プレーも練習中に凡人が思いつかないようなことも次々と考えだします。そんな彼ですが一年目ながら矢のようなシュートで何度もゴールネットを揺らしてきました。これからは攻撃の柱になるに違いありません。

五十嵐 遥香 甲南女子・神戸薬科・競泳マネ



五十嵐さんは、天使のような、そしてやり手なマネージャーです。

練習では優しくアドバイスをくれたり、マッサージをしてくれたり、差し入れをしてくれたりして部員を癒してくれます。

しかし、見た目からとはギャップのある張りのある声でサークルを回したり、こっそり秘密のノートに選手1人1人の泳ぎについてコメントを書いたり(恥ずかしがって見せては貰えませんが)、しっかりと、できるところも見せてくれます。

しかしそんな五十嵐さんから、半年もしてくるとついに違った面が見えてきました。

と、いうよりシーズンが変わって急変しました。

天使の笑顔はそのままに、放つ言葉がどぎつくなったのです。

「Hard になってないよ!」「サークルインしないと罰ゲームね♪」

特に筋トレとで回数を数えるとき、+αメニューを考えているときはキラキラして、とても楽しそうです。

…もはや鬼です。

まだ半年。本当の五十嵐さんとは、どのようなものなのでしょう。これからの成長と、変身ぶりに期待半分、怖さ半分です。

しかし、たとえどんな五十嵐さんにも私たちは付いていって、強くなります!

水球 追い出しコンパ

2月20日金曜日。梅田にて行いました。

一次会に畠山先輩、二次会に宮崎先輩に参加していただきました。病み上がりなのに来てくれた畠山先輩、名古屋からきてくれた宮崎先輩、ありがとうございました!!

西澤さんが乗船中のため一次会のみで参加でした。

幹事は林君。BIGMAN前からお店まで30分かけて迷子になりつつ連れまわされたのは良い思い出のはず…。



一次会はコース料理。順調にありますがつぶれて、一次会だけで4回生にプレゼントを渡しました。恒例の寄せ書きボールと、今年は一人ずつ違うものを選びました。4回生1人に1回生1人(2人)を選びました。

古谷さん←ハム(田中)・アリマ(有馬)ブーさんの着ぐるみ。

剛さん←わっきー(大脇) 巨大ヨーグル、携帯用バナナケース、バナナの灰皿、ヨーグルトが食べやすいスプーン。

司馬さん←カズ(林) 名刺入れ、

キーケース。

西澤さん←丸(藤丸) 英語版ドラゴンボール、「翔」ジグソーパズル。

西澤さんから現役はお手紙いただきました。アリマは次の日にポケットに入っている手紙に気付いて感激したらしいですよ。



二次会にて、宮崎先輩登場。1回生最後の砦であるわっきーが潰れていました。始めて見ました。

二次会もがっつりとコース料理で刺身がおいしかったです。

まさかのわっきーに加えて定番のアリマ、二次会はほぼ寝ている、まあさん(井上さん)の三人が爆睡している中、宮崎さんの仕事の話をかかせていただいたり、とてもなごやか。追いコンなのにしんみりとすることなく、さらに追いコンなのに4回生に1回生の世話をしてもらって、追いコンらしさのない追いコンになってしまいましたが、4回生の皆さん楽しんでいただけたでしょうか？

神大水泳部競泳面〇〇ランキング

酒乱 1位 吉田 楽 2位 蘆田佑加 森田有美子 3位 吉田 俊 番外編 末森香織	大食いな人 1位 稲垣喜裕 2位 横尾 晋 3位 廣瀬浩明 森田有美子	栄養士メニュー以外 頼みなさそうな人 1位 段野光宏 2位 安福拓斗 3位 渡辺祥子
水着が似合う人 1位 横尾 晋 2位 段野光宏 3位 吉田 楽	制服が似合いそうな人 1位 櫻田侑佑 2位 五十嵐遥香 3位 北野菜緒	ベストジャージスト賞 1位 加藤 優 2位 横尾 晋 稲垣喜裕
オシャレな人 1位 櫻田侑佑 2位 横尾 晋 3位 五十嵐遥香	メガネが似合う人 1位 吉田 楽 2位 横尾 晋 3位 廣瀬浩明	姿勢がいい人 1位 安福拓斗 2位 段野光宏
長生きしそうな人 1位 安福拓斗 2位 大園沙央里 3位 廣瀬浩明 番外編 土方了輝	じいさんばあさんになっ ても泳いでそうな人 1位 段野光宏 2位 横尾 晋 稲垣喜裕 3位 蘆田佑加 番外編 土方了輝	将来大富豪になりそうな人 1位 廣瀬浩明 2位 櫻田侑佑 3位 北野菜緒 田畑直紀 吉田 楽 五十嵐遥香
ちよいワルな人 1位 安福拓斗 2位 稲垣喜裕 3位 櫻田侑佑 廣瀬浩明	オチャメな人 1位 横尾 晋 2位 五十嵐遥香 3位 段野光宏 櫻田侑佑	癒しキャラ 1位 北野菜緒 2位 澤池紀明 3位 五十嵐遥香 廣瀬浩明 番外編 本間先生
ぬいぐるみを抱いて 寝てそうな人 1位 蘆田佑加 2位 五十嵐遥香 番外編 土方了輝	バナナの似合う人 1位 段野光宏 2位 安福拓斗 3位 横尾 晋 稲垣喜裕	旅に出そうな人 1位 安福拓斗 2位 廣瀬浩明 3位 横尾 晋
第一印象と実際が 違った人 1位 段野光宏 2位 須藤 茜 3位 加藤 優 五十嵐遥香 森田有美子	10年後、かわってそうな人 1位 澤池紀明 2位 廣瀬浩明 3位 横尾 晋 蘆田佑加 井谷和加奈 安福拓斗	実は計算高そうな人 1位 五十嵐遥香 2位 澤池紀明
		痩せた人 1位 廣瀬浩明

動物に好かれそうな人 1位 横尾 晋 2位 澤池紀明 3位 北野菜緒 安福拓斗 吉田 俊 番外編 土方了輝	ペットにしたい人 1位 吉田 俊 2位 澤池紀明 3位 五十嵐遥香 櫻田侑佑 廣瀬浩明	笑顔が素敵な人 1位 北野菜緒 吉田 楽 井谷和加奈 安福拓斗 2位 横尾 晋 加藤 優 段野光宏 番外編 吉岡拓磨
地元をこよなく愛してそうな人 1位 横尾 晋 2位 渡辺祥子 3位 飛田陽祐 安福拓斗	ぶっとびランキング 1位 段野光宏 2位 廣瀬浩明 3位 安福拓斗	腹黒い人 1位 五十嵐遥香 2位 吉田 楽 番外編 吉岡拓磨
イケメン(男) 1位 櫻田侑佑 2位 吉田 楽 3位 段野光宏 稲垣喜裕	可愛い人(女) 1位 五十嵐遥香 2位 北野菜緒 3位 臼井景子 森田有美子	手を繋ぎたい人 1位 北野菜緒 2位 五十嵐遥香 番外編 吉岡拓磨
好感度(総合) 1位 安福拓斗 2位 横尾 晋 3位 加藤 優 北野菜緒 段野光宏 大園沙央里	好感度(女) 1位 北野菜緒 2位 大園沙央里 3位 森田有美子	好感度(男) 1位 安福拓斗 2位 吉田 楽 3位 横尾 晋
可愛い人に目がなさそうな人 1位 横尾 晋 2位 吉田 俊 3位 廣瀬浩明	イケメンに目がなさそうな人 1位 森田有美子 2位 蘆田佑加	自由人 1位 櫻田侑佑 2位 飛田陽祐 3位 段野光宏
カラオケでマイクを離しそうにない人 1位 吉田 俊 2位 櫻田侑佑 廣瀬浩明 3位 横尾 晋	いつもホットペッパーが靴に入ってそうな人 1位 吉田 俊 2位 廣瀬浩明 3位 田畑直紀 吉田 楽 安福拓斗	将来(いろんな意味で)テレビに出そうな人 1位 段野光宏 2位 櫻田侑佑 廣瀬浩明 安福拓斗 吉田 俊 田畑直紀 3位 田畑直紀

テレビに向かってツッコミを入れてそうな人 1位 吉田 俊 2位 段野光宏	実はSな人 1位 五十嵐遥香 2位 吉田 楽 3位 北野菜緒	どう見てもMな人 1位 横尾 晋 2位 蘆田佑加 3位 安福拓斗
講義中に寝たことがなさそうな人 1位 安福拓斗 2位 大園沙央里	キャラが濃い人 1位 段野光宏 廣瀬浩明 2位 田畑直紀	ギャップの激しい人 1位 吉田 楽 2位 五十嵐遥香 3位 段野光宏
Fly といえば？ 1位 横尾 晋	Bk といえば？ 1位 櫻田侑佑 2位 渡辺祥子	Br といえば？ 1位 吉田 俊 2位 段野光宏 番外編 吉岡拓磨
Fr といえば？ 1位 段野光宏 2位 加藤 優 3位 田畑直紀 番外編 土方了輝	IM といえば？ 1位 吉田 楽	将来家に プールつくりそうな人 1位 段野光宏 2位 井谷和加奈 櫻田侑佑
X'mas に1人で泣いてそうな人 1位 森田有美子 2位 稲垣喜裕 廣瀬浩明 吉田 俊	深夜の牛井屋に1人でいてそうな人 1位 田畑直紀 2位 櫻田侑佑 3位 横尾 晋 吉田 楽 廣瀬浩明	泳いでるとき男前ランキング 1位 横尾 晋 櫻田侑佑 2位 段野光宏 吉田 楽 3位 井谷和加奈 番外編 土方了輝
一見人が良さそうに見える人 1位 横尾 晋 2位 澤池紀明 3位 吉田 楽 安福拓斗 吉田 俊	一見頭が悪そうに見える人 1位 櫻田侑佑 2位 廣瀬浩明 3位 段野光宏 蘆田佑加	昨シーズン1番活躍した人 1位 櫻田侑佑 2位 田畑直紀 段野光宏 井谷和加奈 廣瀬浩明 番外編 土方了輝
乙女な男の子 1位 櫻田侑佑 吉田 俊 2位 安福拓斗 3位 横尾 晋 吉田 楽	男前な女の子 1位 加藤 優 2位 井谷和加奈 3位 森田有美子 番外編 末森香織	カッパっぽい人 1位 吉田 俊 2位 澤池紀明 3位 吉田 楽
部内一番の盛り上げ役 1位 段野光宏 2位 廣瀬浩明 吉田 俊	シャイな人 1位 安福拓斗 2位 横尾 晋 3位 古川真子	変人 1位 田畑直紀 2位 段野光宏 森田有美子 蘆田佑加

水泳部全体の追い出しコンパ(2009年3月21日)

Photo Report

撮影・文: 得丸 哲志・昭46

追い出しコンパは、即ち凌泳会の卒業生会員としての第一歩! という趣旨で、先輩方も参加しての大々的な追いコンが「阜蘭」で賑々しく開催されました。卒業オメデトウ。卒業後は応援に来てください。



【平成20年度 水泳部活動報告】

年間競技カレンダー

4月	13日(日)	競泳	関西学生春季短水路公認記録会	奈良県営屋内プール	
6月	1日(日)	競泳	関西学生夏季公認記録会	高槻市民プール	
	7日(土) 8日(日)	水球	関西水球オープンリーグ	大阪市立大学プール	
	14日(土)	競泳	石川学生選手権★	白山市松任総合運動公園室内プール	
	21日(土) 22日(日) 28日(土) 29日(日)	水球	関西学生春季リーグ	大阪市立大学プール	
	29日(日)	競泳	兵庫県学生選手権退会	神戸市立ポートアイランドスポーツセンター	
	7月	5日(土) 6日(日)	競泳	関西国公立大学選手権水泳競技大会	神戸市立王子スポーツセンター
		12日(日)	競泳・水球	大阪市立大学神戸大学定期戦	大阪市立大学プール
25日(金) ～27日(日)		競泳	関西学生選手権水泳競技大会	なみはやドーム	
8月	2日(土) 3日(日)	水球	西日本選手権	京都大学プール	
	8日(金) 9日(土)	競泳	全国国公立大学選手権水泳競技大会	福岡市立総合西市民プール	
	9日(土) 10日(月) 16日(土) 17日(日)	水球	関西学生水球秋季戦	京都大学プール 大阪市立大学プール	
	21日(木) 22日(金)	競泳	近畿地区国立大学体育大会	神戸市立ポートアイランドスポーツセンター	
	23日(土) 24日(日)	水球	関西学生水球秋季戦	大阪市立大学プール	
	31日(日)	競泳・水球	旧三商大戦	一橋大学プール	
	9月	5日(金) ～7日(日)	競泳	日本学生選手権競泳大会★	東京辰巳国際水泳場
18日(木) ～21日(日)		水球	日本学生選手権水球大会★	相模原市立総合水泳場他	
12月	7日	競泳	関西学生冬季公認記録大会★	京都アクアリーナ	
09年	17日(土)	水球	なみはや館長杯	なみはやドーム	
1月	18日(日)				
2月	28日(土)	競泳	関西学生春季室内選手権★	大阪水泳学校長吉校	

★印の結果は未掲載

関西学生春季短水路公認記録会

2008年4月13日・奈良県営屋内プール

3月に丹波篠山で行われた強化合宿後初めての公式試合。久しぶりのレースは、合宿での厳しい練習に耐え抜いたことのでついた力を発揮し、肉体的にも精神的にも成長した姿を見せるためのいい機会となった。2カ月後に控えた夏季公認に向けて、感覚を大切にしたいレースを心がけた。

■女子400m自由形	■男子100m自由形	■男子200m平泳ぎ
今村可奈 4'39"92	段野 光宏 55"87	吉岡 拓磨 2'35"78
■男子400m自由形	田畑 直紀 58"28	■男子200m背泳ぎ
槇尾 晋 4'20"43	■男子400m個人メドレー	芝井 隆 2'30"20
■男子100m平泳ぎ	吉田 楽 4'56"44	■女子200m自由形
吉岡 拓磨 1'11"33	■男子1500m自由形	今村 可奈 2'12"92
■男子100m背泳ぎ	土方 了輝 17'39"09	末森 香織 2'32"20
芝井 隆 1'09"49	■女子50m自由形	■男子200m自由形
■女子100m自由形	加藤 優 31"36	段野 光宏 1'59"92
加藤 優 1'08"69	澄川優美子 36"17	槇尾 晋 2'01"92
末森 香織 1'09"95	松尾 友美 39"85	土方 了輝 2'03"77
澄川優美子 1'20"20	■男子50m自由形	吉田 楽 2'06"51
松尾 友美 1'26"22	田畑 直紀 26"92	

平成20年度 凌泳誌編集ミーティング(2008年4月5日)

Photo Report

撮影・文:得丸 哲志・昭46

ちょうどこの頃、北野前主将、飛田主務、得丸副会長、長谷川幹事長、川本編集担当幹事が集まり、凌泳誌前号の編集ミーティングで最終調整が行なわれました。



関西学生夏季公認記録会

2008年6月1日・高槻市民プール

チーム目標“ベスト率 100%”を掲げ、準備万端で臨んだ試合、夏季公認。インカレや全国公の制限タイムの突破を目標とする選手も多く、記録にこだわった試合となった。ベストは更新したものの目標としていたタイムに届かず、満足していない選手も見受けられたが、ほとんどの選手がベストを更新し、これから戦い抜いていく夏にむけて良いスタートを切ることができた。

■男子400mフリースタイル

櫻田・吉岡・土方・田畑
失格

■50m自由形

加藤 優 30"27
末森 香織 31"03
蘆田 佑加 32"06
澄川優美子 35"23
畠山 紗穂 35"39
松尾 友美 36"13
森田有美子 36"71
井谷和加奈 37"41
須藤 茜 37"68
大園沙央里 40"47
小松 寧恵 56"72
古川 真子 失格

■男子50m自由形

田畑 直紀 26"11
飛田 陽祐 26"20
段野 光宏 27"17
吉田 楽 27"48
安福 拓斗 27"76
横尾 晋 28"50
稲垣 喜裕 31"36
廣瀬 浩明 39"21

■男子200m背泳ぎ

櫻田 侑佑 2'11"73

■男子100m平泳ぎ

吉岡 拓磨 1'09"57
吉田 俊 1'14"40

■男子200m自由形

段野 光宏 1'56"79
横尾 晋 1'59"23
土方 了輝 2'01"08

■女子100m背泳ぎ

渡辺 祥子 1'16"46

■男子200m背泳ぎ

櫻田 侑佑 1'02"13
芝井 隆 1'07"13

■女子100m自由形

末森 香織 1'06"72
加藤 優 1'06"95
蘆田 佑加 1'10"94
澄川優美子 1'15"85
畠山 紗穂 1'18"79
松尾 友美 1'20"20
須藤 茜 1'23"67

■男子100m自由形

田畑 直紀 56"84
吉田 楽 58"99
安福 拓斗 1'00"67

■男子800mフリースタイル

土方・段野・吉田楽・横尾
7'50"44

関西水球オープンリーグ

2008年6月7日・8日・大阪市立大学プール

今シーズン初めての学生の大会で、一回生にとってはまだ二回目の試合でした。スタメンに一回生を二人入れなければ人数が揃わない、消して易しい条件ではないですが今シーズンの目標は飽くまでもインカレ出場!そのために一回生に経験を積ませるため一回生5人をローテーションで出場しました。

一回生達は得点できなかったものの6試合中4試合を関西の大学と戦い、実際に試合の雰囲気を感じられました。

vs 北陸大学(6月7日)

	1	2	3	4	計	得点者	北野1 西澤2 嶋彦2 司馬2
神大	3	4			7		
北陸	1	0			1	退水	

vs 名古屋大学(6月7日)

	1	2	3	4	計	得点者	北野1 西澤1 司馬1
神大	2	1			3		
名大	1	1			2	退水	

vs 大阪市立大学(6月7日)

	1	2	3	4	計	得点者	西澤1 北野1 嶋彦1
神大	0	1			1		
市大	4	3			7	退水	

vs 大阪府立高専(6月8日)

	1	2	3	4	計	得点者	西澤3 北野1 藤丸1
神大	1	2			3		
高専	0	1			1	退水	

vs 京都大学(6月8日)

	1	2	3	4	計	得点者	西澤1 司馬1
神大	0	0			0		
京大	1	0			1	退水	

vs 大阪大学(6月8日)

	1	2	3	4	計	得点者	西澤2 嶋夢1
神大	1	2			3		
阪大	5	1			6		

総合成績(全14チーム)

1位 弦泳会A

2位 なみはやクラブ

3位 大阪市立大学

4位 神戸水球クラブ

関西学生水球春季戦

2008年6月21日・22日・28日・29日・大阪市立大学プール

インカレのかかった秋リーグの前哨戦、シーズン最初の8分×4ピリオドの試合。

各チームとも水温の上昇に伴い成長していく。我が神大も例外ではない。上回生・経験者で固められた他のチームより見劣りはするが弱音を吐いても始まらない！ 目標は「関西国公立一位」なのだから！ せつかくの8分×4ピリオド、毎試合何かを得ていこうと意気込んだ。

対戦相手は関西連合、立命館、そして秋に倒すべき京都大学・大阪大学だった。春季リーグのチームの総得点17点のうち15点が4回生によるものであった。逆に退水は6/19が4回生。4回生以外の決定力の無さとディフェンスの不安定さが露呈した結果となった。

しかし、悪いところばかりではなく1回生の大脇、藤丸が初得点を挙げることもできた。春季リーグは6位で幕を閉じたが、本番まで1ヵ月半、伸びしろはチーム構成が若いため充分にある。

ディフェンス、スタミナを特に鍛えていこう！

vs 関西連合(6月21日)

	1	2	3	4	計	得点者	西澤1 嶋夢1 司馬3
神大	2	1	1	1	5		
関連	1	2	3	2	8		

vs 立命館大学(6月22日)

	1	2	3	4	計	得点者	西澤2
神大	1	0	0	1	2		
立命	4	10	7	4	25	退水	西澤2 有馬1

vs 京都大学(6月28日)

	1	2	3	4	計	得点者	西澤1 嶋夢1 司馬3 大脇1 藤丸1
神大	3	2	1	1	7		
京大	1	2	4	3	10	退水	北野2 司馬1 大脇2 藤丸1 林1

vs 大阪大学(6月29日)

	1	2	3	4	計	得点者	西澤2 司馬1
神大	1	0	1	1	3		
阪大	5	4	4	4	17	退水	北野1 西澤1 藤丸3

総合成績(全8チーム)

- 1位 立命館大学
- 2位 関西学院大学
- 3位 大阪市立大学
- 4位 京都大学

- 5位 大阪大学
- 6位 神戸大学
- 7位 大阪府立高専
- OPEN 関西連合

MVP

格谷康平(立命館大学)
30 得点



Photo 時計(海事プール)

兵庫学生選手権水泳競技大会

2008年6月29日・神戸市立ポートアイランドスポーツセンター

シーズン初の長水でのレース。これから迎える関西国公立、関西学生、全国国公立といった点数がからむ試合に向けて、専門外の種目に挑戦したり、長水の変化を掴むことを意識したりと、今シーズンの第一歩を踏み出した。また、メガホンを使っての本格的な応援も始まり、チーム全体に活気が感じられた。

■女子400mメドレーリレー

1位 武庫川女子大	4'24"68
	大会新
2位 関西学院大	4'50"21
3位 神戸学院大	5'05"41
7位 神戸薬科大学	
長谷川・大園・末森・森田	5'47"94

■男子400mメドレーリレー

1位 関西学院大	4'03"61
2位 甲南大	4'05"28
3位 神戸学院	4'15"10
4位 神戸大	
櫻田・吉岡・横尾・土方	4'18"36

■女子800m自由形

1位 加藤 直(武庫川女子)	9'19"47
2位 金澤 彩(武庫川女子)	9'22"94
3位 尾崎知恵(流通科学)	9'37"59

■男子1500m自由形

1位 前野遼二(甲南大学)	16'44"24
2位 安本直樹(神戸学院)	17'29"03
3位 横尾 晋(神戸大学)	17'58"89
4位 安福拓斗(神戸大学)	20'50"85

■女子200m個人メドレー

1位 植田 彩(武庫川女子)	2'24"74
2位 近藤亜沙美(武庫川女子)	2'31"04
3位 金澤裕美(神戸学院)	2'49"95

■男子200m個人メドレー

1位 田島 初(関西学院)	2'20"16
2位 中村健太郎(甲南大学)	2'20"76
3位 吉田 楽(神戸大学)	2'24"14

■女子50m自由形

1位 毛利早希(武庫川女子)	27"78
2位 山本みどり(武庫川女子)	27"82
3位 伊藤鈴香(武庫川女子)	28"76
4位 加藤 優(神戸大学)	30"60
予選落ち 須藤 茜	36"87
予選落ち 小松寧恵	48"69
予選落ち 松尾友美	35"72
予選落ち 澄川優美子	35"86
予選落ち 井谷和加奈	36"62
予選落ち 森田有美子	38"81
予選落ち 大園沙央里	39"41
OPEN 古川真子	45"20

■男子50m自由形

1位 久米 亮(関西学院)	24"87
2位 香川裕貴(関西学院)	25"20
3位 小禄良祐(関西学院)	25"22
予選落ち 田畑直紀	26"39
予選落ち 稲垣喜裕	32"11
予選落ち 廣瀬浩明	42"65

棄権 飛田陽祐

■女子100mバタフライ

1位 阪口奈津希(武庫川女子)	1'03"60
2位 赤澤綾子(武庫川女子)	1'04"98
3位 川島正江(神戸外大)	1'09"87

■男子100mバタフライ

1位 山崎直樹(甲南大学)	57"53
2位 清田大介(関西学院)	57"59
3位 野田 健(流通科学)	58"19

■女子200m背泳ぎ

1位 鷗川敬子(武庫川女子)	2'20"21
2位 山口公子(神戸学院)	2'29"78
3位 長谷川真帆(武庫川女子)	2'31"25
8位 渡辺祥子(神戸大学)	2'50"28

■男子200m背泳ぎ

1位 多田匠吾(関西学院)	2'07"92
2位 田島 初(関西学院)	2'10"76
3位 縄田 岳(関西学院)	2'14"64
5位 櫻田侑佑(神戸大学)	2'18"70
予選落ち 芝井 隆	2'34"95

■男子200m自由形

1位 赤澤寛幸(関西学院)	1'57"12
2位 竹内悠太(関西学院)	1'57"68
3位 水木康介(甲南大学)	1'58"72

■女子200m自由形

1位 須斉彩子(武庫川女子)	2'13"01
2位 八塚晶代(武庫川女子)	2'13"09
3位 佐藤美レイ(武庫川女子)	2'13"24
6位 末森香織(神戸薬科)	2'30"62
8位 蘆田祐加(甲南女子)	2'32"36

棄権 今村可奈

■女子100m平泳ぎ

1位 阿部 薫(武庫川女子)	1'14"14	大会新
2位 西田早織(関西学院)	1'15"74	
3位 中原麻貴(神戸学院)	1'30"23	

■男子100m平泳ぎ

1位 三浦翔太(関西学院)	1'07"56
2位 平田直紀(関西学院)	1'07"59
3位 山下健斗(関西学院)	1'09"09
5位 吉田 俊(神戸大学)	1'13"74
予選落ち 吉岡拓磨	1'15"86

■女子400m自由形

1位 須斉彩子(武庫川女子)	4'36"91
2位 加藤 直(武庫川女子)	4'38"97
3位 尾崎智恵(流通科学)	4'42"81

■男子400m自由形

1位 水木康介(甲南大学)	4'10"75	大会タイ
2位 赤澤寛幸(関西学院)	4'11"06	
3位 安本直樹(神戸学院)	4'23"63	
4位 段野光宏(神戸大学)	4'31"28	
6位 安福拓斗(神戸大学)	5'14"31	

■女子200mフリーリレー

1位 武庫川女子大学	1'51"52
2位 神戸市外国語大学	2'07"06
3位 神戸学院大学	2'09"73
7位 神戸薬科大学	
末森・森田・大園・長谷川	2'21"55

予選落ち 甲南女子大学	
蘆田・井谷・松尾・古川	2'29"64
失格 神戸大学	
渡辺・須藤・小松・加藤	

■男子400mフリーリレー

1位 関西学院大学	3'40"09
2位 甲南大学	3'45"20
3位 神戸大学	
土方・田畑・吉田楽・横尾	3'49"97

■女子400m個人メドレー

1位 植田 彩(武庫川女子)	5'03"74
大会新	

■男子400m個人メドレー

1位 前野遼二(甲南大学)	4'46"17
2位 藤原賢二(関西学院)	4'49"26
3位 古川公太(神戸学院)	4'58"14
5位 土方了輝(神戸大学)	5'01"27
6位 吉田 楽(神戸大学)	5'12"26

■女子200mバタフライ

1位 阪口奈津希(武庫川女子)	2'17"34
大会新	
2位 鞍田奈緒(武庫川女子)	2'21"13
3位 川島正江(神戸外大)	2'43"34

■男子200mバタフライ

1位 松本卓也(関西学院)	2'08"32
2位 山崎直樹(甲南大学)	2'13"74
3位 中野隆宣(流通科学)	2'14"66
4位 横尾 晋(神戸大学)	2'17"86

■女子100m背泳ぎ

1位 長谷川真帆(武庫川女子)	1'08"50
2位 山口公子(神戸学院)	1'09"73
3位 寺脇佳子(関西学院)	1'12"36
5位 渡辺祥子(神戸大学)	1'20"04

■男子100m背泳ぎ

1位 多田匠吾(関西学院)	58"74
2位 入江一気(関西学院)	1'02"00
3位 縄田 岳(関西学院)	1'02"26
5位 櫻田侑佑(神戸大学)	1'05"95
予選落ち 芝井 隆	1'11"01
予選落ち 飛田陽祐	1'12"45

■女子200m平泳ぎ

1位 阿部 薫(武庫川女子)	2'39"48
2位 中原麻貴(神戸学院)	3'15"81
3位 永田 萌(甲南大学)	3'18"61

■男子200m平泳ぎ

1位 浦川貴史(関西学院)	2'27"78
2位 山本 譲(関西学院)	2'28"99
3位 山下健斗(関西学院)	2'30"48
7位 吉田 俊(神戸大学)	2'44"78
8位 吉岡拓磨(神戸大学)	2'48"29

■女子100m自由形

1位	八塚晶代(武庫川女子)	1'02"11
2位	佐藤美レイ(武庫川女子)	1'03"66
3位	米井理絵(武庫川女子)	1'04"37
5位	加藤 優(神戸大学)	1'07"85
予選落ち	末森香織	1'09"35
予選落ち	蘆田佑加	1'12"68
予選落ち	澄川優美子	1'18"01
予選落ち	松尾友美	1'23"02
棄権	畠山紗穂	

■男子100m自由形

1位	久米 亮(関西学院)	53"67
2位	竹内悠太(関西学院)	53"98
3位	小禄良祐(関西学院)	54"01
予選落ち	田畑直紀	58"17
予選落ち	稲垣喜裕	1'20"49

■女子400mフリーリレー

1位	武庫川女子大学	4'05"34
2位	関西学院大学	4'21"00
3位	甲南大学	4'38"58
8位	甲南女子大学	
	今村・澄川・松尾・蘆田	4'58"82
予選落ち	神戸薬科大学	
	長谷川・森田・大園・末森	5'20"40

■男子800mフリーリレー

1位	関西学院大学	8'00"63
2位	甲南大学	8'09"76
3位	神戸学院大学	8'24"18
4位	神戸大学	
	土方・櫻田・吉田・榎尾	8'34"05

関西国公立大学選手権水泳競技大会

2008年7月5日・6日・なみはやドーム

男子は全国公団体権獲得を掲げ、部員が少ない女子は決勝進出、自己ベストを目指し、チームに勢いを与えようとレースに臨んだ。1日目が終了した時点での男子の順位はまさかの6位であったが、2日目も「絶対に諦めない」「1点でも多く」と一人一人が食欲にレースに挑んだ。しかし、4位とわずか3点差で団体権獲得を逃すという、悔しさの残る結果となった。

■女子200m自由形

1位	吉原千晶(大教大)	2'06"74
	大会新	
2位	青木真衣(奈良女子)	2'20"05
3位	藤原杏奈(大阪大学)	2'20"94

■男子200m自由形

1位	山本宗幸(大教大)	2'00"09
2位	土方了輝(神戸大学)	2'02"05
3位	高木祥一(大阪大学)	2'02"14
予選落ち	段野光宏	2'06"27

■女子400m個人メドレー

1位	片山めぐみ(京都工繊)	5'34"02
2位	清原温子(大阪大学)	5'41"24
3位	松原由季(京都教育)	5'51"48

■男子400m個人メドレー

1位	玉木壽成(大教大)	4'40"71
		大会新
2位	南 勇貴(大阪大学)	4'43"95
3位	繆 尚樹(大教大)	4'56"56
8位	吉田 楽(神戸大学)	5'10"33

■女子50m自由形

1位	上田千歳(大教大)	27"29
2位	山内 紘(大阪大学)	27"65
3位	大高知子(大阪府大)	29"07
6位	加藤 優(神戸大学)	30"17
予選落ち	須藤 茜	36"82
予選落ち	小松 寧恵	47"96

■男子50m自由形

1位	瀧下雄大(大阪大学)	24"23
2位	久留慎太郎(大阪大学)	25"06
3位	東島 遼(和歌山大)	25"17
予選落ち	飛田陽祐	27"32
予選落ち	田畑直紀	26"57
予選落ち	安福拓斗	28"78

■女子200mバタフライ

1位	川西英里香(大教大)	2'21"87
2位	園田玲子(大教大)	2'28"81
3位	松山千尋(京都大学)	2'32"30

■男子200mバタフライ

1位	青木雄大(京都大学)	2'13"04
2位	松井勇大(奈良教育)	2'13"32
3位	槇尾 晋(神戸大学)	2'13"42

■女子200m背泳ぎ

1位	小林真弓(大教大)	2'41"06
2位	早川友紀(神戸外大)	2'43"79
3位	山崎絵理(京都大学)	2'44"03
6位	渡辺祥子(神戸大学)	2'51"45

■男子200m背泳ぎ

1位	山崎陽平(大教大)	2'12"29
2位	長尾和明(大阪大学)	2'16"14
3位	櫻田侑佑(神戸大学)	2'16"72
予選落ち	芝井 隆	2'37"97

■女子200m平泳ぎ

1位	津田沙穂里(大教大)	2'49"04
2位	松原彩香(京都大学)	2'50"53
3位	坂本佳奈(滋賀大学)	2'54"05

■男子200m平泳ぎ

1位	百瀬弘祐(大教大)	2'24"62
2位	森田直樹(京都大学)	2'25"49
3位	逢坂敏裕(大阪府大)	2'25"81
予選落ち	吉田 俊	2'40"84
予選落ち	吉岡拓磨	2'46"53

■女子200mフリーリレー

1位	大阪教育大学	1'53"95
2位	大阪大学	1'57"15
3位	京都大学	1'59"90

■男子400mフリーリレー

1位	大阪大学	3'34"78
2位	和歌山大学	3'45"53
3位	大阪府立大学	3'54"22

■女子400mメドレーリレー

1位	大阪教育大学	4'48"29
2位	京都大学	4'53"72
3位	大阪大学	4'59"66

■男子400mメドレーリレー

1位	大阪大学	3'57"65
2位	大阪教育大学	4'00"78
3位	京都大学	4'06"12

5位 神戸大学

櫻田・吉田俊・横尾・土方	4'12"73
--------------	---------

■女子200m個人メドレー

1位	松原彩香(京都大学)	2'35"81
2位	片山めぐみ(京都工織)	2'37"65
3位	清原温子(大阪大学)	2'41"73

■男子200m個人メドレー

1位	玉木壽成(大教大)	2'12"06
	大会新	
2位	南 勇貴(大阪大学)	2'13"67
	大会新	

3位	金光啓祐(京都大学)	2'16"51
予選落ち	吉田 楽	2'23"08
予選落ち	飛田陽祐	2'36"67

■女子400m自由形

1位	吉原千晶(大教大)	4'27"27
	大会新	
2位	藤原杏奈(大阪大学)	4'57"31
3位	馬場景子(和歌山大)	5'02"49

■男子400m自由形

1位	山本宗幸(大教大)	4'15"50
2位	土方了輝(神戸大学)	4'21"62
3位	高木祥一(大阪大学)	4'21"65
5位	横尾 晋(神戸大学)	4'23"20
予選落ち	安福拓斗	5'08"35

■女子100m自由形

1位	山内 紘(大阪大学)	1'00"45
2位	青木真衣(奈良女子)	1'04"25
3位	倉井奈緒子(兵庫県立)	1'04"39
7位	加藤 優(神戸大学)	1'07"88
予選落ち	須藤 茜	1'22"57

■男子100m自由形

1位	金光良祐(京都大学)	53"48
2位	久留慎太郎(大阪大学)	53"91
3位	團 秀隆(大阪市大)	55"77
4位	段野光宏(神戸大学)	56"18
予選落ち	田畑直紀	58"72

■女子100mバタフライ

1位	川西英里香(大教大)	1'04"66
	大会新	
2位	園田玲子(大教大)	1'06"37
3位	川島正江(神戸外大)	1'08"01

■男子100mバタフライ

1位	松井勇大(奈良教育)	58"43
2位	立入啓浩(京都大学)	59"79
3位	重松真太郎(和歌山大)	1'00"43

■女子100m平泳ぎ

1位	津田沙穂里(大教大)	1'17"67
2位	川上紗季(大教大)	1'19"84
3位	坂本佳奈(滋賀大学)	1'22"00

■男子100m平泳ぎ

1位 瀧下雄大(大阪大学)	1'05"26
	大会新
2位 百瀬弘祐(大教大)	1'06"38
	大会新
3位 坂本龍也(大教大)	1'07"10
	大会新
予選落ち 吉岡拓磨	1'15"58
予選落ち 吉田 俊	1'13"95

■女子100m背泳ぎ

1位 上田千歳(大教大)	1'08"63
2位 小林真弓(大教大)	1'13"89
3位 大高知子(大阪府大)	1'16"57
予選落ち 渡辺祥子	1'18"85

■男子100m背泳ぎ

1位 山崎陽平(大教大)	59"91
2位 長尾和明(大阪府大)	1'01"85
3位 浜中志郎(大阪大学)	1'02"28
4位 櫻田侑佑(神戸大学)	1'03"43
予選落ち 芝井 隆	1'12"53

■女子400mフリーリレー

1位 大阪教育大学	4'05"90
2位 大阪大学	4'20"93
3位 京都大学	4'22"71

■男子800mフリーリレー

1位 大阪教育大学	8'00"12
2位 大阪大学	8'03"75
3位 京都大学	8'08"95
4位 神戸大学	
土方・段野・吉田楽・横尾	8'20"47

大阪市立大学神戸大学定期戦

2008年7月12日・大阪市立大学プール

昨年は台風で延期になるというハプニングがあった市大戦だが、今年は快晴の空の下、大阪市立大学のプールで開催された。猛暑の中、太陽に照らされながらの入水に慣れていないためか、体調不良者続出でどうなることかと思われたが、無事に総合優勝を成し遂げ、優勝カップを奪還することができた。



【競泳】

■400mメドレーリレー

1位 神戸大学A	
櫻田・吉田俊・横尾・段野	4'24"19
3位 神戸大学B	
渡辺・吉岡・吉田楽・加藤	4'57"56
OPEN 神戸大学C	
澤池・稲垣・芝井・廣瀬	5'18"22
OPEN 神戸大学D	
井谷・大園・飛田・小松	5'55"66

■800m自由形

2位 吉田 楽	10'21"96
3位 田畑直紀	10'47"10
4位 安福拓斗	10'54"66
OPEN 蘆田 佑加	11'34"89

■200m背泳ぎ

1位 櫻田侑佑	2'30"41
3位 芝井 隆	2'43"21
6位 渡辺祥子	2'58"23

■200mバタフライ

1位 横尾 晋	2'24"69
2位 段野光宏	2'31"82
4位 芝井隆	2'48"47

■200m平泳ぎ

3位 吉田 俊	2'48"16
4位 吉岡拓磨	2'53"43
6位 飛田陽祐	2'59"61
OPEN 大園沙央里	3'46"58
OPEN 澤池紀明	3'47"49
OPEN 小松寧恵	4'38"25
棄権 須藤 茜	
棄権 稲垣喜裕	

■200m個人メドレー

2位 櫻田侑佑	2'28"90
3位 吉田 楽	2'33"30
5位 吉岡拓磨	2'40"18
OPEN 吉田 俊	2'42"98
OPEN 芝井 隆	2'44"00
OPEN 澄川優美子	3'32"62
OPEN 松尾友美	3'57"89

棄権 田畑 直紀

棄権 渡辺 祥子

■100m自由形

1位 田畑直紀	1'00"21
2位 飛田陽祐	1'04"30
6位 加藤 優	1'17"71
OPEN 澄川優美子	1'23"70
OPEN 井谷和加奈	1'27"44
OPEN 森田有美子	1'28"04
OPEN 澤池紀明	1'28"80
OPEN 松尾友美	1'32"57
OPEN 大園沙央里	1'33"33
OPEN 廣瀬浩明	1'39"49
OPEN 小松寧恵	1'59"36

棄権 須藤 茜

棄権 稲垣喜裕

棄権 古川真子

■400m自由形

1位 横尾 晋	4'37"31
2位 段野光宏	4'45"09
4位 安福拓斗	5'10"93
OPEN 蘆田佑加	5'36"84
OPEN 森田有美子	7'10"04
OPEN 井谷和加奈	7'25"00
OPEN 廣瀬浩明	8'28"40
棄権 加藤 優	
棄権 古川真子	

■800mフリーリレー

1位 神戸大学A	吉田楽・芝井・田畑・横尾	9'09"31
3位 神戸大学B	櫻田・加藤・砂留・段野	9'32"83
OPEN 神戸大学C	吉田俊・飛田・吉岡・安福	9'40"56
OPEN 神戸大学D	渡辺・松尾・澄川・蘆田	12'23"09

【水 球】



	1	2	3	4	計	得点者	司馬5 大脇1 藤丸1
神大	1	1	3	2	7		
市大	3	2	4	2	11	退水	西澤1 大脇2

【総合成績】

競泳優勝 神戸大学

水球優勝 大阪市立大学

総合優勝 神戸大学

第89回 大阪市大戦の風景

Photo Report

撮影・文：得丸 哲志・昭46

第89回神戸大学・大阪市立大学対抗水上競技大会が大阪市立大学プールにて開催されました。開会式のあと晴れわたる青空のもとで息を呑む両校の激戦がくりかえされました。



関西学生選手権水泳競技大会

2008年7月25日・26日・27日・なみはやドーム

3部降格という屈辱を味わった昨年の悔しさを胸に、3部優勝で2部昇格という目標を掲げ、挑んだ関カレ。しかし、得点は取るものの1位になることができず、優勝には遠い結果に終わってしまった。また、個人種目の2倍の得点が入るリレーで2位のチームに負けたことが響き、わずか2点差で2部昇格までも逃してしまった。

■女子50m自由形

1位	上田千歳(大教大)	27"31
2位	山内 紘(大阪大学)	27"97
3位	西澤栄里子(関西外大)	28"64
予選落ち	加藤 優	30"38
予選落ち	澄川優美子	36"02
予選落ち	井谷和加奈	36"10
予選落ち	松尾友美	36"76

棄権 畠山紗穂

■男子50m自由形

1位	四宮礼貴(関西外大)	24"75
2位	西川達也(四天王寺)	24"79
3位	奥村洸洋(関西外大)	24"99
予選落ち	田畑直紀	26"62
予選落ち	飛田陽祐	27"34

■女子400m自由形

1位	吉原千晶(大教大)	4'27"32
2位	土橋茜子(立命館)	4'29"75
3位	柴山知美(立命館)	4'34"69
予選落ち	蘆田佑加	5'21"37



■男子400m自由形

1位	本田 匠(天理大学)	4'19"26
2位	段野光宏(神戸大学)	4'21"93
3位	池永琢磨(摂南大学)	4'21"95
棄権	安福拓斗	

■女子200mバタフライ

1位	川西英里香(大教大)	2'14"89
2位	柴山直美(立命館)	2'22"65
3位	園田玲子(大教大)	2'29"90

■男子200mバタフライ

1位	柿迫春佳(大阪国際)	2'14"10
2位	麻生 恒(大阪府大)	2'17"47
3位	八田直也(摂南大学)	2'18"52

■女子200m背泳ぎ

1位	坂本奈穂(立命館)	2'21"43
2位	山口公子(神戸学院)	2'26"47
3位	田畑知美(大阪大谷)	2'26"58
予選落ち	渡辺祥子	2'52"62

■男子200m背泳ぎ

1位	三隅達也(大阪大谷)	2'20"16
2位	山脇健二(関西外大)	2'26"31
3位	家近 栄(大阪工業)	2'27"00
棄権	櫻田侑佑	

■女子100m平泳ぎ

1位	津田沙穂里(大教大)	1'16"35
2位	川上紗季(大教大)	1'18"96
3位	松原彩香(京都大学)	1'20"51

■男子100m平泳ぎ

1位	小林康人(龍谷大学)	1'05"94
2位	逢坂敏裕(大阪府大)	1'07"20
3位	山田正顕(龍谷大学)	1'07"50
8位	吉岡拓磨(神戸大学)	1'14"97

棄権 吉田 俊



■女子200mフリーリレー

1位	立命館大学	1'50"10
2位	大阪教育大学	1'50"18
3位	大阪大谷大学	1'56"48
予選落ち	甲南女子大学	
	古川・井谷・澄川・蘆田	2'25"64

■男子400mフリーリレー

1位	龍谷大学	3'44"17
2位	関西外国語大学	3'44"53
3位	神戸大学	
	土方・段野・吉田楽・横尾	3'45"31

■女子800m自由形

1位	鈴木 香(兵庫医療)	9'23"15
2位	市場 愛(立命館)	9'30"38
3位	尾崎智恵(流通科学)	9'38"87

■男子1500m自由形

1位	本田 匠(龍谷大学)	17'28"32
2位	土方了輝(神戸大学)	17'37"08
3位	横尾 晋(神戸大学)	18'03"15

■女子200m個人メドレー

1位	坂本奈穂(立命館)	2'22"61
2位	上田千歳(大教大)	2'30"50
3位	田中古都美(立命館)	2'31"75

■男子200m個人メドレー

1位	柿迫佳樹(大阪国際)	2'16"72
2位	西村翔太郎(京都産業)	2'17"08
3位	真辺高宏(龍谷大学)	2'19"24
7位	吉田 楽(神戸大学)	2'21"60
予選落ち	飛田陽祐	2'36"73



■女子100mバタフライ

1位	川西英里香(大教大)	1'03"18
2位	園田玲子(大教大)	1'05"94
3位	柴山直美(立命館)	1'06"07

■男子100mバタフライ

1位	松井勇大(奈良教育)	57"91
2位	寺嶋雄一(四天王寺)	58"72
3位	八田直也(摂南大学)	59"17

■女子200m自由形

1位	吉原千晶(大教大)	2'07"34
2位	土橋茜子(立命館)	2'09"34
3位	柴山知美(立命館)	2'12"33
5位	今村可奈(甲南女子)	2'17"36
予選落ち	蘆田佑加	2'33"76

■男子200m自由形

1位	田中健太(京都教育)	1'58"27
2位	段野光宏(神戸大学)	2'00"96
3位	濱上 晃(大阪工業)	2'02"71

■女子400mメドレーリレー

1位	立命館大学	4'25"88
2位	大阪教育大学	4'26"15
3位	大阪大谷大学	4'44"15

予選落ち 神戸薬科大学

長谷川・大園・末森・森田 5'50"03

■男子400mメドレーリレー

1位	龍谷大学	4'06"78
2位	神戸大学	4'08"48
	櫻田・段野・横尾・土方	4'08"48
3位	関西外国語大学	4'12"16

■女子400m個人メドレー

1位	平岡千裕(立命館)	5'01"53
2位	田中古都美(立命館)	5'20"19
3位	片山めぐみ(京都工織)	5'27"73

■男子400m個人メドレー

1位	真辺高宏(龍谷大学)	4'54"46
2位	土方了輝(神戸大学)	4'55"25
3位	居町敬祐(大阪国際)	4'59"31
5位	吉田 楽(神戸大学)	5'06"40

■女子100m自由形

1位 市場 愛(立命館)	1'00"36
2位 山内 紘(大阪大学)	1'00"90
3位 長峯有佐(龍谷大学)	1'02"32
6位 今村可奈(甲南女子)	1'03"62
予選落ち 加藤 優	1'06"87
予選落ち 末森香織	1'09"16
予選落ち 澄川優美子	1'18"56
予選落ち 畠山紗穂	1'21"91
予選落ち 須藤 茜	1'21"91
予選落ち 松尾友美	1'25"82

■男子100m自由形

1位 西川達也(四天王寺)	53"89
2位 田中健太(京都教育)	54"22
3位 奥村洗洋(関西外大)	54"94
予選落ち 横尾 晋	57"07
予選落ち 田畑直紀	58"11
予選落ち 安福拓斗	1'04"25
予選落ち 稲垣喜裕	1'16"34

■女子100m背泳ぎ

1位 田畑知美(大阪大谷)	1'06"82
2位 山口公子(神戸学院)	1'07"19
3位 三村佳名(大阪大谷)	1'09"04
予選落ち 渡辺祥子	1'19"44

■男子100m背泳ぎ

1位 家近 栄(大阪工業)	1'02"07
2位 櫻田侑佑(神戸大学)	1'02"69
3位 三隅達也(大阪大谷)	1'03"24
予選落ち 芝井 隆	1'12"36

■女子200m平泳ぎ

1位 平岡千裕(立命館)	2'41"07
2位 津田沙穂里(大教大)	2'47"97
3位 松原彩香(京都大学)	2'48"58

■男子200m平泳ぎ

1位 小林康人(龍谷大学)	2'22"43
2位 逢坂敏裕(大阪府大)	2'26"29
3位 山田正顕(龍谷大学)	2'29"76
6位 吉田 俊(神戸大学)	2'37"00
予選落ち 吉岡拓磨	2'46"13

■女子400mフリーリレー

1位 立命館大学	3'59"29
2位 大阪教育大学	4'06"42
3位 大阪大谷大学	4'16"97
予選落ち 甲南女子大学 今村・澄川・井谷・蘆田	4'51"83
予選落ち 神戸薬科大学 長谷川・森田・大園・末森	5'08"99

■男子800mフリーリレー

1位 大阪国際大学	8'13"02
2位 神戸大学	8'14"64
3位 龍谷大学	8'18"41



西日本選手権

2008年8月2日・3日・京都大学プール

秋リーグを来週に控えチームの緊張感も高まる中の西日本選手権。前日にテストも終わり満を持して京都へ。春リーグでは3-17で負けてしまった阪大に6-6の同点。ペナルティシュート戦で負けてしまったが上達を感じた。しかしオフェンスが多い！ 何度叫んだでしょう。水の中に声が届いたら良いのに!! 競った試合であればあるほど「試合の流れ」が試合結果に影響を与えます。オフェンスなんかで流れを悪くしている場合ではない！ 一週間みっちりボールキープ・ディフェンスの練習を行いました。いざ勝負!!

vs 大谷高校(8月2日)

	1	2	3	4	計	得点者	西澤4 嶋夢2
神大	2	2	1	1	6		
大谷	0	0	2	2	4	退水	司馬1

vs 恒泳会(8月2日)

	1	2	3	4	計	得点者	司馬2
神大	0	0	2	0	2		
恒泳会	3	4	5	3	15	退水	嶋夢1

vs 大阪大学A(8月3日)

	1	2	3	4	計	得点者	北野1 西澤2 嶋夢1 司馬2 藤丸1
神大	1	2	2	2	7		
阪大A	1	2	1	4	8	退水	北野1 西澤1

総合成績(全9チーム)

- 1位 なみはやクラブ
- 2位 CNK with Rits
- 3位 弦泳会
- 4位 恒泳会

MVP

後藤健太郎(なみはやクラブ)

全国国公立大学選手権水泳競技大会

2008年8月8日9・日・福岡市立総合西市民プール

団体権を獲得できなかったこともあり、個人種目出場者は7人と少なく、決勝に進出した者はいなかった。男子はすべてのリレー種目に出場したが、最も可能性のあった800mリレーでも決勝進出を逃した。遠方の地福岡での戦いは、残念な結果に終わってしまった。



■女子50m自由形

- 1位 湯本 杏(鹿屋体育) 26"29
- 2位 岩崎佐代子(筑波大学) 26"35
- 3位 水落夏海(筑波大学) 26"49
- 予選落ち 加藤 優 30"91

■男子50m自由形

- 1位 蛭田尚宏(筑波大学) 23"50
- 2位 加藤寛樹(東京学芸) 23"92
- 3位 瀧下雄大(大阪大学) 23"96
- 予選落ち 田畑直紀 26"31

■女子100m自由形

- 1位 水落夏海(筑波大学) 57"67
- 2位 湯本 杏(鹿屋体育) 57"97
- 3位 植田富祐美(鹿屋体育) 58"21

■男子100m自由形

- 1位 林 秀和(筑波大学) 52"10
- 2位 岡野和樹(鹿屋体育) 53"02
- 3位 金光良祐(京都大学) 53"26

■女子200m自由形

- 1位 若浪和希(鹿屋体育) 2'04"73
- 2位 吉原千晶(大教大) 2'06"01
- 3位 赤尾紗貴(筑波大学) 2'06"48

■男子200m自由形

1位 山田悠介(岡山大学)	1'51"50
	大会新
2位 西尾裕樹(筑波大学)	1'52"85
3位 佐藤雄大(鹿屋体育)	1'55"95
予選落ち 段野光宏	2'00"72
予選落ち 土方了輝	2'05"83

■女子400m自由形

1位 米永智香(鹿屋体育)	4'16"98
	大会新
2位 若浪和希(鹿屋体育)	4'17"88
3位 山崎真斗香(鹿屋体育)	4'23"51

■男子400m自由形

1位 藤田真成(筑波大学)	3'58"26
	大会新
2位 初瀬有志(鹿屋体育)	3'58"28
	大会新
3位 山田悠介(岡山大学)	4'01"16
予選落ち 榎尾 晋	4'27"26
予選落ち 土方了輝	4'30"36

■女子100m背泳ぎ

1位 有田真紀(筑波大学)	1'03"45
2位 門脇沙緒莉(岡山大学)	1'05"61
3位 石黒 彩(岡山大学)	1'05"73

■男子100m背泳ぎ

1位 阿由葉寛(筑波大学)	56"70
2位 植木拓斗(筑波大学)	58"65
3位 山崎陽平(大教大)	59"23
予選落ち 櫻田侑佑	1'03"40

■女子200m背泳ぎ

1位 有田真紀(筑波大学)	2'18"10
2位 門脇沙緒莉(岡山大学)	2'20"27
3位 石黒 彩(岡山大学)	2'21"60



■男子200m背泳ぎ

1位 阿由葉寛(筑波大学)	2'04"13
2位 植木拓斗(筑波大学)	2'06"73
3位 山崎陽平(大教大)	2'09"30
予選落ち 櫻田侑佑	2'16"02

■女子100m平泳ぎ

1位 福留尚子(鹿屋体育)	1'10"51
	大会新
2位 相原佳菜(筑波大学)	1'10"81
3位 菊池 葵(鹿屋体育)	1'13"55

■男子100m平泳ぎ

1位 岡崎晃一郎(筑波大学)	1'02"75
	大会新
2位 瀧下雄大(大阪大学)	1'03"73
3位 橋本渉平(岡山大学)	1'04"04

■女子200m平泳ぎ

1位 相原佳菜(筑波大学)	2'28"63
	大会新
2位 福留尚子(鹿屋体育)	2'31"11
3位 加藤昌子(筑波大学)	2'31"93

■男子200m平泳ぎ

1位 佐藤佑樹(筑波大学)	2'14"62
2位 角川隆明(筑波大学)	2'15"30
3位 橋本渉平(岡山大学)	2'18"74

■女子100mバタフライ

1位 井上聖香(筑波大学)	1'02"14
2位 上名主里美(鹿屋体育)	1'03"07
3位 川西英里香(大教大)	1'03"55

■男子100mバタフライ

1位 入江晋平(筑波大学)	53"39
2位 加藤寛樹(東京学芸)	54"84
3位 渡辺英士(筑波大学)	54"90

■女子200mバタフライ

1位 渡邊 梢(鹿屋体育)	2'13"80
2位 上名主里美(鹿屋体育)	2'14"88
3位 中山 唯(鹿屋体育)	2'15"14

■男子200mバタフライ

1位 入江晋平(筑波大学)	1'57"57
	大会新
2位 渡辺英士(筑波大学)	2'02"30
3位 柳楽 晃(鹿屋体育)	2'04"93
予選落ち 槇尾 晋	2'14"64

■女子200m個人メドレー

1位 山田絵梨花(筑波大学)	2'19"04
2位 打越雅美(鹿屋体育)	2'24"81
3位 田代和歌子(新潟大学)	2'29"51

■男子200m個人メドレー

1位 内海陽介(筑波大学)	2'05"91
2位 佐藤佑樹(筑波大学)	2'06"82
3位 藤原 純(鹿屋体育)	2'09"02
予選落ち 吉田 楽	2'22"41

■女子400m個人メドレー

1位 山田絵梨花(筑波大学)	4'52"06
2位 打越雅美(鹿屋体育)	4'58"97
3位 堀田ひろみ(富山大学)	5'04"89

**■男子400m個人メドレー**

1位 内海陽介(筑波大学)	4'28"09
	大会新
2位 倉貫 壮(筑波大学)	4'28"94
	大会新
3位 藤原 純(鹿屋体育)	4'35"01

■女子200mフリーリレー

1位 鹿屋体育大学	1'46"15
2位 筑波大学	1'46"20
3位 岡山大学	1'50"01

■男子400mフリーリレー

1位 筑波大学	3'26"52
	大会新
2位 岡山大学	3'30"94
3位 大阪大学	3'36"28
予選落ち 神戸大学	
土方・段野・吉田楽・横尾	3'47"58

■女子400mフリーリレー

1位 筑波大学	3'52"63
2位 鹿屋体育大学	3'57"03
3位 岡山大学	3'59"64

■男子800mフリーリレー

1位 筑波大学	7'35"08
2位 鹿屋体育大学	7'41"70
3位 岡山大学	7'53"52
予選落ち 神戸大学	
土方・段野・吉田楽・横尾	8'19"15

■女子400mメドレーリレー

1位 筑波大学	4'15"02
2位 鹿屋体育大学	4'19"05
3位 岡山大学	4'26"71

■男子400mメドレーリレー

1位 筑波大学	3'42"70
	大会新
2位 岡山大学	3'52"99
3位 鹿屋体育大学	3'55"27
予選落ち 神戸大学	
芝井・吉岡・吉田楽・飛田	4'30"09



関西学生水球秋季戦

2008年8月9日・10日・京都大学プール／16日・17日・23日・24日・大阪市立大学プール

今季の秋リーグは第一週目の会場が京大、第二・三週目が市大にて行われ、また参加団体が奇数のため、ダブルヘッダーもあり、いつも以上に組み合わせの運が勝敗に大きく関わったと思います。神大は目標の国公立一位となるためには、16日からの試合は、すべて負けられません。試合結果は一勝することもできませんでした。おいしい試合ばかりで、悔しい思いをさせられました。打ち上げにて、「来年がんばってな。」と4回生の先輩に言われた時の方が、来年のない先輩達の悔しさとか今年にかけていた想いとか伝わってきて、試合終了のブザーを聞いた時より何倍も悔しくて、それでも笑っている先輩達がとてもかっこよかったです。

最後になりましたが、試合を見に来ていただいたOB・OGさん方、ほんとうにありがとうございました。とても励みになりました！！

vs 関西学院大学(8月9日)

	1	2	3	4	計	得点者	西澤5 嶋彦3 藤丸1
神大	0	1	5	3	9		
関学	4	5	2	4	15		

vs 立命館大学(8月10日)

	1	2	3	4	計	得点者	西澤1
神大	1	0	0	0	1		
立命	6	11	6	8	31		

vs 大阪市立大学(8月16日)

	1	2	3	4	計	得点者	西澤3 司馬3 大脇1
神大	3	2	2	0	7		
大市大	2	1	3	3	9		

vs 大阪府立高専(8月16日)

	1	2	3	4	計	得点者	西澤3 嶋彦1 司馬3
神大	1	1	4	1	7		
大高専	3	1	2	2	8		

vs 京都大学(8月23日)

	1	2	3	4	計	得点者	西澤2 嶋舜1 司馬3 大脇2
神大	5	1	1	1	8		
京大	0	2	5	1	8	退水	北野1 司馬2 藤丸1

vs 大阪大学(8月24日)

	1	2	3	4	計	得点者	西澤2 嶋舜2 司馬3
神大	0	3	1	3	7		
阪大	3	1	0	3	7	退水	北野1 藤丸1



総合成績(全7チーム)

- 1位 立命館大学
- 2位 関西学院大学
- 3位 大阪市立大学
- 4位 大阪大学
- 5位 大阪府立高専
- 6位 京都大学
- 7位 神戸大学

ベスト7

- GK 森 昭太(立命館大学)
- F 菅沼孝俊(立命館大学)
- FB 石原裕大(関西学院大学)
- D 格谷康平(立命館大学)
- D 逸見恭平(立命館大学)
- D 樋口大毅(立命館大学)
- D 野田洋平(関西学院大学)

得点王

格谷康平(立命館大学) 49点

近畿地区国公立大学体育大会

2008年8月21日 22・日・神戸市立ポートアイランドスポーツセンター・

4回生の引退レースとなる近国。今年は神戸のポートアイランドスポーツセンターで行われ、神戸大学が主幹を務めた。役員として働きながらのレースだったためか、決勝進出者が少なかったのが残念だ。しかし、全員が自分の仕事をきちんとこなすことができ、大会の運営はスムーズに行うことができた

■女子400mメドレーリレー

1位 大阪教育大学	4'42"60
	大会新
2位 京都大学	4'56"00
3位 大阪大学	4'58"51

OPEN 神戸大学A

畠山・大園・末森・井谷 6'00"90

棄権 神戸大学B

渡辺・小松・加藤・須藤

■男子400mメドレーリレー

1位 大阪教育大学	3'59"79
2位 大阪大学	4'03"97
3位 京都大学	4'07"02

5位 神戸大学

櫻田・吉田俊・吉田楽・段野 4'16"65

OPEN 神戸大学B

飛田・吉岡・土方・安福 4'32"58

■男子800m自由形

1位 山本宗幸(大教大)	8'56"33
2位 高木祥一(大阪大学)	9'01"28
3位 佐藤 健(京都大学)	9'14"49
6位 段野光宏(神戸大学)	9'37"73

■女子200m個人メドレー

1位 川西英里香(大教大)	2'28"29
2位 青木真衣(奈良女子)	2'41"09
3位 田下愛子(和歌山大)	2'44"29

■男子400m個人メドレー

1位 玉木壽成(大教大)	4'39"79
	大会新
2位 立入啓浩(京都大学)	4'52"97
3位 鷲野豪介(京都大学)	4'57"45



■女子400m個人メドレー

1位 細川裕子(大阪大学)	6'29"23
---------------	---------

■女子200m自由形

1位 吉原千晶(大教大)	2'06"86
	大会新
2位 藤原杏奈(大阪大学)	2'18"68
3位 松原由季(京都教育)	2'23"15
OPEN 蘆田佑加	2'31"19
OPEN 末森香織	2'34"91
棄権 今村可奈	

■男子200m自由形

1位 田中健太(京都教育)	1'59"62
2位 飯田意己(大阪大学)	2'00"62
3位 篠原貴弘(大教大)	2'01"59
予選落ち 吉田 楽	2'09"67

■女子50m自由形

1位 上田千歳(大教大)	27"29
	大会新
2位 山内 紘(大阪大学)	28"05
	大会新
3位 砂留沙季子(神戸大学)	29"20
5位 加藤 優(神戸大学)	30"09
予選落ち 須藤 茜	35"51
OPEN 井谷和加奈	33"43
OPEN 澄川優美子	35"54
OPEN 森田有美子	36"52
OPEN 大園沙央里	37"34
OPEN 古川真子	42"79
OPEN 小松寧恵	51"59
棄権 畠山紗穂	

■男子50m自由形

1位 金光良祐(京都大学)	24"01
	大会新
2位 松館圭太(京都大学)	25"01
3位 難波達也(京都工織)	25"08
予選落ち 土方了輝	27"12
予選落ち 大川広己	29"21
OPEN 稲垣喜裕	31"71
OPEN 廣瀬浩明	39"97

■女子100mバタフライ

1位 園田玲子(大教大)	1'06"06
	大会新
2位 松山千尋(京都大学)	1'09"66
3位 山崎侑佳子(和歌山大)	1'30"92

■男子100mバタフライ

1位 松井勇大(奈良教育)	57"86
2位 重松真太郎(和歌山大)	59"96
3位 壇 隼也人(京都大学)	1'00"49
4位 横尾 晋(神戸大学)	1'00"50
予選落ち 安福拓斗	1'07"74

■女子100m背泳ぎ

1位 上田千歳(大教大)	1'07"89
	大会新
2位 小林真弓(大教大)	1'12"49
3位 稲岡慶子(大阪大学)	1'14"81
5位 渡辺祥子(神戸大学)	1'18"16

■男子100m背泳ぎ

1位 山崎陽平(大教大)	59"67
2位 長尾和明(大阪大学)	1'01"98
3位 山本 悟(大教大)	1'02"60
棄権 芝井 隆	

■女子100m平泳ぎ

1位 津田沙穂里(大教大)	1'16"90
	大会新
2位 川上紗季(大教大)	1'19"91
3位 松原彩香(京都大学)	1'20"39

■男子100m平泳ぎ

1位 瀧下雄大(大阪大学)	1'03"04
	大会新
2位 坂本龍也(大教大)	1'06"79
3位 中山 豪(大阪大学)	1'07"12
予選落ち 吉田 俊	1'13"53
予選落ち 吉岡拓磨	1'13"89

■女子200mフリーリレー

1位 大阪教育大学	1'55"54
2位 京都大学	1'59"59
3位 大阪大学	2'00"04
7位 神戸大学	
加藤・須藤・小松・渡辺	2'32"76
OPEN 神戸大学B	
加藤・森田・澄川・末森	2'13"80



■男子200mフリーリレー

1位 大阪教育大学	1'37"36
2位 京都大学	1'38"79
3位 大阪大学	1'39"97
6位 神戸大学	
段野・吉田楽・吉岡・芝井	1'45"84
OPEN 神戸大学B	
飛田・吉田俊・櫻田・安福	1'49"33

■男子200m個人メドレー

1位 玉木壽成(大教大)	2'08"57
	大会新
2位 瀧下雄大(大阪大学)	2'09"89
	大会新
3位 金光啓祐(京都大学)	2'15"46
予選落ち 櫻田侑佑	2'22"30
予選落ち 吉田 楽	2'23"75
予選落ち 芝井 隆	2'39"01

■女子400m自由形

1位 吉原千晶(大教大)	4'26"34
	大会新
2位 藤原杏奈(大阪大学)	4'48"52
3位 青木真衣(奈良女子)	5'03"24
OPEN 蘆田佑加	5'18"15

■男子400m自由形

1位 山本宗之(大教大)	4'18"06
2位 高木祥一(大阪大学)	4'20"52
3位 佐藤 健(京都大学)	4'22"46
予選落ち 段野光宏	4'38"17
予選落ち 安福拓斗	5'04"71

■女子100m自由形

1位 川西英里香(大教大)	1'00"69
	大会新
2位 山内 紘(大阪大学)	1'03"30
3位 浅田理恵(奈良女子)	1'04"99
7位 加藤 優(神戸大学)	1'08"14
予選落ち 須藤 茜	1'20"18
OPEN 末森香織	1'09"53
OPEN 井谷和加奈	1'18"54
OPEN 畠山紗穂	1'23"45
OPEN 大園沙央里	1'26"50

■男子100m自由形

1位 金光良祐(京都大学)	52"94
	大会新
2位 田中健太(京都教育)	54"66
3位 飯田意己(大阪大学)	55"52
予選落ち 澤池紀明	1'17"63
OPEN 芝井 隆	1'00"46
OPEN 稲垣喜裕	1'18"36

■女子200mバタフライ

1位 園田玲子(大教大)	2'28"46
2位 松山千尋(京都大学)	2'34"90
3位 則木奈都子(大阪大学)	3'26"66

■男子200mバタフライ

1位 立入啓浩(京都大学)	2'09"60
2位 松井勇大(奈良教育)	2'12"93
3位 壇 隼也人(京都大学)	2'12"96
棄権 横尾 晋	

■女子200m背泳ぎ

1位 小林真弓(大教大)	2'38"58
2位 稲岡慶子(大阪大学)	2'44"65
3位 岡 沙織(京都工織)	2'44"71
4位 渡辺祥子(神戸大学)	2'49"02

■男子200m背泳ぎ

1位 山崎陽平(大教大)	2'09"41
2位 粉 亮介(大阪大学)	2'15"08
3位 加藤健太(大教大)	2'16"98
4位 櫻田侑佑(神戸大学)	2'17"67
OPEN 芝井 隆	2'42"91

■女子200m平泳ぎ

1位 津田沙穂里(大教大)	2'48"07
	大会新
2位 松原彩香(京都大学)	2'48"12
	大会新
3位 川上紗季(大教大)	2'51"86

■男子200m平泳ぎ

1位 百瀬弘祐(大教大)	2'23"68
	大会新
2位 森田直樹(京都大学)	2'25"79
3位 坂本龍也(大教大)	2'29"13
予選落ち 吉田 俊	2'38"89
予選落ち 吉岡拓磨	2'42"93

■女子400mフリーリレー

1位 大阪教育大学	4'14"19
2位 京都大学	4'23"61
3位 大阪大学	4'25"24
OPEN 神戸大学A	
蘆田・井谷・畠山・末森	5'05"17

■男子800mフリーリレー

1位 大阪教育大学	8'00"89
2位 大阪大学	8'05"37
3位 京都大学	8'10"17
4位 神戸大学	
横尾・吉田楽・段野・土方	8'22"05



旧三商大戦

2008年8月31日・一橋大学プール

今回の三商戦は、前日まで関東地方で大雨が続き開催が心配されたが、当日は暑いぐらいの晴天に恵まれ、無事、全ての競技をすることができた。競泳の部では、200m平泳ぎで昨年勝ち取った優勝杯を今年は一橋大学に取られてしまったが、200m背泳ぎのトロフィーを持って帰ることができた。水球の部では、市大戦、一橋戦ともに接戦でとても見ごたえのある戦いだった。一橋戦は4回生が現役最後の試合ということもあり気が抜けない試合であったが勝利し、選手も応援している者も一体となって喜び合った。

【競泳】

■400mメドレーリレー

3位 神戸大学A	
櫻田・吉田俊・横尾・田畑	4'24"92
5位 神戸大学B	
芝井・吉岡・土方・吉田楽	4'37"14

■200mメドレーリレー

2位 神戸大学	
渡辺・須藤・蘆田・森田	2'41"64

■200m自由形

3位 須藤 茜	2'55"52
4位 井谷和加奈	2'56"60
OPEN 廣瀬浩明	3'28"79
OPEN 古川真子	3'56"13

■400m自由形

3位 土方了輝	4'32"10
4位 横尾 晋	4'37"77
OPEN 安福拓斗	5'07"85

■100m背泳ぎ

4位 大園沙央里	1'48"12
5位 森田有美子	1'52"09
OPEN 田畑直紀	1'21"52
OPEN 畠山紗穂	1'42"68

■200m背泳ぎ

1位 櫻田侑佑	2'22"30
5位 吉田 楽	2'34"17
OPEN 飛田陽祐	2'50"77

■100m平泳ぎ

4位 井谷和加奈	1'50"55
5位 須藤 茜	1'52"69
OPEN 小松寧恵	2'05"25

■200m平泳ぎ

3位 吉田 俊	2'45"61
4位 吉岡拓磨	2'50"34
OPEN 澤池紀明	3'38"44
OPEN 稲垣喜裕	4'13"18

■100mバタフライ

2位 蘆田佑加	1'26"08
3位 渡辺祥子	1'31"71

■200mバタフライ

2位 横尾 晋	2'25"51
5位 芝井 隆	2'45"32

■100m自由形

3位 森田有美子	1'23"26
4位 大園沙央里	1'27"39
OPEN 畠山紗穂	1'24"36
OPEN 廣瀬浩明	1'35"05
OPEN 古川真子	1'41"92

■200m自由形

3位 土方了輝	2'09"79
5位 田畑直紀	2'16"13
OPEN 吉田 俊	2'20"91
OPEN 吉岡拓磨	2'25"53
OPEN 安福拓斗	2'29"32
OPEN 澤池紀明	3'07"37
OPEN 稲垣喜裕	3'14"61

■女子200m個人メドレー

3位 蘆田佑加	3'04"14
4位 渡辺祥子	3'05"11

■男子200m個人メドレー

3位 櫻田侑佑	2'28"23
4位 吉田 楽	2'36"34
OPEN 飛田陽祐	2'42"55
OPEN 芝井 隆	2'44"58

■400mフリーリレー

2位 神戸大学	
蘆田・大園・須藤・渡辺	5'16"30

■800mフリーリレー

3位 神戸大学A	
田畑・安福・土方・横尾	9'01"48
4位 神戸大学B	
吉田・吉岡・芝井・櫻田	9'07"92

【水球】

vs 大阪市立大学

	1	2	3	4	計	得点者	
神大	3	1	1	2	7		
市大	2	2	3	4	11	退水	

vs 一橋大学

	1	2	3	4	計	得点者	
神大	1	1	1	2	5		
一橋	1	0	2	1	4	退水	

【競泳成績】

- 1位 一橋大学
2位 神戸大学
3位 大阪市立大学

【水球成績】

- 1位 大阪市立大学
2位 神戸大学
3位 一橋大学

【総合成績】

- 1位 大阪市立大学
2位 神戸大学
3位 一橋大学

なみはや館長杯

2009年1月17日～18日・なみはやプール

17日の試合は5分1ピリオド。18日の試合は7分2ピリオド。

現役だけでは人数が足りなかったのですが、4回生の先輩に出場していただき、人数をそろえることができました。1回生の藤丸君がおもいきりの良いシュートを打てるようになってきました。

17日、MASHとして大会に参加された神戸大学の先輩方と試合をしました。4回生に頼っての勝利でしたが、月見の宴では現役だけでも勝てるようになります！

vs 京都大学(1月17日)

	1	2	3	4	計	得点者	藤丸1
神大	1				1		
京大	2				2	退水	大脳1

vs 大阪大学B(1月17日)

	1	2	3	4	計	得点者	司馬2
神大	2				2		
阪大B	0				0	退水	

vs ヘルメス(1月17日)

	1	2	3	4	計	得点者	司馬1 藤丸1
神大	2				2		
ヘル	5				5	退水	

vs 神明会(1月17日)

	1	2	3	4	計	得点者	
神大	0				0		
神明	3				3	退水	

vs MASH(1月17日)

	1	2	3	4	計	得点者	嶋夢1 司馬2
神大	3				3		
MASH	2				2	退水	

vs 京都大学(1月18日)

	1	2	3	4	計	得点者	西澤2
神大	2	0			2		
京大	1	3			4	退水	藤丸1

歴代 10 傑

前号(平成20年号)から、神戸商船大学と神戸大学の歴代10傑を統合しました。神戸商船大学歴代10傑は『凌泳』平成18年度号・平成19年度号に掲載されております。ご了承ください。なお、統合に際しましては注意をはらっておりますが、間違い等のご指摘がございましたら、ご連絡ください。

【男子】*印は神戸商船大学歴代10傑からのランクインです

50m自由形

1	濱出憲一郎	H10	25"21(L)
2	田中宗親	H18	25"24(L)
3	横山千泰	H14	25"43(L)
4	松田有司	H14	25"77(L)
5	久保達也	H12	26"06(L)
6	中畑寛之	H 4	26"10(L)
6	竹田匡志	H 6	26"10(L)
8	上田章生	H17	26"17(L)
9	*鳥谷賢一	H12	26"20(L)
10	宮岡孝和	H16	26"27(L)

200m自由形

1	小斎一彰	H17	1'59"88(L)
2	段野光宏	H20	2'00"72(L)
3	中村友彦	H19	2'01"05(L)
4	宮岡孝和	H17	2'01"46(L)
5	土方了輝	H20	2'02"05(L)
6	松田有司	H15	2'03"56(L)
7	横尾 晋	H19	2'04"18(L)
8	田中宗親	H18	2'04"78(L)
9	*松本照生	H 3	2'04"95(L)
10	横山千泰	H16	2'05"15(L)

100m自由形

1	松田有司	H15	55"50(L)
2	濱出憲一郎	H10	55"59(L)
3	横山千泰	H16	56"35(L)
4	田中宗親	H18	56"37(L)
5	宮岡孝和	H17	56"38(L)
6	西田憲史	H10	56"67(L)
7	藤本真人	H11	56"81(L)
8	玉田浩介	H 9	56"05(L)
9	横尾 晋	H19	56"06(L)
10	中村友彦	H18	56"07(L)

400m自由形

1	土方了輝	H19	4'19"14(L)
2	中村友彦	H19	4'20"22(L)
3	段野光宏	H20	4'21"93(L)
4	宮岡孝和	H17	4'22"40(L)
5	横尾 晋	H20	4'23"20(L)
6	福岡達信	H 8	4'25"62(L)
7	*松本照生	H 3	4'26"18(L)
8	横山千泰	H16	4'28"36(L)
9	*田内俊英	H 5	4'30"06(L)
10	山田篤	H 8	4'30"52(L)

800m自由形

1	*田内俊英	H 4	9'20"65(L)
2	*伊藤浩史	H 3	9'28"10(L)
3	福岡達信	H 8	9'29"12(L)
4	宮岡孝和	H14	9'29"43(L)
5	*松本照生	H 1	9'30"01(L)
6	古谷拓裕	S63	9'36"80(L)
7	段野光宏	H20	9'37"73(L)
8	高橋克哉	H13	9'43"43(L)
9	山田篤	H 7	9'44"40(L)
10	藤本博之	H 3	9'45"90(L)

200m蝶泳

1	小斎一彰	H17	2'10"65(L)
2	横尾 晋	H20	2'13"42(L)
3	加藤亮二	H19	2'14"78(L)
4	小南裕明	H 5	2'14"84(L)
5	*石塚秀一	H 6	2'15"19(L)
6	*串辺由宇	H19	2'17"72(L)
7	*田内俊英	H16	2'21"40(L)
8	加藤有道	H 4	2'21"90(L)
9	西和田靖	H 3	2'24"14(L)
10	當麻尚正	H16	2'24"20(L)

1500m自由形

1	土方了輝	H19	17'17"57(L)
2	宮岡孝和	H15	17'40"70(L)
3	福岡達信	H 9	18'49"01(L)
4	*田内俊英	H 4	17'50"10(L)
5	横尾 晋	H20	17'58"89(L)
6	*伊藤浩史	H 3	18'03"20(L)
7	*松本照生	H 3	18'12"78(L)
8	中村友彦	H17	18'19"25(L)
9	古谷拓裕	S63	18'28"50(L)
10	藤本博之	H 4	18'34"00(L)

100m背泳

1	西田憲史	H11	1'01"90(L)
2	櫻田侑佑	H20	1'02"69(L)
3	*出口達也	H 5	1'03"78(L)
4	村上幸弘	H14	1'04"09(L)
5	*水野教良	H 6	1'04"38(L)
6	*格谷 隆	H 1	1'05"58(L)
7	生山 裕	H 9	1'05"78(L)
8	*長谷川堅一	H17	1'05"93(L)
9	小笠原朝隆	H 1	1'06"60(L)
10	松田有司	H15	1'07"24(L)

100m蝶泳

1	加藤亮二	H19	59"52(L)
2	横尾 晋	H20	1'00"50(L)
3	*石塚秀一	H 7	1'00"75(L)
4	*串辺由宇	H16	1'01"12(L)
5	小南裕明	S63	1'01"40(L)
6	竹田匡志	H 6	1'01"99(L)
7	西和田靖	H16	1'02"18(L)
8	*斎藤勝彦	S58	1'02"72(L)
9	*伊藤浩史	H 3	1'02"74(L)
10	加藤有道	H 3	1'02"90(L)

200m背泳

1	西田憲史	H11	2'12"86(L)
2	櫻田侑佑	H20	2'16"02(L)
3	*出口達也	H 5	2'19"36(L)
4	村上幸弘	H14	2'20"42(L)
5	*水野教良	H 6	2'20"65(L)
6	生山 裕	H10	2'23"08(L)
7	*格谷 隆	S63	2'24"28(L)
8	小笠原朝隆	S63	2'26"20(L)
9	*長谷川堅一	H16	2'26"71(L)
10	井上達彦	S63	2'26"80(L)

100m平泳

1	*西村 尚	H 5	1'09"28(L)
2	藤尾幸平	H11	1'09"63(L)
3	段野光宏	H19	1'10"34(L)
4	後呂忠祥	S61	1'10"50(L)
5	柴田 孝	H 5	1'10"81(L)
6	西尾泰紀	H 4	1'12"60(L)
7	*鳥谷賢一	H12	1'12"80(L)
8	林 均	S62	1'12"90(L)
9	*記本貴寛	H 8	1'13"15(L)
10	吉田 俊	H20	1'13"53(L)

400m個人メドレー

1	小斎一彰	H17	4'43"25(L)
2	土方了輝	H20	4'55"25(L)
3	中村友彦	H18	5'00"57(L)
4	宮岡孝和	H17	5'00"65(L)
5	*伊藤浩史	H3	5'01"80(L)
6	*出口達也	H5	5'04"55(L)
7	東 圭紀	S63	5'06"10(L)
8	吉田 楽	H20	5'06"40(L)
9	横山千泰	H15	5'11"49(L)
10	*石塚秀一	H5	5'12"61(L)

200m平泳

1	藤尾幸平	H11	2'30"37(L)
2	段野光宏	H19	2'31"86(L)
3	*西村 尚	H 5	2'33"03(L)
4	吉田 俊	H20	2'36"22(L)
5	柴田 孝	H5	2'36"56(L)
6	後呂忠祥	S60	2'37"90(L)
7	*記本貴寛	H 6	2'37"91(L)
8	長崎真人	S58	2'40"50(L)
9	笠田幸介	H 2	2'41"80(L)
10	*鳥谷賢一	H12	2'42"36(L)

400mメドレーリレー

1	櫻田・段野 横尾・土方	H20	4'08"48(L)
2	西田・藤尾 山田・濱出	H10	4'10"69(L)
3	西田・藤尾 生山・藤本	H11	4'12"10(L)
4	櫻田・吉田俊 横尾・土方	H20	4'12"73(L)
5	西田・藤尾 生山・津田	H10	4'13"83(L)
5	長谷川・小斎 加藤・宮岡	H17	4'13"83(L)

200m個人メドレー

1	小斎一彰	H17	2'12"78(L)
2	宮岡孝和	H17	2'19"19(L)
3	東 圭紀	H 2	2'20"40(L)
4	*伊藤浩史	H 4	2'20"42(L)
5	田中宗親	H18	2'20"60(L)
6	吉田 楽	H20	2'21"60(L)
7	段野光宏	H19	2'21"91(L)
8	櫻田侑佑	H20	2'22"30(L)
9	*桶矢康太	H12	2'22"58(L)
10	*格谷 隆	S62	2'22"90(L)

400mリレー

1	松田・宮岡 小斎・横山	H15	3'42"20(L)
2	土方・横尾 段野・中村	H19	3'44"67(L)
3	宮岡・中村 土方・小斎	H17	3'45"27(L)
4	土方・段野 吉田楽・横尾	H20	3'45"31(L)
5	中村・土方 横尾・加藤	H18	3'46"13(L)

800mリレー

1	小齋・宮岡 土方・中村	H17	8'06"43(L)
2	土方・横尾 段野・中村	H19	8'06"99(L)
3	土方・段野 吉田楽・横尾	H20	8'14"64(L)
4	小齋・宮岡 松田・横山	H15	8'14"65(L)
5	小齋・宮岡 横山・中村	H16	8'15"55(L)

【女 子】 *印は神戸商船大学歴代10傑からのランクインです

女子については従来5傑までの掲載となっていました。平成20年度に新たにランクインした場合、6傑まで掲載することになりました。同様の手順で将来的に10傑まで掲載していく予定です。

50m自由形

1	田中理恵	H 8	28"54(L)
2	砂留沙季子	H17	28"65(L)
3	多田羅美帆	H11	29"76(L)
4	河原あや	H16	29"98(L)
5	加藤 優	H20	30"09(L)
6	田中桂子	H13	30"21(L)

400m自由形

1	田中理恵	H10	4'57"16(L)
2	多田羅美帆	H10	5'00"01(L)
3	中山美穂香	H12	5'05"54(L)
4	河原あや	H16	5'07"46(L)
5	村山依子	H 9	5'07"96(L)

100m自由形

1	砂留沙季子	H18	1'01'69(L)
2	田中理恵	H 8	1'02"18(L)
3	多田羅美帆	H11	1'05"14(L)
4	河原あや	H16	1'05"24(L)
5	寺井美穂子	H3	1'06"78(L)

100m蝶泳

1	寺井美穂子	H 4	1'08"02(L)
2	砂留沙季子	H17	1'08"03(L)
3	村山依子	H 8	1'09"69(L)
4	坂東美枝	S57	1'14"30(L)
5	横野恵里香	H14	1'16"71(L)

200m自由形

1	田中理恵	H10	2'16"82(L)
2	多田羅美帆	H10	2'21"06(L)
3	河原あや	H15	2'23"42(L)
4	川上景子	S62	2'26"40(L)
5	田中桂子	H14	2'29"27(L)

200m蝶泳

1	田中理恵	H 8	2'30"67(L)
2	寺井美穂子	H 3	2'33"05(L)
3	坂東美枝	S57	2'44"77(L)
4	*横野恵里香	H14	2'57"86(L)
5	川上景子	S60	3'00"70(L)

100m背泳

1	田中理恵	H10	1'12"68(L)
2	西川弥徳	H15	1'16"45(L)
3	村上美和	S61	1'16"80(L)
4	田中桂子	H14	1'17"44(L)
5	渡辺祥子	H20	1'18"16(L)
6	中山美徳香	H12	1'18"20(L)

200m背泳

1	田中理恵	H10	2'35"51(L)
2	中山美徳香	H12	2'43"11(L)
3	村上美和	S63	2'48"40(L)
4	西川弥徳	H15	2'48"63(L)
5	渡辺祥子	H20	2'49"02(L)
6	寺井美徳子	H 6	2'49"19(L)

100m平泳

1	山本奈穂	H8	1'21"19(L)
2	番場順子	H8	1'26"70(L)
3	横野由佳	H15	1'27"02(L)
4	清水めぐみ	H13	1'27"45(L)
5	宮下静子	S63	1'27"57(L)

200m平泳

1	山本奈穂	H 9	2'59"59(L)
2	清水めぐみ	H 3	3'01"97(L)
3	番場順子	H 8	3'02"17(L)
4	原田真帆	H13	3'07"03(L)
5	西田野生子	H10	3'08"35(L)

200m個人メドレー

1	田中理恵	H10	2'34"05(L)
2	加島宏子	H 8	2'41"03(L)
3	寺井美徳子	H 3	2'43"40(L)
4	川上景子	S60	2'45"50(L)
5	番場順子	H 7	2'48"02(L)

400m個人メドレー

1	田中理恵	H11	5'32"51(L)
2	加島宏子	H 7	5'48"97(L)
3	川上景子	S62	5'53"00(L)
4	寺井美徳子	H 6	5'54"07(L)
5	番場順子	H 7	5'55"99(L)

400mメドレーリレー

1	田中・山本 村山・多田羅	H 8	4'51"27(L)
2	田中・清水 村山・多田羅	H11	4'56"04(L)
3	加島・山本 村山・田中	H 8	4'59"63(L)
4	加島・山本 田中・多田羅	H 9	5'04"15(L)
5	吉川・番場 寺井・小笠原	H 5	5'08"80(L)

200mリレー

1	田中・多田羅 山本・村山	H10	1'59"92(L)
2	田中・多田羅 山本・加島	H 9	2'00"63(L)
3	田中・多田羅 加島・村山	H 8	2'01"04(L)
4	多田羅・田中 清水・村山	H11	2'01"87(L)
5	田中・清水 河原・横野	H13	2'03"03(L)

400mリレー

1	多田羅・山本 加島・田中	H 9	4'23"03(L)
2	多田羅・村山 加島・田中	H 9	4'23"23(L)
3	多田羅・山本 村山・田中	H10	4'23"42(L)
4	多田羅・村山 清水・田中	H11	4'27"55(L)
5	河原・清水 田中・横野	H13	4'32"84(L)

水 球 歴 代 戦 績

前号(平成20年度号)から、主要な歴代戦績を記録として掲載することにしました。

(注) ・ここに掲載するものは、『凌泳』の記載をもとに、昭和63年度以降を抜粋したものです。

・得点王は、春・秋リーグ戦及び日本学生選手権の試合を対象としています。

・この掲載方法について異議のある方、集計上の間違いにお気づきの方は編集委員までご連絡ください。

	関西学生水球 リーグ戦	関西学生 水球リーグ Jr 戦	日本学生 選手権	チーム得点王
昭和63年度	2位	2位	初戦敗退 (vs 専修大)	林 均 20点
平成元年度	5位	4位	—	西島 淳一 21点
平成 2年度	2位	2位	初戦敗退 (vs 明治大)	木村 一也 44点
平成 3年度	2位	優勝	初戦敗退 (vs 日体大)	木村 一也 54点
平成 4年度	不明	不明	不明	不明
平成 5年度	優勝	5位	初戦敗退 (vs 中央大)	木村 一也 43点

	関西学生水球 リーグ戦	関西学生水球 秋季戦	日本学生 選手権	チーム得点王
平成 6年度	1部6位	8位	—	大場 理世 13点
平成 7年度	2部優勝	6位	—	井村 大智 33点
平成 8年度	2部優勝	2回戦敗退	—	塚本 善隆 59点

	関西学生水球 春季リーグ戦	関西学生水球 秋季リーグ戦	日本学生 選手権	チーム得点王
平成 9年度	3位	3位	ベスト16 (vs 鹿児島 経済大 vs 慶応大)	塚本 善隆 58点
平成10年度	3位	2位	初戦敗退 (vs 中央大)	塚本 善隆 37点
平成11年度	1部2位	1部2位	初戦敗退 (vs 早稲田)	塚本 善隆 37点
平成12年度	1部5位	2部優勝	—	中島 太平 36点
平成13年度	4位	5位	—	中井 秀昭 28点
平成14年度	5位	7位	—	中井 秀昭 43点
平成15年度	2部優勝	6位	—	篠原 康彦 40点
平成16年度	不明	4位	—	井口 靖之 29点
平成17年度	3位	3位	初戦敗退 (vs 成蹊大)	井口 靖之 31点
平成18年度	2位	2位	ベスト16 (vs 大阪大学 vs 立命館)	井口 靖之 39点
平成19年度	5位	5位	—	畠山 秀一 20点
平成20年度	6位	7位	—	西澤 翔 22点

平成 20 年度 凌泳会総会前 監査ミーティング(2008 年 4 月 19 日)

Photo Report

撮影・文:得丸 哲志・昭46

諫山大介(H9 卒)会計担当から実績と予算の説明があり、佐藤一夫(S30 卒)監事による会計監査がおこなわれ承認されました。引き続き懇親会にはいりました。



平成20年度 凌泳会総会議事録

日時 平成20年5月24日(土)

場所 総会 発達科学部 B206教室

懇親会 アカデミア館3F「さくら」

出席者(敬称略)

石井義章(昭27)、佐藤一夫(昭30)、田淵五郎(昭30)、岡村司(昭34)、北村敏(昭34)、
柴川泰介(昭34)、野田浩志(昭36)、酒井孝栄(昭36)、高岡保宏(昭37)、丸山昱也(昭40)、
得丸哲士(昭46)、長谷川健(昭49)、川本典子(昭51)、川原田貢(昭61)、諫山大介(平9)、
恵美裕(平9)、米田晃士(平17)、小川啓(平19)、浦谷正史(平20)、加藤亮二(平20)

[総会の部]

冒頭、昨年総会以後にご逝去の報に接した下記物故会員に対し、出席者全員で黙祷を捧げ、凌泳会の発展へのご尽力への感謝とご冥福を祈り議題の審議に移った。

永野 一彦 氏(昭和35年卒) 平成19年 7月14日ご逝去

岸 楢夫 氏(特別会員) 平成19年10月18日ご逝去

北野 誠良 氏(昭和25年卒) 平成20年 1月23日ご逝去

(1)野田会長挨拶

5月、6月は色々な組織の総会の時期であり、それぞれに忙しい中、年1度こうして集まる事が出来て嬉しく思う。

昨年の現役水泳部員はとてよく頑張り、よい記録を出してくれたが、相手が強く、力投及ばなかった場面もみられた。今年は部員それぞれの力を足し算してだけでなく、互いに刺激しあい掛け算となつていい成果を出してくれることを楽しみにしている。

今年とはにかく部員の増強を第一に努めてくれたお蔭で、入部状況の報告を受けるたびに新入部員の数が増え、最初7人と聞いていた一回生が最終的に25人になったということで、活気と意気込みを感じています。大いにがんばってほしいと思う。

(2)田淵副会長挨拶

私は今も現役のつもりであり、マスターズの大会にも出場している。私は75歳なのだが、大会に76歳の選手の方が出場されていて、これを鏡として私も水泳を続けていきたいと思う。

現役部員にはインカレに今年は是非出場してほしいと思う。今年は新入生がたくさん入部して頼も

しい反面、多人数での練習は大変だと思うが、一生懸命やって人生にいいページを加えていってほしい。

(3) 昨年度活動報告

長谷川幹事長より以下の報告がなされた。

昨年一年間の活動の説明と共に、月見の宴を神戸大学ホームカミングデイと合わせて開催したところ、たくさんのOB・OGの参加があり活況となった。今年度も同様としたい。

また、本年3月に実施された現役主催の4回生追出しコンパに参加した。参加は2回目となるが、今後も続けたいとの報告がなされた。(詳しくは凌泳誌をご覧ください)

(4) 一号議案 審議

決算・予算案の審議が行われた。

まず佐藤監事より会計監査報告があり、適正に会計処理がなされたとの報告があった。

続いて諫山会計幹事より平成19年度決算報告並びに平成20年度予算案説明が行われた。特に予算案については、本年度は多くの新入部員を迎えることが出来たこと、凌泳誌発行費の縮減が図れていることより、本年度の水泳部援助を100万円に増額したい旨の提案がなされた。

これに対し以下の質疑があった。

栄川氏 どれくらい会費を集められているのか、もう少し好意でいただけないのか。

諫山幹事 会員の40%から集められているが、連絡がつかない方もいる。年代によって会費への意識が違う。平成15～19年度卒は納入率がよい。

栄川氏 好意で昔の方は出してくださった。

長谷川幹事長 若いOBからもしっかり集めていきたい。なんとか連絡をとれるようにしたい。

北村氏 連絡つかない方には具体的にどのようなアクションをとっているのか

長谷川幹事長 各学年の運営委員に協力をお願いしようとしている。ただ、運営委員に対しては連絡が十分取れないのが現状であり、前後の学年の運営委員や同学年の会員にも連絡し、名簿の充実にもつなげていきたい。

採決の結果原案どおり可決された

(5) 二号議案審議

本年度の活動方針について下記三点について審議を行った

1, 凌泳誌内容の充実について編集担当の川本幹事より以下の報告がなされた
表紙は今年の流行色の黄色を採用した。

昨年より写真を増やし、現役部員の姿がよりわかり良いようにした。

昨年より開始したリレーエッセイに関しては、3名からのスタートを6名からのスタートとし充実させた。昨年は名簿、会則、部歌などを名簿編に統合することとして重複するものに関してはカットした。しかし、周知を欠いたため「みずむし会」関係を今年は再度掲載しなおした。来年度からは上記方針のもとに会則、商神、部歌、みずむし会等に関しては名簿編に統合掲載することとする。

2. 名簿の充実に関して長谷川幹事長より以下の提案がなされた。

前回の発行から3年を経過する来年度は名簿を発行したい。

ただ名簿の内容の充実に関しては、現状次の問題点が存在する。

① 現役管理のデータとOB管理のデータと複数の名簿データが存在する

これについては川本幹事の尽力で統合作業を行った。

本支配布の名簿はこれに基づく暫定版である

② データの内容についても連絡先が多い。

前回(2年前)の名簿作成の際は、全体の三分の一に当たる約130名が間違っていた。特に異動、転居などに伴う勤務先などの更新がなされずに放置されていると思われる。

また若い会員の住所が学生時代の帰省先(実家)のままになっており、郵便物は届くが本人には渡っていないと考えられる。

これに対し以下の方針で名簿データの充実を図りたい。

- ① 次回のデータ確認の機会は月見の宴の案内であり、これを機に精度を高めたい。
- ② 運営委員に協力を願い、同期の不明者のデータ収集に努める。現状、運営委員に連絡がつかないケースも多く、その場合は前後の学年の運営委員や同期の他の会員に協力を依頼する
- ③ 現役の手元にある名簿・データで分かる部分があれば記入しておく
- ④ 変更内容の連絡先は、OBについては幹事長に一元化し、現役主務にデータを渡し、最終的には主務が管理を行う
- ⑤ 名簿充実の作業に並行して、メーリングリスト会員の増強にも注力する

3. 当番世代制について長谷川幹事長より以下の提案がなされた。

昨年より関西地区で試行を開始したが、台風などの影響で中止を余儀なくされた。本年度は対象を市大戦と忘年会として実施したい。

関西地区での忘年会は、従来4回生を招待し凌泳会正会員として4回生を迎えるという形をとっていたが、本年よりその部分はOB・OGが追出しコンパに参加することで置き換え、忘年会はOB・OGのみの行事としたい。

月見の宴については本年も神戸大学ホームカミングデイと同日に開催し、その対象年次の参加を核とする当番世代制として更に活性化を図りたい。今年は9月27日(土)となる。

採決の結果原案どおり可決された

(6) その他自由議題

① メーリングリスト会員の増強に関して

メールアドレスの判明している会員全員を強制加入させ、嫌な人のみ各自で退会してもらってはどうかとの提案がなされた。また OB 連絡の充実も提案された。

② 来年度で市大戦が90回を迎えるにあたって

神戸が当番校なので、記念大会として何か特別な企画を行う必要があるかとの発言があったが、従来と同様でよいということになった。

③ 恵美 裕氏より、みずむし会の会員の中から希望者に凌泳会に加入してもらったが、名簿にはみずむし会全員の住所や卒年度が載っていないので今後更に加入者を募り、充実をはかりたいとの意見が出た。

④ 加藤 亮二氏より、水泳部の冬季の練習状況について現状の説明と、温水化を含めてその改善策を図りたいとの提案があった。この件に関しては費用のかかる話であり、先ずは知恵を出し合っ ていこうということとなった。

⑤ 名簿の充実に関して、幹事長に負担が偏ることの無いよう、運営委員以外にも分担し、声をかけデータ収集をしていくべきであるとの発言があった。また名簿を充実させるため幹事を中心にチームを組むなどの提案がなされた。これについては幹事会で検討していくこととなった。

⑥ 凌泳誌や年々の活動記録、練習記録などの保存をしていきたいとの提案があり、保存をしていくための環境を整備していくこととなった。

⑦ 本年のスケジュールについて

今年の市大戦・三商大戦は

市大戦: 7月12日(土) 場所 大阪市立大プール

三商戦: 8月31日(日) 場所 一橋大学

に予定されていますので多数の会員方々の応援をお願いいたします。

[懇親会の部]

会場をアカデミア館3F「さくら」に移し、立食パーティー方式で行われた。大勢の新入生の自己紹介、本年度新幹部の決意表明などで大いに盛り上がり、最期に全員で「商神」を高らかに斉唱し解散した。

以上

平成19年度 凌泳会決算報告書

平成19. 4. 1～平成20. 3. 31

<収入の部>

(単位:円)

科目	予算額	実績額	備考
会費	1,350,000 (170名)	1,277,000 (152名)	新入会員14名、会費免除者7名増 会費納入対象者397名
寄付金	350,000	358,000	48名
小計	1,700,000	1,635,000	
雑収入	100	1,325	郵便局、銀行預金利息等
前年度繰越金	652,450	652,450	
合計	2,352,550	2,288,775	

【参照】会員総数512名(会費免除者100、夫婦会員15、準会員55)

<支出の部>

総会、凌泳誌作成発送	400,000	285,727	案内業書代等(4万円) 「凌泳」印刷(19万円)、発送代(3.5万円)
月見の宴	50,000	40,162	月見の宴案内状発送・懇親会補助
会費督促	30,000	17,463	督促状作成、発送
郵便振込手数料負担	7,000	7,920	支払い手数料、振込用紙代
銀行振替手数料負担	70,000	67,410	内年会費5万円、登録費、管理費
水泳部援助	900,000	905,000	収入に占める割合約55%
全国大会積立	20,000	20,000	H18年度より再スタート(累計4万円)
名簿発行準備積立	100,000	100,000	累計10万円
その他、事務連絡、雑費	15,000	16,846	振込手数料、事務連絡通信費等、慶弔費9000円
予備費	760,550	828,247	
合計	2,352,550	2,288,775	

※監査役による会計監査済みの印

平成20年4月19日

凌泳会監査役 佐藤 一夫 ㊞

平成20年度 凌泳会予算案

平成20. 4. 1～平成21. 3. 31

<収入の部>

(単位:円)

科目	予算額	対前年	備考
会費	1,300,000 (165名)	23,000	新入会員9名、会費免除者8名増 会費納入対象者398名
寄付金	350,000	-8,000	
小計	1,650,000	15,000	
雑収入	800	-525	郵便局、銀行預金利息
前年度繰越金	828,247	175,797	
合計	2,479,047	190,272	

【参照】会員総数521名(会費免除者108、夫婦会員15、準会員58)

<支出の部>

総会、凌泳誌作成発送	350,000	64,273	総会補助、「凌泳」印刷、発送
月見の宴	50,000	9,838	月見の宴案内状発送等
会費督促	30,000	12,537	督促状作成、発送
郵便振込手数料負担	8,000	80	支払い手数料
銀行振替手数料負担	70,000	2,590	内年会費5万円、登録費、管理費
水泳部援助	1,000,000	95,000	4、6月に分けて出金、OB訪問交通費補助
全国大会積立	20,000	0	H18年度より再スタート(累計6万円)
名簿発行準備積立	100,000		累計20万円
その他、事務連絡、雑費	15,000	-1,846	振込手数料、慶弔、事務連絡通信費等
予備費	836,047	7,800	
合計	2,479,047	190,272	

2007 年度 神戸大学体育会水泳部決算報告書

(H. 19.4.1～H. 20.3.31)

(単位:円)

<収入の部>

科目	内訳	予算額	小計	備考
前年度繰越金		444,235	444,235	
現役部員負担	部費現役負担分	171,000	138,000	部費(選手6,000円/年・マネ3,000円/年)
	競泳合宿費(合計)	800,000	510,700	うちOB負担50000円
	プール使用料	-	123,900	本山スポーツ&カルチャー使用料
	部旗	-	61,470	うちOB負担15000円
学校助成金	育友会助成金	120,000	165,000	
競泳会	競泳会援助金	900,000	905,000	
	月見懇親会補助金	50,000	10,162	
年間利子		-	725	
収入合計		2,485,235	2,359,192	

<支出の部>

科目	内訳	予算額	小計	備考
試合出場関係費	水泳連盟登録費	120,000	120,000	日本水泳連盟選手登録費
	競泳エントリー代	400,000	341,426	出場試合！ 春季短水路、大阪学生、京都夏季、兵庫学生 関西国公立、関西学生、全国国公立
	審判料	-	1,000	冬季公認、関西選手権、春季室内
	水球エントリー代	250,000	126,000	出場試合！ 関西選手権、オープンリーグ、春リーグ 秋リーグ、西日本選手権、なみはやカップ
競泳合宿費(合計)	宿泊費・交通費 他	860,000	510,700	うちOB負担50000円
プール使用料		-	123,900	本山スポーツ&カルチャー使用料
体育会費		-	43,000	部員一人当たり1000円/年2回
燃料費	風呂用灯油	5,000	3,120	
通信費	葉書代	80,000	-	初泳ぎ案内
	郵送費	-	3,350	
会合費	OB関係行事	30,000	19,162	月見懇親会費、初泳ぎプール使用料
対抗戦		30,000	50,000	市大戦・鳴尾浜プール使用料
新歓費		-	11,008	
六甲祭費		30,000	24,364	
広告費	広告掲載費	20,000	20,000	
交通費		25,000	20,950	大会等への交通費は各自別途支出
備品購入費	競泳用備品	40,000	20,203	
	水球用備品	50,000	10,188	
	プログラム購入費	20,000	17,200	
	部旗	-	61,470	うちOB負担15000円
手数料		-	1,575	振込手数料
雑費		50,000	-	
次年度繰越金		475,235	830,576	
支出合計		2,485,235	2,359,192	

2008 年度 神戸大学体育会水泳部予算案

(H. 20.4.1~H. 21.3.31)

(単位:円)

<収入の部>

科目	内訳	予算額	対前年比	備考
前年度繰越金		830,576	386,341	
現役部員負担	部費現役負担分	147,000	9,000	部費(選手6,000円/年 マネ3,000円/年)
	合宿費(合計)	700,000	189,300	
	プール使用料	130,000	6,100	本山スポーツ&カルチャー使用料
学校助成金	育友会助成金	165,000	-	
凌泳会	凌泳会援助金	1,000,000	95,000	
収入合計		2,972,576	613,384	

<支出の部>

科目	内訳	小計	対前年比	備考
試合出場関係費	水泳連盟登録費	120,000	-	日本水泳連盟選手登録費
	競泳エントリー代	400,000	58,574	出場予定試合↓ 春季短水路、大阪学生、夏季公認 兵庫学生、石川学生、関西国公立、関西学生 全国国公立、日本学生、冬季公認、春季室内など
	水球エントリー代	200,000	74,000	出場予定試合↓ 関西選手権、オープンリーグ 春リーグ、秋リーグ、なみはやカップ 西日本選手権、日本学生など
合宿費(合計)	宿泊費・交通費 他	700,000	189,300	
プール使用料		130,000	6,100	本山スポーツ&カルチャー使用料
体育会費		50,000	7,000	
燃料費	風呂用灯油	5,000	1,880	
通信費	薬書代	40,000	40,000	初泳ぎ案内等
会合費	OB関係行事	5,000	-14,162	初泳ぎプール使用料
対抗戦		-	-50,000	
新歓費		15,000	3,992	
六甲祭費		30,000	5,636	
広告費		20,000	-	関西学生プログラム広告掲載費
交通費		30,000	9,050	大会等への交通費は各自別途支出
備品購入費	競泳用備品	120,000	99,797	
	水球用備品	120,000	109,812	
	プログラム購入費	20,000	2,800	
次年度繰越金		967,576	137,000	
支出合計		2,972,576	613,384	

編集後記

加藤 優 発達3回生・Fr

シーズンを目前にして、練習にも、新入生の勧誘にも、部員一同力を入れております。

新企画を考案したことで、戸惑う面もありましたが、楽しんで編集作業ができたように思います。先輩方からの、昨年の反省等を含めたアドバイスもあり、スムーズに作業を進めることができました。今号の完成にご協力くださいました方々に厚く御礼申し上げます。

菊地 美甫 神戸薬科・ポロマネ

昨年度の戦績を書きながら負けた悔しさを思い出し、今年こそ勝てるチームになる!ということに改めて思いました。

現役で一番最初に先輩方の卒部の辞を読むことができたのも、より勝つことへの想いを強くしました。

ワードも十分に使えない私が記事を書けたのも川本先輩と長谷川先輩にご指導頂けたおかげです。ありがとうございました。

川本 典子・昭 51

今号の編集委員は全員女性という連絡を受け、「これはミーティングの場所を女性に喜ばれる場所にしてくちゃ!」というのが私が最初思ったことです。

最初の編集会議は、苦楽園のスペイン料理店“ルナバルパドス”、2回目は初泳ぎの日だったのでコープスポーツセンターでしたが(この日は私、都合により欠席してご迷惑をおかけしました)、3回目は大阪梅田・茶屋町の“PLUM”・・・ここは梅酒が100種類揃っているお店で個室が売りは良いのですが照明が暗くて失敗でした。

今回は新企画の座談会や、現役の自主企画、得丸副会長の Photo Report など、皆さんが積極的に盛りだくさんにしてください、レイアウトなども完成度が高く、助かりました。

ご協力いただきました皆様に心より御礼申し上げます。